

新しい桑折町総合計画策定のための 町民アンケート調査報告書

令和2年2月

桑 折 町

< 目 次 >

第1章 調査概要	3
I. 調査目的	3
II. 調査概要	3
III. 調査項目	3
IV. 留意事項	3
第2章 調査の分析	7
I. 調査結果の要約	7
(1) 回答者の属性	7
(2) 世帯・居住環境、居住意向について	7
(3) 日常生活から見た満足度と重要度について	8
(4) 新しいまちづくりに向けて重要と思う取組みについて	9
(5) 人口減少対策（移住や定住、交流促進等）について	10
(6) 結婚に対する考えについて	10
(7) 出産・子育てに対する考えについて	11
(8) 就業・仕事について	11
(9) 町での暮らしについて	11
II. 調査結果の詳細	12
1. 回答者の属性	12
(1) 居住区	12
(2) 性別	12
(3) 年齢	13
(4) 職業	13
(5) 通勤・通学先	14
(6) 通勤・通学方法	14
(7) 買物先（日用品）	14
(8) 医療機関	15
2. 世帯・居住環境、居住意向について	16
(1) 世帯状況	16
(2) 家の所有状況	18
(3) 出身地と転入のきっかけ	19
(4) 居住意向	21
(5) 居住意向の理由	22
3. 日常生活から見た満足度と重要度について	28
(1) 町の取組みについての現在の「満足度」と今後の「重要度」	28
(2) 10年後の理想的な町の在り方	42
4. 新しいまちづくりに向けて重要と思う取組みについて	47
(1) 農業の振興	47
(2) 商工業の振興	49

(3) 観光振興	51
(4) 歴史を活かしたまちづくり	53
(5) 結婚・出産・育児・子育て支援の充実	55
(6) 健康づくりの推進	57
(7) 高齢者福祉の充実	59
(8) 災害に強いまちづくり	61
(9) 道路・交通環境の充実	63
(10) 住宅政策	65
(11) 小中学校教育の充実	67
(12) 生涯学習・スポーツの充実	69
(13) 若者が暮らしやすいまちづくり	71
(14) 町内会や住民自治協議会での地域活動	73
(15) 広報こおり	75
(16) 町に関する情報を収集する際に利用している媒体	77
5. 人口減少対策（移住や定住、交流促進等）について	79
(1) 町が取り組むべき施策	79
6. 結婚に対する考えについて	81
(1) 結婚について	81
(2) 結婚支援のため行政に期待すること	85
7. 出産・子育てに対する考えについて	87
(1) 子どもの人数	87
(2) 理想の子どもの人数	88
(3) 理想の子どもの人数に達していない理由	90
(4) 行政に期待すること	92
8. 就業・仕事について	94
(1) 将来就きたい職業	94
(2) 将来働きたい地域	95
(3) 町内以外の地域で働きたい理由	96
9. 町での暮らしについて	97
(1) 町になくて不便だと思う施設	97
Ⅲ. 自由記述	99
第3章 資料（調査票）	109

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

I. 調査目的

本調査は、本町の次期総合計画及び第2期総合戦略の策定にあたり、町民の意向とニーズの実態把握を行い、施策の基本的方向性・実施目標などに反映させることを目的として実施しました。

II. 調査概要

- 調査実施期間：令和元年10月4日～令和元年10月18日
- 調査対象：15才以上の町民から2,200名を無作為に抽出
- 調査方法：無記名式調査票の郵送配付・郵送回収
- 総回収数・率：838件（38.1%）
- 有効回答件数・率：836件（38.0%）

III. 調査項目

- 回答者の属性
- 世帯・居住環境、居留意向について
- 日常生活から見た満足度と重要度について
- まちづくりに向けて重要となる取組みについて
- 人口減少対策（移住や定住、交流促進等）について
- 結婚に対する考えについて
- 出産・子育てに対する考えについて
- 就業・仕事について
- 町での暮らしについて

IV. 留意事項

- ・グラフ・表中の調査数「n」（Number of cases）は、アンケートの有効回収数を示しています。
- ・調査数が少ない項目については、分析対象から除外している場合があります。
- ・回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、各項目の値の合計が総数と一致しない場合があります。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の設問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合があります。
- ・調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。

第2章 調査の分析

第2章 調査の分析

I. 調査結果の要約

(1) 回答者の属性

- 居住地区については、「桑折地区」が43.7%と最も多く、以下、「半田地区」(24.6%)、「睦合地区」(16.4%)、「伊達崎地区」(15.1%)となっています。
- 性別については、「男性」が50.5%、「女性」が49.0%となっています。
- 年齢については、「35歳～39歳」「70歳～74歳」がともに10.0%と最も多く、以下、「40歳～44歳」(9.9%)、「45歳～49歳」(9.1%)となっています。
- 主たる職業については、「正規職員(会社員、公務員等)」が34.4%と最も多く、以下、「無職」(16.1%)、「パート・アルバイト(週30時間未満)」(10.4%)、「専業主婦・主夫」(8.7%)となっています。
- 通勤・通学先については、「福島市」が34.7%と最も多く、以下、「町内」(29.2%)、「伊達市」(13.6%)、「県外」(5.6%)となっています。
- 通勤・通学方法については、「自動車・バイク」が68.8%と最も多く、以下、「電車」(10.4%)、「徒歩」(5.9%)、「自転車」(3.8%)となっています。
- 買物先(日用品)については、「町内」が41.9%と最も多く、以下、「伊達市」(25.2%)、「福島市」(20.8%)、「国見町」(6.5%)となっています。
- 医療機関については、「町内」が29.7%と最も多く、以下、「伊達市」(25.7%)、「福島市」(22.4%)、「国見町」(16.4%)となっています。

(2) 世帯・居住環境、居住意向について

- 家族人員については、「3人」が26.6%と最も多く、以下、「2人」(23.2%)、「4人」(20.3%)、「5人」(11.6%)となっています。
- 家族構成については、「2世代(親または子と同居)」が55.3%と最も多く、以下、「1世代(夫婦のみ)」(17.8%)、「3世代(祖父母と親子)」(17.2%)、「4世代」(0.8%)となっています。
- 家の所有状況については、「持ち家(家族の所有)」が46.7%と最も多く、以下、「持ち家(ご自身の所有)」(39.2%)、「賃貸住宅(民営のアパート等)」(6.5%)、「賃貸住宅(民営の一戸建て)」(2.2%)となっています。
- 出身地については、「町内出身」が64.2%と最も多く、以下、「福島市出身」(11.2%)、「伊達市出身」(8.5%)、「県外出身」(6.5%)となっています。
- 町外出身者の転入のきっかけについては、「結婚のため」が52.0%と最も多く、以下、「仕事上の都合のため(就職・転勤等)」(15.0%)、「住宅の都合(住宅の購入・借家の借り換え等)のため」(13.9%)、「親や子と同居したかった、または近くに住みたかったため」(8.2%)となっています。
- 居住意向については、「ずっと住み続けたい」が54.7%と最も多く、以下、「条件が合えば住み続けたい」(31.8%)、「いずれ、町外に転居したい」(12.9%)となっています。

- 居住意向（ずっと住みたい）とその理由については、「自分や家族の家があるから」が25.8%と最も多く、以下、「生まれ育ったまちだから」（24.7%）、「自然が豊かで空気がきれい」（14.7%）、「気候が穏やかで災害が少ない」（13.3%）となっています。

居住意向（条件が合えば住みたい）とその理由については、「自分や家族の家があるから」が23.3%と最も多く、以下、「生まれ育ったまちだから」（17.3%）、「自然が豊かで空気がきれい」（10.5%）、「子育て支援や環境が充実している（保育所・幼稚園など）」（9.0%）となっています。

居住意向（いずれ、町外に転居したい）とその理由については、「日常的な買い物や飲食が便利である（不便である）」が49.1%と最も多く、以下、「働く場がある（ない）」（31.5%）、「電車・バスが利用しやすい（利用しにくい）」（22.2%）、「通勤・通学が便利である（不便である）」（19.4%）となっています。

（3）日常生活から見た満足度と重要度について

- 町の取組みについての満足度については、「自然の豊かさと空気のきれいさ」が平均4.12と最も高く、以下、「生活環境の清潔さ（上下水道、ごみ収集）」（3.83）、「地域の人の温かさ」（3.69）、「車での移動の便利さ（道路交通網の整備）」（3.57）となっています。

一方、平均点が低い項目は、「商業が盛ん（中心市街地のにぎわい等）」（1.96）、「日常的な買い物や飲食の便利さ」（2.30）、「空家・空き地の有効活用」（2.41）、「福島蚕糸跡地、IC周辺等新しい土地利用の推進」（2.70）となっています。

- 町の取組みについての重要度については、「医療施設の充実（病院・医院等）」が平均4.45と最も高く、以下、「消防・防災対策の備え」（4.44）、「子どもを産み育てる環境の充実（保育所・幼稚園、経済的支援）」（4.43）、「生活環境の清潔さ（上下水道、ごみ収集）」（4.41）となっています。

一方、平均点が低い項目は、「歴史や文化を学ぶ機会（講演会等）」（3.55）、「出会いの場づくり（結婚支援）」（3.65）、「町内会・住民自治協議会等の地域活動」（3.70）、「他の市町村との活発な交流（イベント支援）」（3.72）となっています。

- 10年後の理想的な町の在り方【1番目】については、「活力のあるまち（商工業の発展）」が18.1%と最も多く、以下、「子どもを産み育てやすいまち」（14.6%）、「みんなが健康で元気に暮らせるまち」（9.3%）、「自然豊かで魅力あるまち」（8.6%）となっています。

【2番目】については、「子どもを産み育てやすいまち」が15.2%と最も多く、以下、「みんなが健康で元気に暮らせるまち」（11.2%）、「安全・安心なまち（防災、防犯、交通安全対策）」（10.2%）、「若者が賑わうまち」（9.8%）となっています。

【3番目】については、「財政の収支状況が安定しているまち」が12.6%と最も多く、以下、「安全・安心なまち（防災、防犯、交通安全対策）」（12.3%）、「高齢者や障がい者が暮らしやすいまち」（8.3%）、「みんなが健康で元気に暮らせるまち」（7.4%）となっています。

10年後の理想的な町の在り方について、得点を付与し分析すると、「子どもを産み育てやすいまち」が最も多く、以下、「活力のあるまち（商工業の発展）」、「みんなが健康で元気に暮らせるまち」、「安全・安心なまち（防災、防犯、交通安全対策）」となっています。

(4) 新しいまちづくりに向けて重要と思う取組みについて

- 農業の振興について重要と思うことについては、「農業後継者・担い手づくり」が42.3%と最も多く、以下、「農業の効率化（荒廃農地対策・農地集積、IT技術の活用等）」(16.6%)、「農作物被害の防止（イノシシ等の駆除、病害虫防除等）」(11.4%)、「観光農園や直売所の設置を促進する」(9.8%)となっています。
- 商工業の振興について重要と思うことについては、「商業施設（日常的な買物や飲食ができる施設）の充実」が31.3%と最も多く、以下、「雇用拡大につながる企業誘致（インターチェンジ周辺地域等）」(25.5%)、「空き店舗対策等支援」(15.0%)、「起業家や新規出店者、後継者を支援する」(12.9%)となっています。
- 観光振興について重要と思うことについては、「飲食店、販売店、宿泊施設の充実」が33.7%と最も多く、以下、「町PRイベントの開催（観光物産、地域づくり、歴史文化自然）」(23.4%)、「観光PR施設の整備（道の駅など）」(17.1%)、「来訪者（外国人を含む）を受入れる環境や案内の充実」(9.3%)となっています。
- 歴史を活かしたまちづくりについて重要と思うことについては、「桑折西山城跡・旧伊達郡役所などの史跡の保存と活用」が40.4%と最も多く、以下、「歴史的な町並み景観（店蔵や古い住宅）の保護」(17.7%)、「伝統文化（祭礼等）や文化財の継承」(16.3%)、「史跡や文化財の保存・活用に取り組む団体の育成」(9.3%)となっています。
- 結婚・出産・育児・子育て支援の充実について重要と思うことについては、「子育て世帯への経済的支援」が30.4%と最も多く、以下、「産婦人科・小児科医の確保」(18.1%)、「出会いの場の創出」(15.4%)、「保育・幼児教育の充実（企業内保育も含む）」(15.0%)となっています。
- 健康づくりの推進について重要と思うことについては、「運動習慣づくり」が39.6%と最も多く、以下、「健康診断の充実」(27.6%)、「食育の推進」「健康・保健相談窓口の充実」（ともに8.4%)、「健康づくりセミナー等の開催」(6.2%)となっています。
- 高齢者福祉の充実について重要と思うことについては、「働く場の確保や地域活動への参画」が22.6%と最も多く、以下、「介護保険制度の安定的な運営」(22.4%)、「在宅介護支援」(19.4%)、「地域とのつながりの推進（見守り活動等）」(13.6%)となっています。
- 災害に強いまちづくりについて重要と思うことについては、「災害を防ぐ基盤の整備（雨水排水路等の整備）」が31.9%と最も多く、以下、「危機管理体制の強化（備蓄物強化、他市町村・事業者との協力等）」(26.1%)、「防災拠点としての公共施設の活用」(12.7%)、「防災教育の推進（防災意識の啓発）」(11.2%)となっています。
- 道路・交通環境の充実について重要と思うことについては、「身近な生活道路の適切な維持管理・修繕」が22.5%と最も多く、以下、「身近な生活道路の舗装や拡幅、標識の整備」(20.0%)、「地域公共交通の充実（福祉バス、タクシー利用助成等）」(19.5%)、「公共交通機関（電車・バス）の利用のしやすさ」(16.1%)となっています。
- 住宅政策について重要と思うことについては、「空家・空地の利活用支援」が40.0%と最も多く、以下、「定住促進のための住宅供給の促進」(23.2%)、「若者の住まい探しへの支援」(13.0%)、「住宅の耐震性向上への支援」(9.3%)となっています。
- 小中学校教育の充実について重要と思うことについては、「心の教育（いじめ・不登校対策等）」が46.4%と最も多く、以下、「学力の向上対策」(19.9%)、「新たな教育課題対策（英語・情報教育等）」(12.9%)、「施設・設備など環境整備」(9.2%)となっています。

- 生涯学習・スポーツの充実について重要と思うことについては、「学習・芸術・文化活動の内容の充実」が26.1%と最も多く、以下、「スポーツ・レクリエーション教室の充実」(20.5%)、「多世代交流事業の充実」(14.7%)、「地域の人材や技術の活用・育成」(13.9%)となっています。
- 若者が暮らしやすいまちづくりについて重要と思うことについては、「働く場の確保（就農・起業支援・就職相談会等）」が37.0%と最も多く、以下、「日常的な買物や飲食ができる施設の充実」(22.5%)、「子育て・教育環境の充実」(16.9%)、「若者の住まい探し、住宅取得支援等」(8.0%)となっています。
- 町内会や住民自治協議会の地域活動で協力できると思うことについては、「地域の環境美化活動」が45.5%と最も多く、以下、「地域の祭りやイベントへの協力」(30.3%)、「地域の交通安全や防犯活動」(17.9%)、「高齢者等の訪問・見守り」(15.3%)となっています。
- 広報こおりについて重要と思う記事については、「まちのニュース（行政情報）」が40.1%と最も多く、以下、「タウンレポート（町の出来事）」(20.9%)、「特集・企画記事」(11.8%)、「みんなのひろば（町民やお店紹介）」(11.6%)となっています。
- 町に関する情報収集の際に利用している媒体については、「広報こおり（カラー冊子・お知らせ版）」が78.8%と最も多く、以下、「新聞」(24.5%)、「町のホームページ」(23.9%)、「議会だより」(21.7%)となっています。

（5）人口減少対策（移住や定住、交流促進等）について

- 移住・定住、交流促進のため取り組むべき施策については、「子育て支援や教育環境の充実（経済的負担、施設・設備充実）」が58.6%と最も多く、以下、「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」(47.2%)、「若い世代の就労支援（企業誘致・就職相談等）」(40.4%)、「住まい探し、住宅整備や住宅取得への支援」(27.6%)となっています。

（6）結婚に対する考えについて

- 未既婚の状況については、「結婚していない」が38.8%と最も多く、以下、「結婚している（共働き）」(33.9%)、「結婚している（共働きでない）」(21.8%)となっています。
- 未婚の理由については、「適当な相手にめぐり合わないから」が39.8%と最も多く、以下、「独身生活の方が気楽だから」(20.4%)、「結婚するにはまだ若いから」(18.5%)、「結婚するのを感じないから」(17.3%)となっています。
- 今後の結婚の希望については、「いずれは結婚をしたい」が60.5%と最も多く、以下、「結婚をしたくない」(26.5%)、「すぐにでも結婚をしたい」(8.6%)となっています。
- 結婚支援のため行政に期待することについては、「企業等に働きかけ男女ともに子育てしやすい職場環境整備を奨励」が35.8%と最も多く、以下、「安定的な収入確保のための就職支援を実施する」(32.1%)、「結婚したい男女の出会いの場づくり（街コン等）」(31.0%)、「住宅の斡旋や住居費の助成制度」(28.0%)となっています。

(7) 出産・子育てに対する考えについて

- 子どもの人数については、「子どもはいない」が 30.8%と最も多く、以下、「2人」(29.5%)、「3人」(15.0%)、「1人」(14.5%)となっています。
- 理想とする子どもの人数については、「現在よりも多くの子どもが欲しい」が 41.3%と最も多く、以下、「現在の子どもの人数が理想」(34.7%)、「子どもはいなくてもいい」(8.9%)となっています。
- 現在より多く子どもが欲しい人の理想の子ども人数については、「3人」が 49.2%と最も多く、以下、「2人」(35.4%)、「4人」(4.7%)、「1人」(2.8%)となっています。
- 理想の子どもの人数に達していない理由については、「経済的負担が大きいから」が 40.1%と最も多く、以下、「年齢的に難しいから」(35.7%)、「結婚していないから(するつもりがないから)」(28.8%)、「子育てと仕事の両立が難しいから」(20.7%)となっています。
- 希望人数の子どもを持ち子育てしていくために行政に期待することについては、「子育て期における経済的支援(教育費用や保育料負担軽減措置等)」が 51.1%と最も多く、以下、「保育時間の拡充等、保育サービスの充実」(35.8%)、「妊娠・出産時の経済的支援」(31.5%)、「公園や遊び場等、子どもが安心して遊べる環境の整備」(22.0%)となっています。

(8) 就業・仕事について

- 現学生が将来就きたい職業については、「医療、介護、福祉」が 27.9%と最も多く、以下、「公務員、団体職員」(23.0%)、「教育、学習支援」(13.1%)、「製造業、建設業、運輸業、郵便業」(11.5%)となっています。
- 現学生が将来働きたい地域については、「県外」が 37.7%と最も多く、以下、「福島市」(34.4%)、「町内」(11.5%)、「その他の県内」(8.2%)となっています。
- 町内以外で将来働きたい理由については、「町内に希望する職種の企業等がない」が 46.2%と最も多く、以下、「実家を離れ、独立したい」「都会など、新しい土地で自分の可能性を広げたい」(ともに 26.9%)、「町内企業等の情報を知らない」「地元での生活に不満を感じている」(ともに 13.5%)となっています。

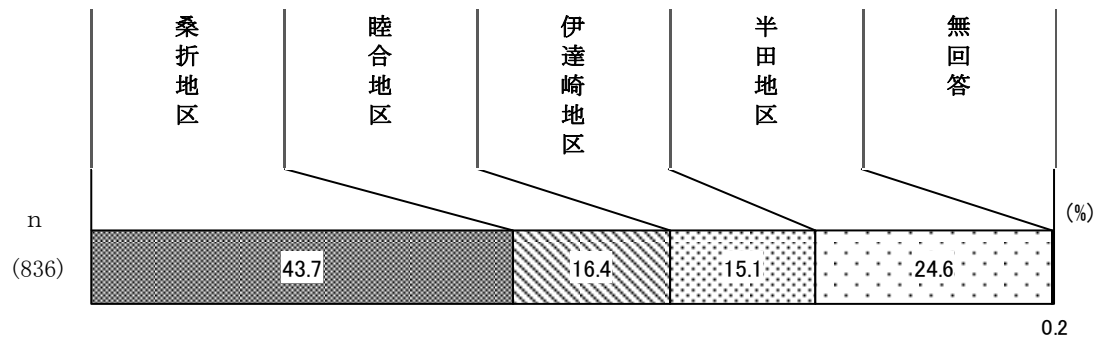
(9) 町での暮らしについて

- 町になくて不便だと思う施設については、「商業施設(日常的な買物や飲食ができる施設)」が 64.6%と最も多く、以下、「趣味・娯楽施設(スポーツジム・映画館等)」(35.2%)、「医療・福祉施設(病院・デイサービス・児童館等)」(26.9%)、「公園・緑地・広場など憩いの場」(13.3%)となっています。

Ⅱ. 調査結果の詳細

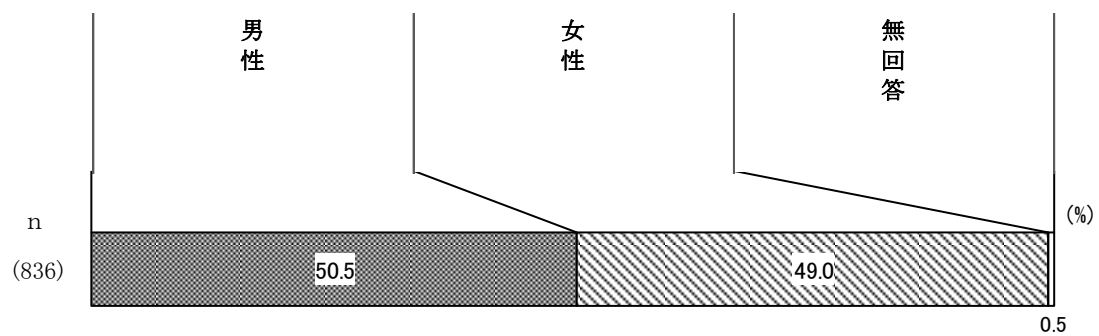
1. 回答者の属性

(1) 居住区



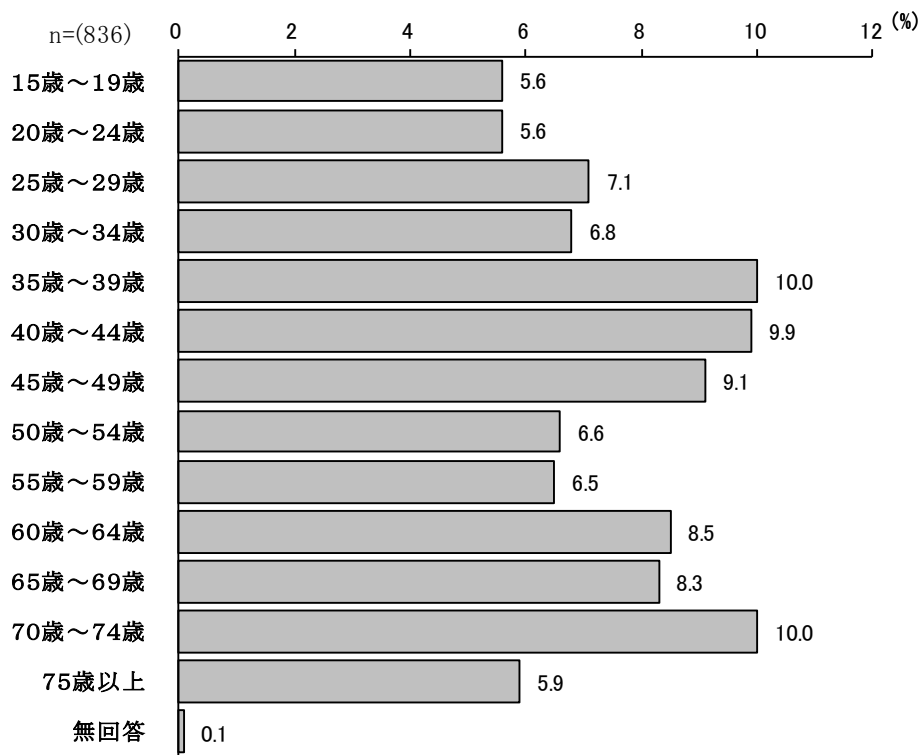
回答者の居住地区については、「桑折地区」が43.7%と最も多く、以下、「半田地区」(24.6%)、「睦合地区」(16.4%)、「伊達崎地区」(15.1%)となっています。

(2) 性別



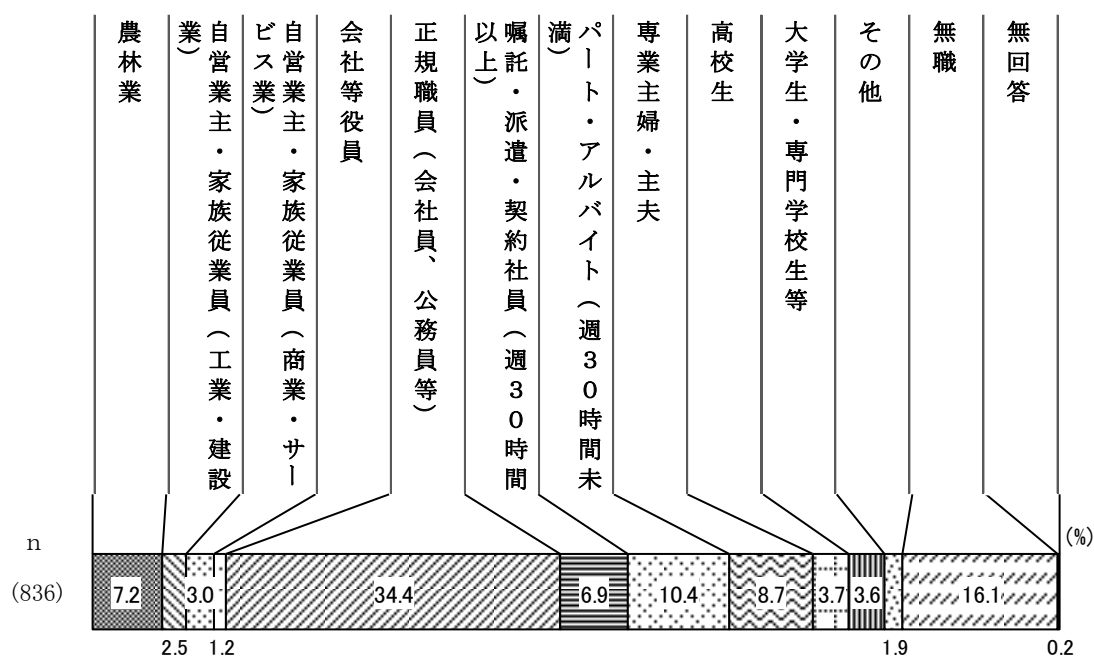
回答者の性別については、「男性」が50.5%、「女性」が49.0%となっています。

(3) 年齢



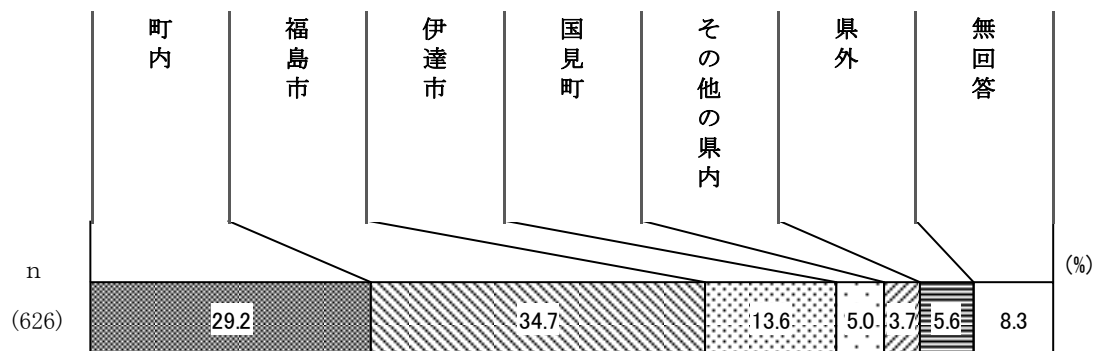
回答者の年齢については、「35歳～39歳」「70歳～74歳」がともに10.0%と最も多く、以下、「40歳～44歳」(9.9%)、「45歳～49歳」(9.1%)となっています。

(4) 職業



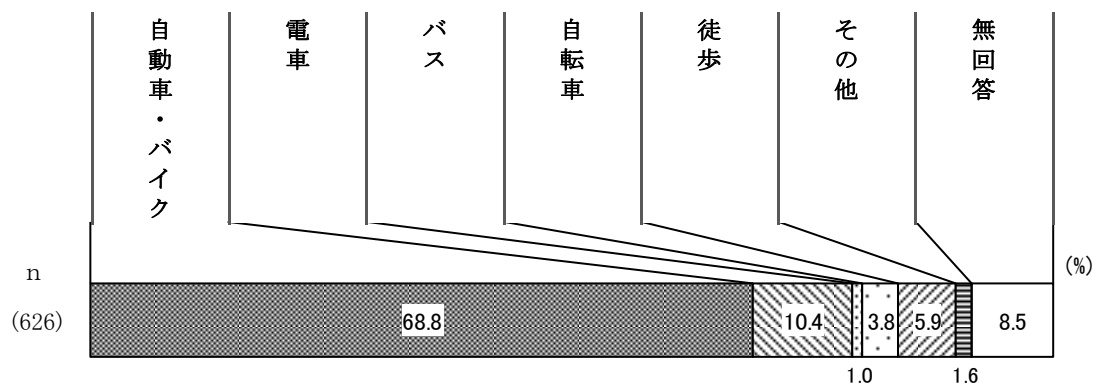
回答者の主たる職業については、「正規職員 (会社員、公務員等)」が34.4%と最も多く、以下、「無職」(16.1%)、「パート・アルバイト (週30時間未満)」(10.4%)、「専業主婦・主夫」(8.7%)となっています。

(5) 通勤・通学先



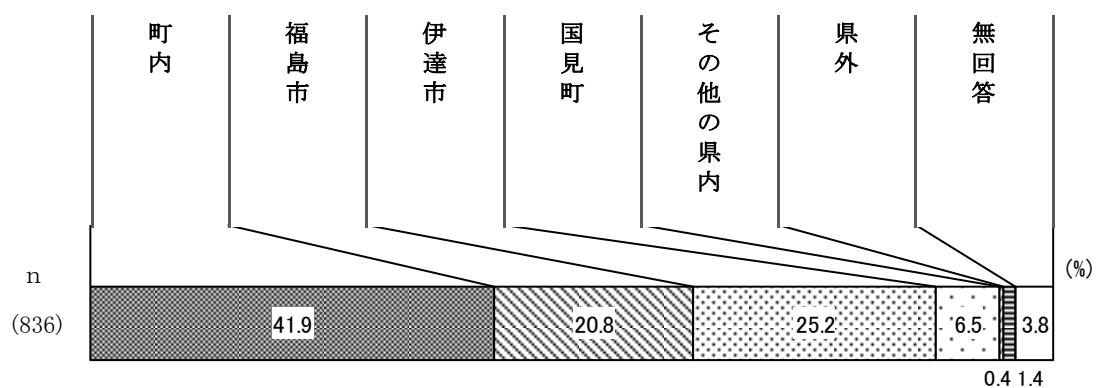
回答者の通勤・通学先については、「福島市」が34.7%と最も多く、以下、「町内」(29.2%)、「伊達市」(13.6%)、「県外」(5.6%)となっています。

(6) 通勤・通学方法



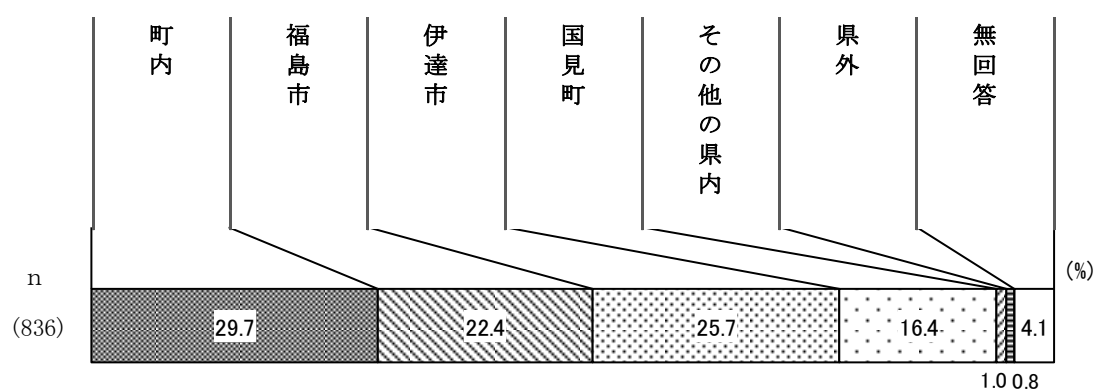
回答者の主な通勤・通学方法については、「自動車・バイク」が68.8%と最も多く、以下、「電車」(10.4%)、「徒歩」(5.9%)、「自転車」(3.8%)となっています。

(7) 買物先（日用品）



回答者の買物先（日用品）については、「町内」が41.9%と最も多く、以下、「伊達市」(25.2%)、「福島市」(20.8%)、「国見町」(6.5%)となっています。

(8) 医療機関



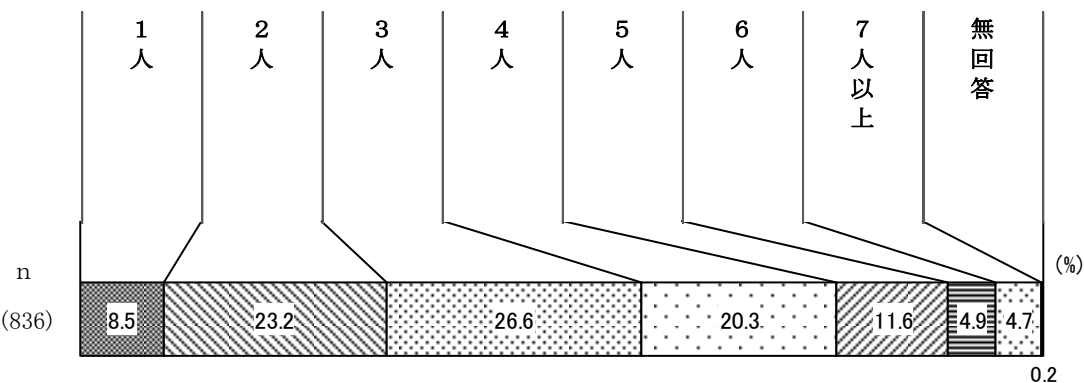
回答者の医療機関については、「町内」が 29.7%と最も多く、以下、「伊達市」(25.7%)、「福島市」(22.4%)、「国見町」(16.4%) となっています。

2. 世帯・居住環境、居住意向について

(1) 世帯状況

問2-1 あなた自身を含む①世帯の家族人員は、次のうちどれですか？ また、②家族構成は、次のうちどれですか？（1つ選んで○を付けてください。）

①家族人員



家族人員については、「3人」が26.6%と最も多く、以下、「2人」(23.2%)、「4人」(20.3%)、「5人」(11.6%)となっています。

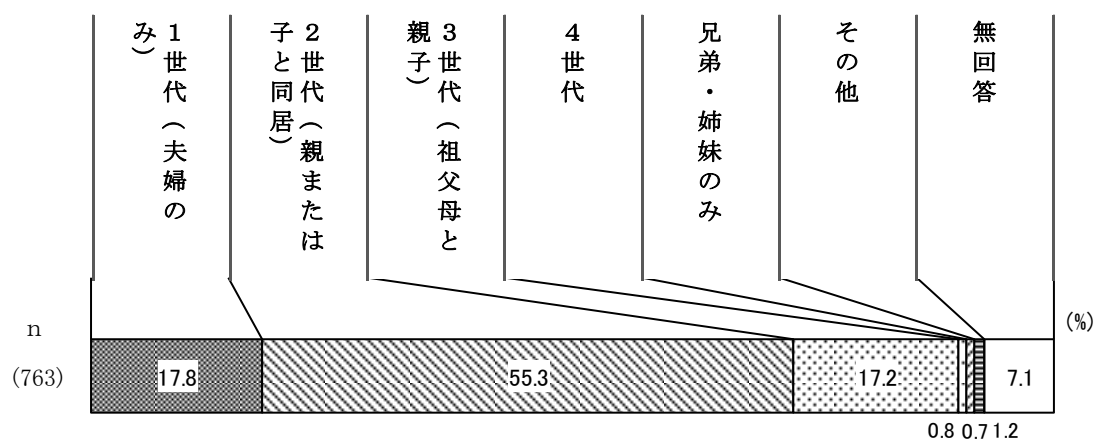
年代別にみると、『20歳未満』では「4人」から「5人」が3割程度、『20代』『30代』では「3人」から「5人」が2～3割と他の年代に比べ多くなっています。『40代』『50代』では「3人」が3割以上、『60代』以降では「2人」が4割以上とそれぞれ最も多くなっています。

【家族人員／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全 体		836	71	194	222	170	97	41	39	2
		100.0	8.5	23.2	26.6	20.3	11.6	4.9	4.7	0.2
年代別	20歳未満	47	1	1	8	13	14	7	3	0
		100.0	2.1	2.1	17.0	27.7	29.8	14.9	6.4	0.0
	20代	106	7	8	27	27	21	8	7	1
		100.0	6.6	7.5	25.5	25.5	19.8	7.5	6.6	0.9
	30代	141	5	9	37	40	30	11	9	0
		100.0	3.5	6.4	26.2	28.4	21.3	7.8	6.4	0.0
	40代	159	8	32	53	34	12	8	12	0
		100.0	5.0	20.1	33.3	21.4	7.5	5.0	7.5	0.0
	50代	109	13	24	36	22	10	2	2	0
		100.0	11.9	22.0	33.0	20.2	9.2	1.8	1.8	0.0
	60代	140	20	56	34	17	5	3	4	1
		100.0	14.3	40.0	24.3	12.1	3.6	2.1	2.9	0.7
	70歳以上	133	17	64	26	17	5	2	2	0
		100.0	12.8	48.1	19.5	12.8	3.8	1.5	1.5	0.0

②家族構成



家族構成については、「2 世代 (親または子と同居)」が 55.3%と最も多く、以下、「1 世代 (夫婦のみ)」(17.8%)、「3 世代 (祖父母と親子)」(17.2%)、「4 世代」(0.8%) となっています。

年代別にみると、『20 代』までは「3 世代 (祖父母と親子)」が 3 割以上、『30 代』から『50 代』にかけては「2 世代 (親または子と同居)」が 6～7 割、『60 代』以降は「1 世代 (夫婦のみ)」が 3～4 割と他の年代に比べ多くなっています。

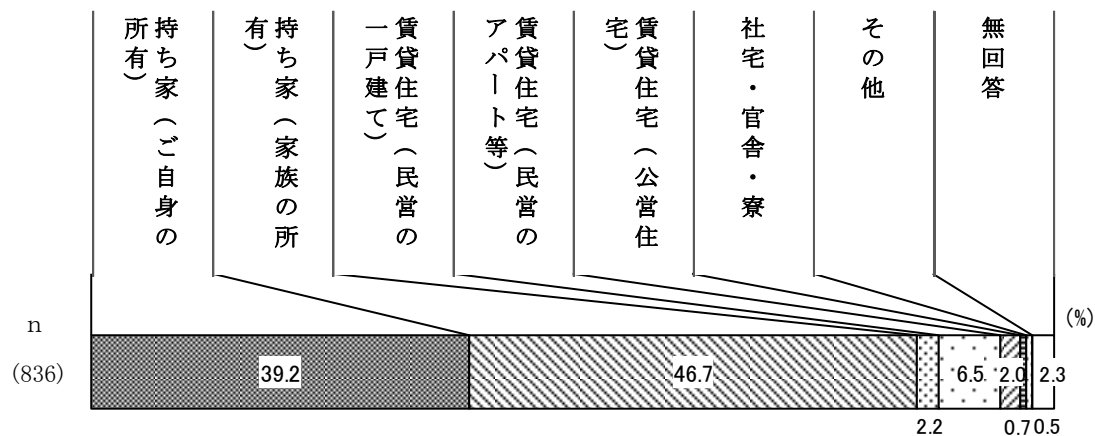
【家族構成／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	1 世代 (夫婦のみ)	2 世代 (親または子と同居)	3 世代 (祖父母と親子)	4 世代	兄弟・姉妹のみ	その他	無回答
全 体		763	136	422	131	6	5	9	54
		100.0	17.8	55.3	17.2	0.8	0.7	1.2	7.1
年代別	20 歳未満	46	0	26	17	0	0	0	3
		100.0	0.0	56.5	37.0	0.0	0.0	0.0	6.5
	20 代	98	6	45	34	3	0	3	7
		100.0	6.1	45.9	34.7	3.1	0.0	3.1	7.1
	30 代	136	12	83	29	2	0	1	9
		100.0	8.8	61.0	21.3	1.5	0.0	0.7	6.6
	40 代	151	15	106	21	1	1	2	5
		100.0	9.9	70.2	13.9	0.7	0.7	1.3	3.3
	50 代	96	13	64	12	0	1	1	5
		100.0	13.5	66.7	12.5	0.0	1.0	1.0	5.2
	60 代	119	40	58	11	0	2	1	7
		100.0	33.6	48.7	9.2	0.0	1.7	0.8	5.9
	70 歳以上	116	50	39	7	0	1	1	18
		100.0	43.1	33.6	6.0	0.0	0.9	0.9	15.5

(2) 家の所有状況

問2-2 現在住んでいる家の所有状況は、次のうちどれですか？（1つ選んで○を付けてください。）



家の所有状況については、「持ち家（家族の所有）」が 46.7%と最も多く、以下、「持ち家（ご自身の所有）」(39.2%)、「賃貸住宅（民営のアパート等）」(6.5%)、「賃貸住宅（民営の一戸建て）」(2.2%)となっています。

家の所有状況を年代別にみると、『50代』までは「持ち家（家族の所有）」が5～8割となっています。『60代』以降では「持ち家（ご自身の所有）」が6割を超えて多くなっています。

【家の所有状況／年代別】

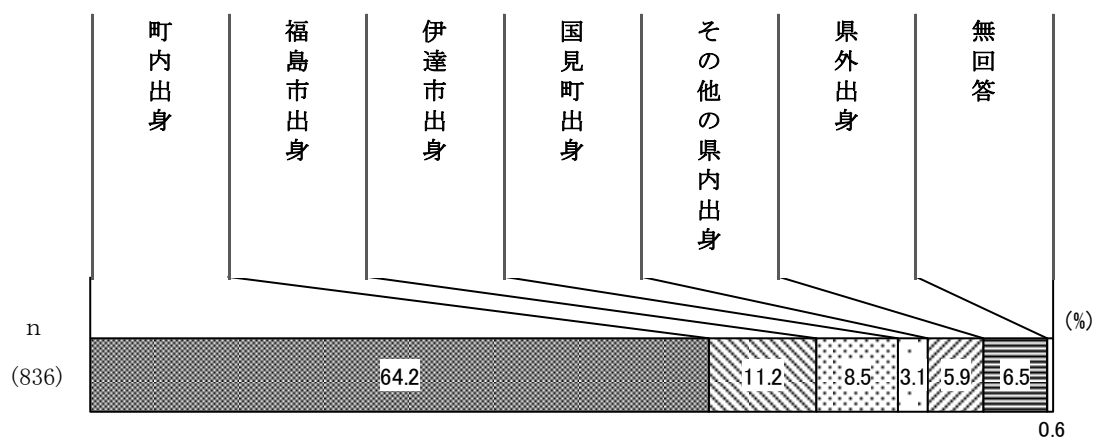
上段：件数、下段：%

		調査数	持ち家（ご自身の所有）	持ち家（家族の所有）	賃貸住宅（民営の一戸建て）	賃貸住宅（民営のアパート等）	賃貸住宅（公営住宅）	社宅・官舎・寮	その他	無回答
全 体		836	328	390	18	54	17	6	4	19
		100.0	39.2	46.7	2.2	6.5	2.0	0.7	0.5	2.3
年代別	20歳未満	47	6	37	0	2	0	2	0	0
		100.0	12.8	78.7	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0
	20代	106	10	66	3	17	2	2	1	5
		100.0	9.4	62.3	2.8	16.0	1.9	1.9	0.9	4.7
	30代	141	43	79	5	12	2	0	0	0
		100.0	30.5	56.0	3.5	8.5	1.4	0.0	0.0	0.0
	40代	159	50	84	6	10	4	2	1	2
		100.0	31.4	52.8	3.8	6.3	2.5	1.3	0.6	1.3
	50代	109	39	55	2	8	1	0	2	2
		100.0	35.8	50.5	1.8	7.3	0.9	0.0	1.8	1.8
	60代	140	90	38	1	3	2	0	0	6
		100.0	64.3	27.1	0.7	2.1	1.4	0.0	0.0	4.3
	70歳以上	133	90	30	1	2	6	0	0	4
		100.0	67.7	22.6	0.8	1.5	4.5	0.0	0.0	3.0

(3) 出身地と転入のきっかけ

問2-3 ①あなたの出身（幼少期を一番長く過ごしたところ）は、次のうちどれですか？ また、町外出身の場合、②転入のきっかけは、次のうちどれですか？（転入先を自分で決めていない場合は、決めた人の視点で記入してください。）

①出身地



出身地（幼少期を一番長く過ごしたところ）については、「町内出身」が64.2%と最も多く、以下、「福島市出身」（11.2%）、「伊達市出身」（8.5%）、「県外出身」（6.5%）となっています。

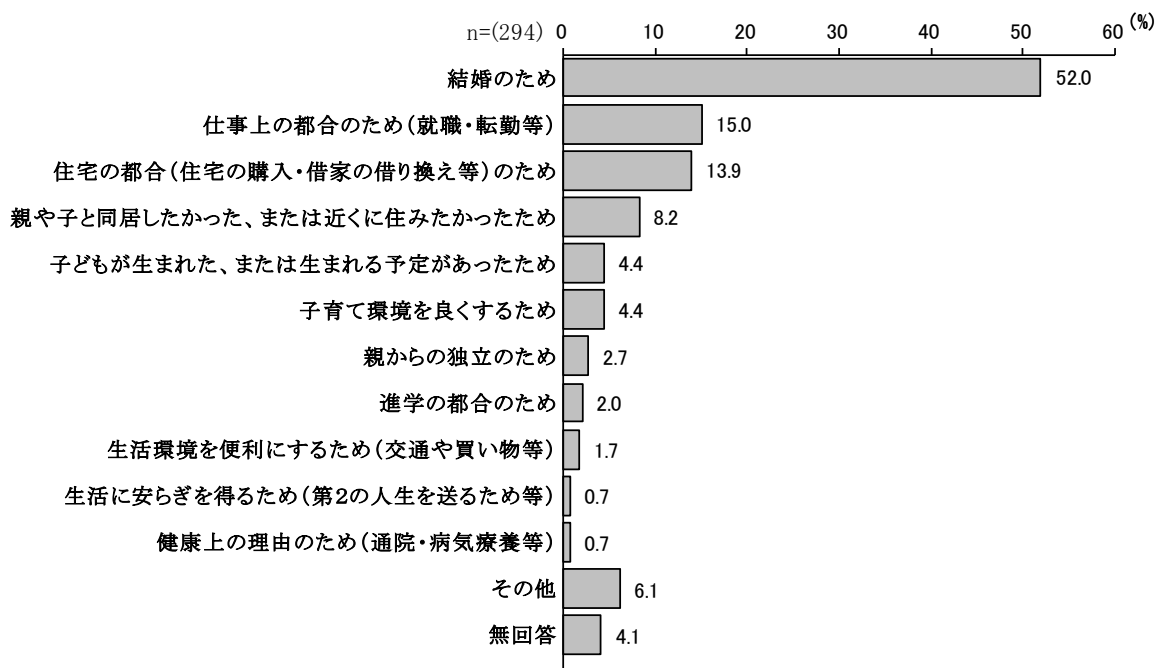
年代別にみると、『20代』までは「町内出身」が8～9割と多くなっています。『30代』では「福島市出身」が16.3%、『50代』では「その他の県内出身」が11.0%、『70歳以上』では「伊達市出身」が13.5%と他の年代に比べ多くなっています。

【出身地（幼少期を一番長く過ごしたところ）／年代別】 上段：件数、下段：%

		調査数	町内出身	福島市出身	伊達市出身	国見町出身	その他の県内出身	県外出身	無回答
全 体		836	537	94	71	26	49	54	5
		100.0	64.2	11.2	8.5	3.1	5.9	6.5	0.6
年代別	20歳未満	47	42	2	1	0	2	0	0
		100.0	89.4	4.3	2.1	0.0	4.3	0.0	0.0
	20代	106	81	10	5	2	7	1	0
		100.0	76.4	9.4	4.7	1.9	6.6	0.9	0.0
	30代	141	83	23	9	4	9	12	1
		100.0	58.9	16.3	6.4	2.8	6.4	8.5	0.7
	40代	159	93	21	16	7	7	14	1
		100.0	58.5	13.2	10.1	4.4	4.4	8.8	0.6
	50代	109	60	16	10	2	12	9	0
		100.0	55.0	14.7	9.2	1.8	11.0	8.3	0.0
	60代	140	93	11	12	4	8	10	2
		100.0	66.4	7.9	8.6	2.9	5.7	7.1	1.4
	70歳以上	133	84	11	18	7	4	8	1
		100.0	63.2	8.3	13.5	5.3	3.0	6.0	0.8

②転入のきっかけ

※問2-3で「1. 町内出身」以外に○を付けた方のみ



町外出身者に桑折町へ転入したきっかけをたずねたところ、「結婚のため」が52.0%と最も多く、以下、「仕事上の都合のため(就職・転勤等)」(15.0%)、「住宅の都合(住宅の購入・借家の借り換え等)のため」(13.9%)、「親や子と同居したかった、または近くに住みたかったため」(8.2%)となっています。

年代別にみると、『30代』以降では、「結婚のため」が5～6割と最も多くなっています。また、『30代』では子育てに関する項目や親との同居等の理由が他の年代に比べ多くなっています。

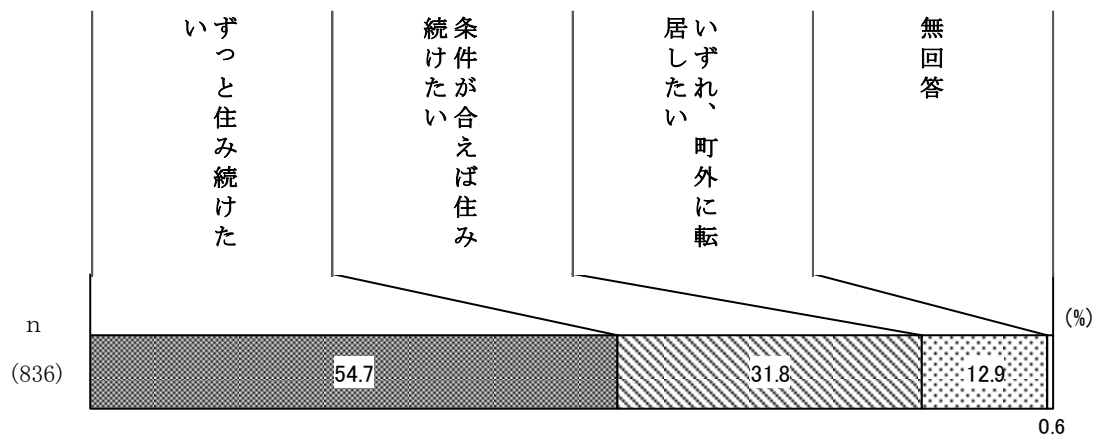
【転入したきっかけ／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	仕事上の都合のため (就職・転勤等)	進学の都合のため	結婚のため	子どもが生まれた、または生まれる予定、または生まれる予定	子育て環境を良くするため	生活環境を便利にするため(交通や買い物等)	生活に安らぎを得るため(第2の人生を送るため等)	健康上の理由のため(通院・病気療養等)	親や子と同居したかった、または近くに住みたかったため	親からの独立のため	住宅の購入・借家の借り換え等のため	その他	無回答
全 体		294	44	6	153	13	13	5	2	2	24	8	41	18	12
		100.0	15.0	2.0	52.0	4.4	4.4	1.7	0.7	0.7	8.2	2.7	13.9	6.1	4.1
年代別	20歳未満	5	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0
		100.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	20代	25	3	3	7	1	3	2	0	0	2	4	3	2	2
		100.0	12.0	12.0	28.0	4.0	12.0	8.0	0.0	0.0	8.0	16.0	12.0	8.0	8.0
	30代	57	10	1	30	7	6	0	0	0	8	1	7	1	0
		100.0	17.5	1.8	52.6	12.3	10.5	0.0	0.0	0.0	14.0	1.8	12.3	1.8	0.0
	40代	65	10	1	39	1	2	1	0	0	5	1	8	6	0
		100.0	15.4	1.5	60.0	1.5	3.1	1.5	0.0	0.0	7.7	1.5	12.3	9.2	0.0
年代別	50代	49	8	0	25	2	1	2	0	2	6	0	6	3	2
		100.0	16.3	0.0	51.0	4.1	2.0	4.1	0.0	4.1	12.2	0.0	12.2	6.1	4.1
	60代	45	5	0	27	1	1	0	1	0	2	0	5	2	4
		100.0	11.1	0.0	60.0	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	4.4	0.0	11.1	4.4	8.9
年代別	70歳以上	48	7	0	25	1	0	0	1	0	0	1	10	3	4
		100.0	14.6	0.0	52.1	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	20.8	6.3	8.3

(4) 居住意向

問2-4 あなたは、桑折町に住み続けたいと思いますか？（1つ選んで○を付けてください。）



居住意向については、「ずっと住み続けたい」が54.7%と最も多く、以下、「条件が合えば住み続けたい」(31.8%)、「いずれ、町外に転居したい」(12.9%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「いずれ、町外に転居したい」が44.7%と最も多くなっています。

『20代』『30代』では「条件が合えば住み続けたい」が半数近くにのぼり、『60代』以降では「ずっと住み続けたい」が7割以上となっています。

【居住意向／年代別】

上段：件数、下段：%

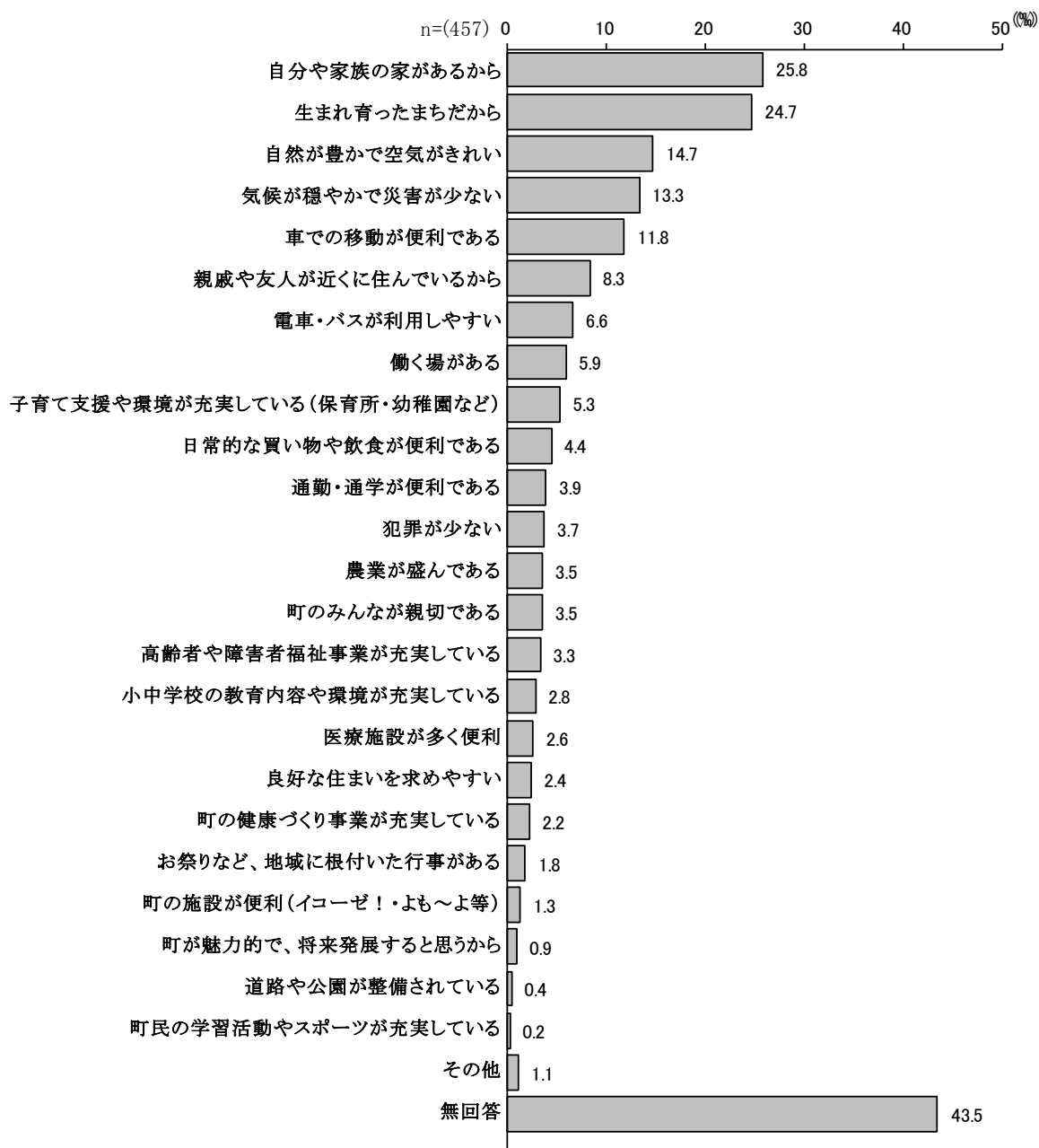
		調査数	ずっと住み続けたい	条件が合えば住み続けたい	いずれ、町外に転居したい	無回答
全 体		836	457	266	108	5
		100.0	54.7	31.8	12.9	0.6
年代別	20歳未満	47	9	17	21	0
		100.0	19.1	36.2	44.7	0.0
	20代	106	30	52	24	0
		100.0	28.3	49.1	22.6	0.0
	30代	141	60	65	15	1
		100.0	42.6	46.1	10.6	0.7
	40代	159	81	58	19	1
		100.0	50.9	36.5	11.9	0.6
年代別	50代	109	56	36	16	1
		100.0	51.4	33.0	14.7	0.9
	60代	140	106	24	8	2
		100.0	75.7	17.1	5.7	1.4
年代別	70歳以上	133	115	13	5	0
		100.0	86.5	9.8	3.8	0.0

(5) 居留意向の理由

問2-5 問2-4の回答を選んだ理由として、あてはまるものはどれですか？

(3つまで選んで○を付けてください。)

①「ずっと住み続けたい」と回答した方の理由



居留意向で「ずっと住み続けたい」と回答した方にその理由をたずねたところ、「自分や家族の家があるから」が25.8%と最も多く、以下、「生まれ育ったまちだから」(24.7%)、「自然が豊かで空気がきれい」(14.7%)、「気候が穏やかで災害が少ない」(13.3%)となっています。

年代別にみると、『30代』『40代』では「子育て支援や環境が充実している（保育所・幼稚園など）」が1割以上、『50代』『60代』では「自分や家族の家があるから」がそれぞれ32.1%、37.7%とともに多く、『60代』では「自然が豊かで空気がきれい」「生まれ育ったまちだから」が2～3割、『70歳以上』では「気候が穏やかで災害が少ない」が23.5%と他の年代に比べ多くなっています。

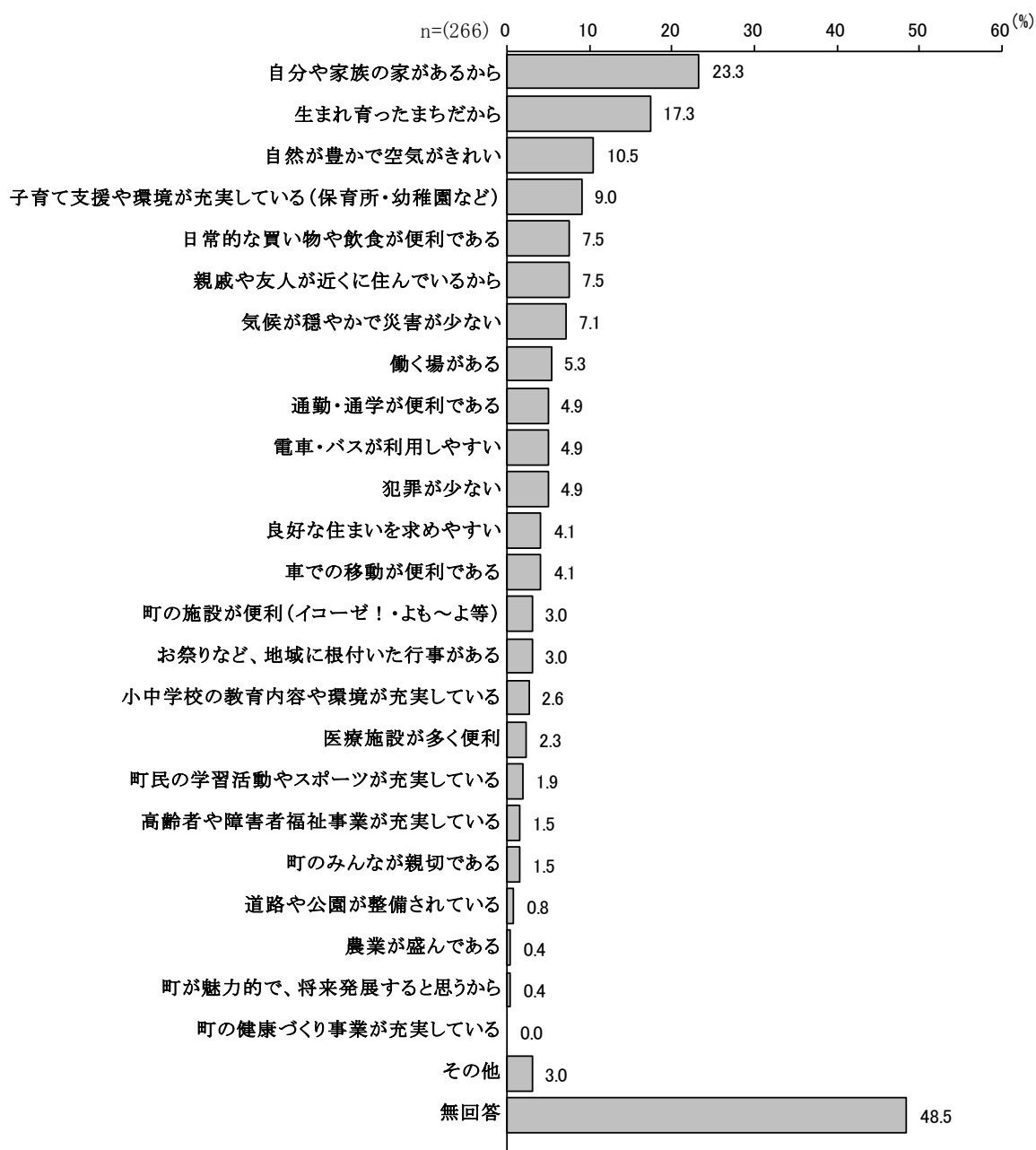
【「ずっと住みたい」理由／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	良好な住まいを求めやすい	働く場がある	農業が盛んである	通勤・通学が便利である	電車・バスが利用しやすい	車での移動が便利である	日常的な買い物や飲食が便利である	子育て支援や環境が充実している（保育園など）	町の健康づくり事業が充実している	高齢者や障害者福祉事業が充実している	医療施設が多く便利	小中学校の教育内容や環境が充実している	市民の学習活動やスポーツが充実している	
全 体		457 100.0	11 2.4	27 5.9	16 3.5	18 3.9	30 6.6	54 11.8	20 4.4	24 5.3	10 2.2	15 3.3	12 2.6	13 2.8	1 0.2	
年代別	20歳未満	9 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
		30 100.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	2 6.7	2 6.7	1 3.3	0 0.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	30代	60 100.0	0 0.0	5 8.3	1 1.7	7 11.7	3 5.0	7 11.7	2 3.3	10 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 10.0	0 0.0	
		40代	81 100.0	2 2.5	8 9.9	3 3.7	5 6.2	7 8.6	7 8.6	5 6.2	11 13.6	0 0.0	0 0.0	2 2.5	3 3.7	0 0.0
	50代	56 100.0	4 7.1	3 5.4	2 3.6	2 3.6	5 8.9	9 16.1	0 0.0	2 3.6	0 0.0	3 5.4	0 0.0	2 3.6	0 0.0	
		60代	106 100.0	1 0.9	8 7.5	5 4.7	3 2.8	8 7.5	13 12.3	5 4.7	0 0.0	2 1.9	4 3.8	3 2.8	2 1.9	1 0.9
	70歳以上	115 100.0	2 1.7	3 2.6	4 3.5	1 0.9	6 5.2	16 13.9	6 5.2	0 0.0	8 7.0	6 5.2	7 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		調査数	等 コ ー ゼ の 施 設 が よ も し （ イ	町 の 公 園 が 整 備 さ れ て い る	道 路 や 公 園 が 整 備 さ れ て い る	き れ い な い 豊 か で 空 気 が	自 然 が 豊 か で 空 気 が	気 候 が 少 な い 穏 やか で 災 害	犯 罪 が 少 な い	か ら ま れ 育 つ た ま ち だ	住 親 人 で い る 人 が 近 く に	る 自 分 や 家 族 の 家 が あ る	あ る 町 の み ん な が 親 切 で	根 付 い た 行 事 、 地 域 に	お 祭 り な ど 、 地 域 に	発 展 す る と 思 う 、 か ら 来	そ の 他	無 回 答
全 体		457 100.0	6 1.3	2 0.4	67 14.7	61 13.3	17 3.7	113 24.7	38 8.3	118 25.8	16 3.5	8 1.8	4 0.9	5 1.1	199 43.5			
年代別	20歳未満	9 100.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0	4 44.4	1 11.1	3 33.3	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	4 44.4			
		30 100.0	0 0.0	0 0.0	3 10.0	0 0.0	2 6.7	6 20.0	3 10.0	4 13.3	2 6.7	3 10.0	1 3.3	1 3.3	18 60.0			
	30代	60 100.0	1 1.7	0 0.0	7 11.7	5 8.3	1 1.7	13 21.7	2 3.3	18 30.0	1 1.7	1 1.7	2 3.3	0 0.0	28 46.7			
		40代	81 100.0	1 1.2	1 1.2	10 12.3	8 9.9	2 2.5	18 22.2	3 3.7	20 24.7	8 9.9	1 1.2	0 0.0	2 2.5	32 39.5		
	50代	56 100.0	1 1.8	0 0.0	4 7.1	4 7.1	1 1.8	14 25.0	6 10.7	18 32.1	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 48.2			
		60代	106 100.0	0 0.0	0 0.0	22 20.8	17 16.0	6 5.7	36 34.0	16 15.1	40 37.7	2 1.9	1 0.9	0 0.0	1 0.9	34 32.1		
	70歳以上	115 100.0	3 2.6	1 0.9	18 15.7	27 23.5	5 4.3	22 19.1	7 6.1	15 13.0	2 1.7	1 0.9	1 0.9	1 0.9	56 48.7			

②「条件が合えば住み続けたい」と回答した方の理由



居住意向で「条件が合えば住み続けたい」と回答した方にその理由をたずねたところ、「自分や家族の家があるから」が23.3%と最も多く、以下「生まれ育ったまちだから」(17.3%)、「自然が豊かで空気がきれい」(10.5%)、「子育て支援や環境が充実している(保育所・幼稚園など)」(9.0%)となっています。

年代別にみると、『20代』では「生まれ育ったまちだから（25.0%）」「親戚や友人が近くに住んでいるから（15.4%）」、『30代』では「子育て支援や環境が充実している（保育所・幼稚園など）」が21.5%、『40代』では「親戚や友人が近くに住んでいるから」が13.8%と他の年代に比べて多くなっています。

【「条件が合えば住み続けたい」理由／年代別】

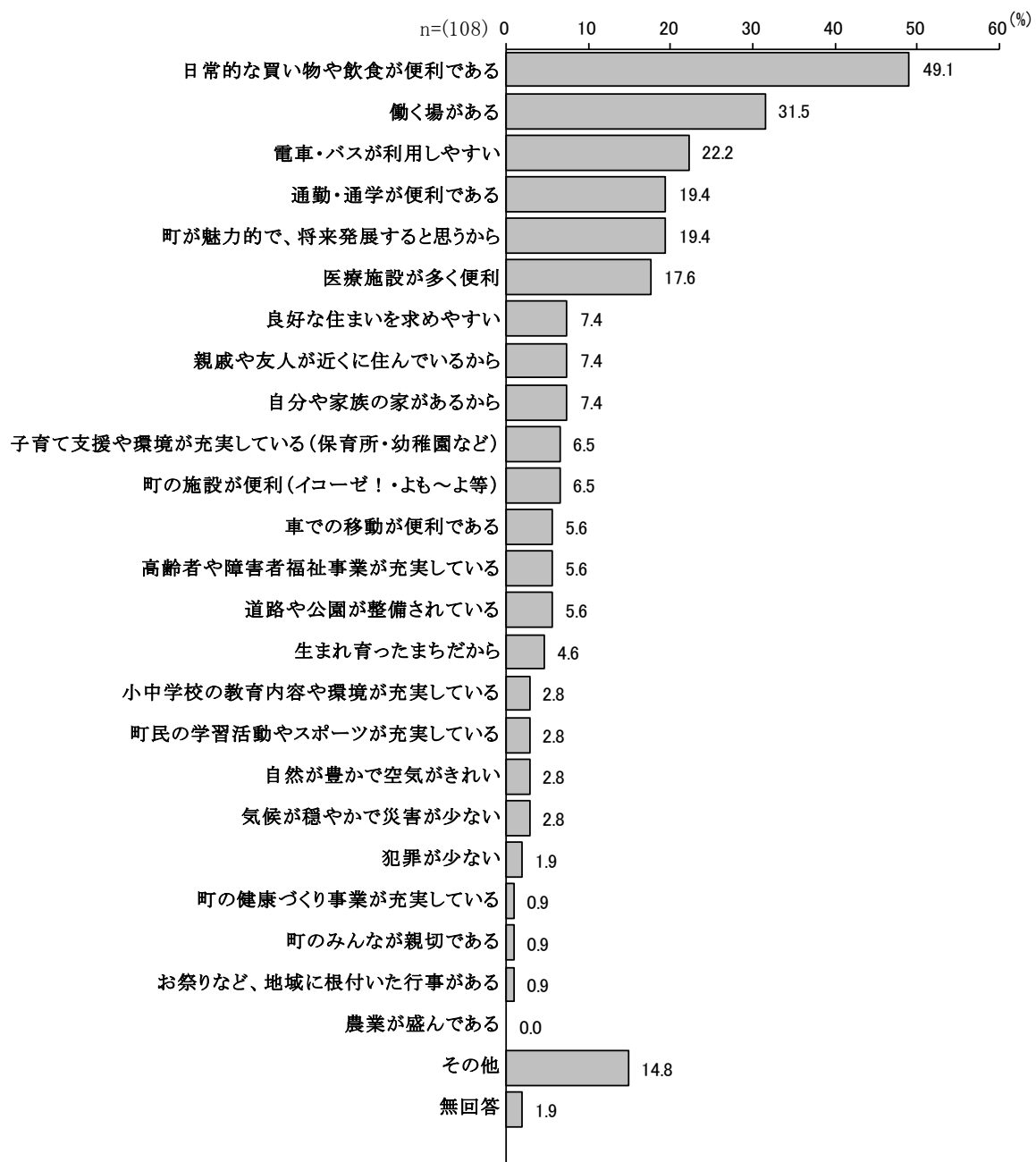
上段：件数、下段：%

		調査数	良好な住まいを求め	働く場がある	農業が盛んである	交通・通学が便利である	電車・バスが利用しやすい	車の移動が便利である	食が便利である	日常的な買い物や飲食が便利である	子育て支援や環境が充実している（保育所・幼稚園など）	子育て支援や環境が充実している	町の健康づくり事業が充実している	高齢者が障害者福祉施設が充実している	医療施設が多く便利	環境が充実している	小中学校の教育内容	市民の学習活動しやすい
全 体		266 100.0	11 4.1	14 5.3	1 0.4	13 4.9	13 4.9	11 4.1	20 7.5	24 9.0	0 0.0	4 1.5	6 2.3	7 2.6	5 1.9			
年代別	20歳未満	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	1 5.9	0 0.0	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9
	20代	52 100.0	2 3.8	3 5.8	0 0.0	5 9.6	1 1.9	1 1.9	4 7.7	7 13.5	0 0.0	0 0.0	1 1.9	1 1.9	0 0.0			0
	30代	65 100.0	1 1.5	4 6.2	0 0.0	3 4.6	1 1.5	2 3.1	6 9.2	14 21.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	2 3.1	1 1.5			1
	40代	58 100.0	4 6.9	4 6.9	1 1.7	1 1.7	3 5.2	5 8.6	1 1.7	3 5.2	0 0.0	1 1.7	1 1.7	3 5.2	1 1.7			1
	50代	36 100.0	4 11.1	2 5.6	0 0.0	2 5.6	4 11.1	1 2.8	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6	1 2.8	0 0.0			0
	60代	24 100.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	2 8.3	2 8.3	3 12.5	0 0.0	0 0.0	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2			1
	70歳以上	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	1 7.7			1

		調査数	等コ町の施設が便利（よい）	道路や公園が整備されている	自然が豊かで空気がきれいな	気候が穏やかで災害が少ない	犯罪が少ない	生まれ育ったまちだから	親戚や友人が近くに	自分や家族の家がある	町のみんなが親切である	根付いた行事、地域がある	お祭りなど、将来の展望が魅力的で、将来	その他	無回答
全 体		266 100.0	8 3.0	2 0.8	28 10.5	19 7.1	13 4.9	46 17.3	20 7.5	62 23.3	4 1.5	8 3.0	1 0.4	8 3.0	129 48.5
年代別	20歳未満	17 100.0	3 17.6	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	3 17.6	1 5.9	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 58.8
	20代	52 100.0	0 0.0	0 0.0	6 11.5	1 1.9	4 7.7	13 25.0	8 15.4	12 23.1	1 1.9	1 1.9	0 0.0	1 1.9	26 50.0
	30代	65 100.0	2 3.1	0 0.0	3 4.6	1 1.5	3 4.6	11 16.9	1 1.5	17 26.2	2 3.1	4 6.2	1 1.5	0 0.0	32 49.2
	40代	58 100.0	1 1.7	0 0.0	8 13.8	4 6.9	1 1.7	10 17.2	8 13.8	14 24.1	0 0.0	3 5.2	0 0.0	4 6.9	26 44.8
	50代	36 100.0	0 0.0	1 2.8	2 5.6	6 16.7	2 5.6	1 2.8	0 0.0	8 22.2	1 2.8	0 0.0	0 0.0	1 2.8	20 55.6
	60代	24 100.0	1 4.2	1 4.2	4 16.7	3 12.5	2 8.3	6 25.0	1 4.2	6 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	10 41.7
	70歳以上	13 100.0	1 7.7	0 0.0	3 23.1	3 23.1	0 0.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	5 38.5

③ 「いずれ、町外に転居したい」と回答した方の理由

※ 「求めにくい」「不便である」と逆に読み替えて回答



居住意向で「いずれ、町外に転居したい」と回答した方にその理由をたずねたところ、「日常的な買い物や飲食が便利である（不便である）」が 49.1%と最も多く、以下「働く場がある（ない）」(31.5%)、「電車・バスが利用しやすい（しにくい）」(22.2%)、「通勤・通学が便利である（不便である）」(19.4%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「日常的な買い物や飲食が便利である（不便である）」「働く場がある（ない）」が5割を超えています。『20代』では「日常的な買い物や飲食が便利である（不便である）」に次いで「通勤・通学が便利である（不便である）」が29.2%と他の年代に比べて多くなっています。

【「いずれ、町外に転居したい」理由／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	や良い住まいを求め	働く場がある	農業が盛んである	通勤・通学が便利である	電車・バスが利用しやすい	車の移動が便利である	日常的な買い物や飲食が便利である	子育て支援や環境がよい（保育園など）	町の健康づくり事業が充実している	高齢者や障害者福祉事業が充実している	医療施設が多く便利	小学校の教育内容が充実している	市民の学習活動しやすい
全 体		108 100.0	8 7.4	34 31.5	0 0.0	21 19.4	24 22.2	6 5.6	53 49.1	7 6.5	1 0.9	6 5.6	19 17.6	3 2.8	3 2.8
年代別	20歳未満	21 100.0	2 9.5	11 52.4	0 0.0	7 33.3	7 33.3	0 0.0	12 57.1	2 9.5	1 4.8	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0
	20代	24 100.0	1 4.2	8 33.3	0 0.0	7 29.2	5 20.8	1 4.2	11 45.8	2 8.3	0 0.0	1 4.2	4 16.7	2 8.3	1 4.2
	30代	15 100.0	0 0.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	4 26.7	1 6.7	10 66.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0
	40代	19 100.0	4 21.1	7 36.8	0 0.0	1 5.3	1 5.3	0 0.0	9 47.4	1 5.3	0 0.0	3 15.8	5 26.3	0 0.0	1 5.3
	50代	16 100.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	3 18.8	4 25.0	3 18.8	8 50.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	4 25.0	0 0.0	0 0.0
	60代	8 100.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	70歳以上	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0

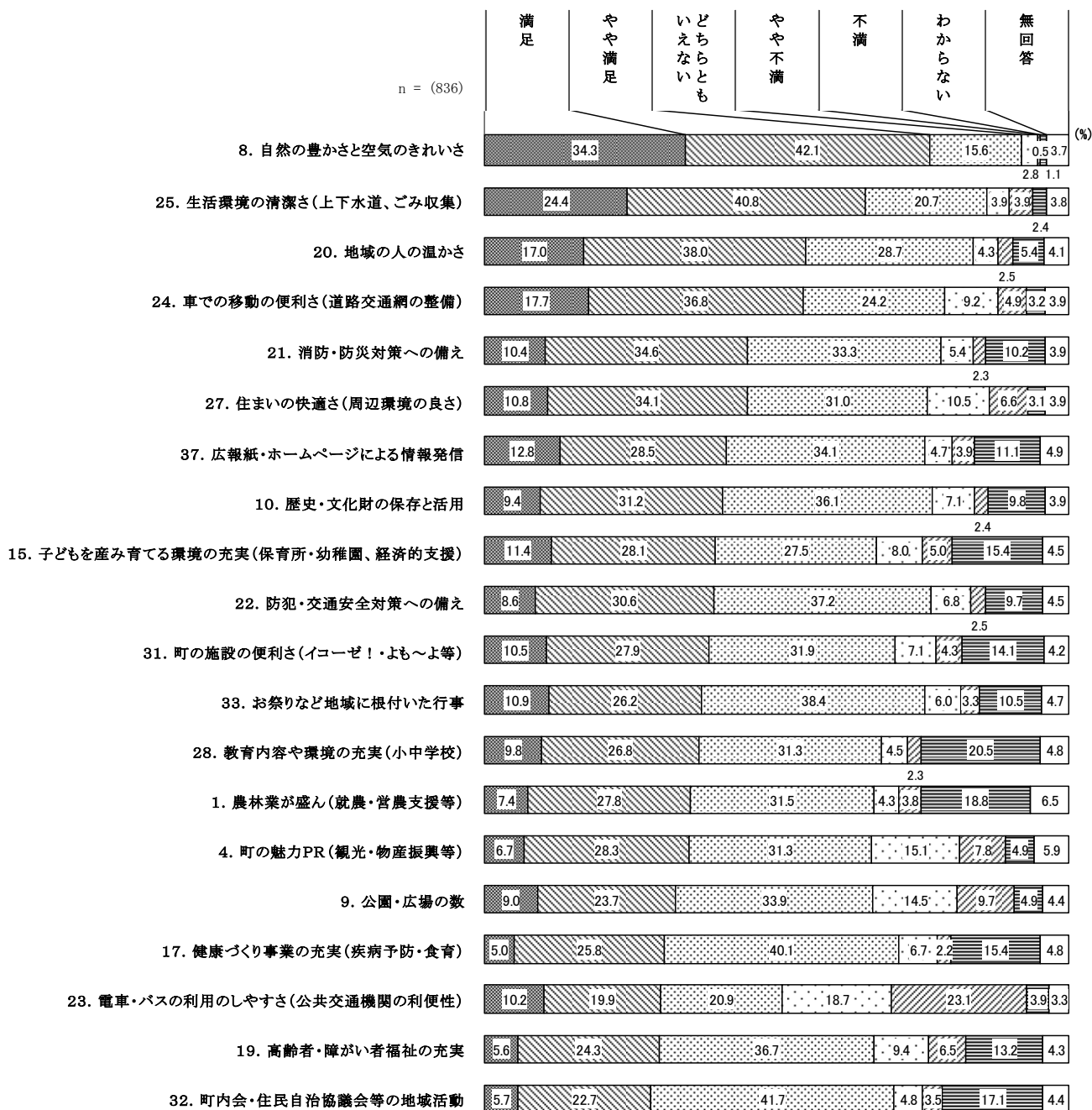
		調査数	町の施設が便利（イコール！・よみこま）	道路や公園が整備されている	自然が豊かで空気がきれい	気候が穏やかで災害が少ない	犯罪が少ない	生まれ育ったまちだから	親戚や友人が近くに	自分や家族の家がある	町のみんなが親切である	お祭りなど、地域に根付いた行事がある	町が魅力的で、将来発展すると思うから	その他	無回答
全 体		108 100.0	7 6.5	6 5.6	3 2.8	3 2.8	2 1.9	5 4.6	8 7.4	8 7.4	1 0.9	1 0.9	21 19.4	16 14.8	2 1.9
年代別	20歳未満	21 100.0	3 14.3	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.5	1 4.8	2 9.5	0 0.0	0 0.0	3 14.3	3 14.3	0 0.0
	20代	24 100.0	1 4.2	2 8.3	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0	5 20.8	3 12.5	0 0.0
	30代	15 100.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0	4 26.7	0 0.0
	40代	19 100.0	0 0.0	2 10.5	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.8	2 10.5	1 5.3	0 0.0	3 15.8	1 5.3	1 5.3
	50代	16 100.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	4 25.0	3 18.8	0 0.0
	60代	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5
	70歳以上	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0

3. 日常生活から見た満足度と重要度について

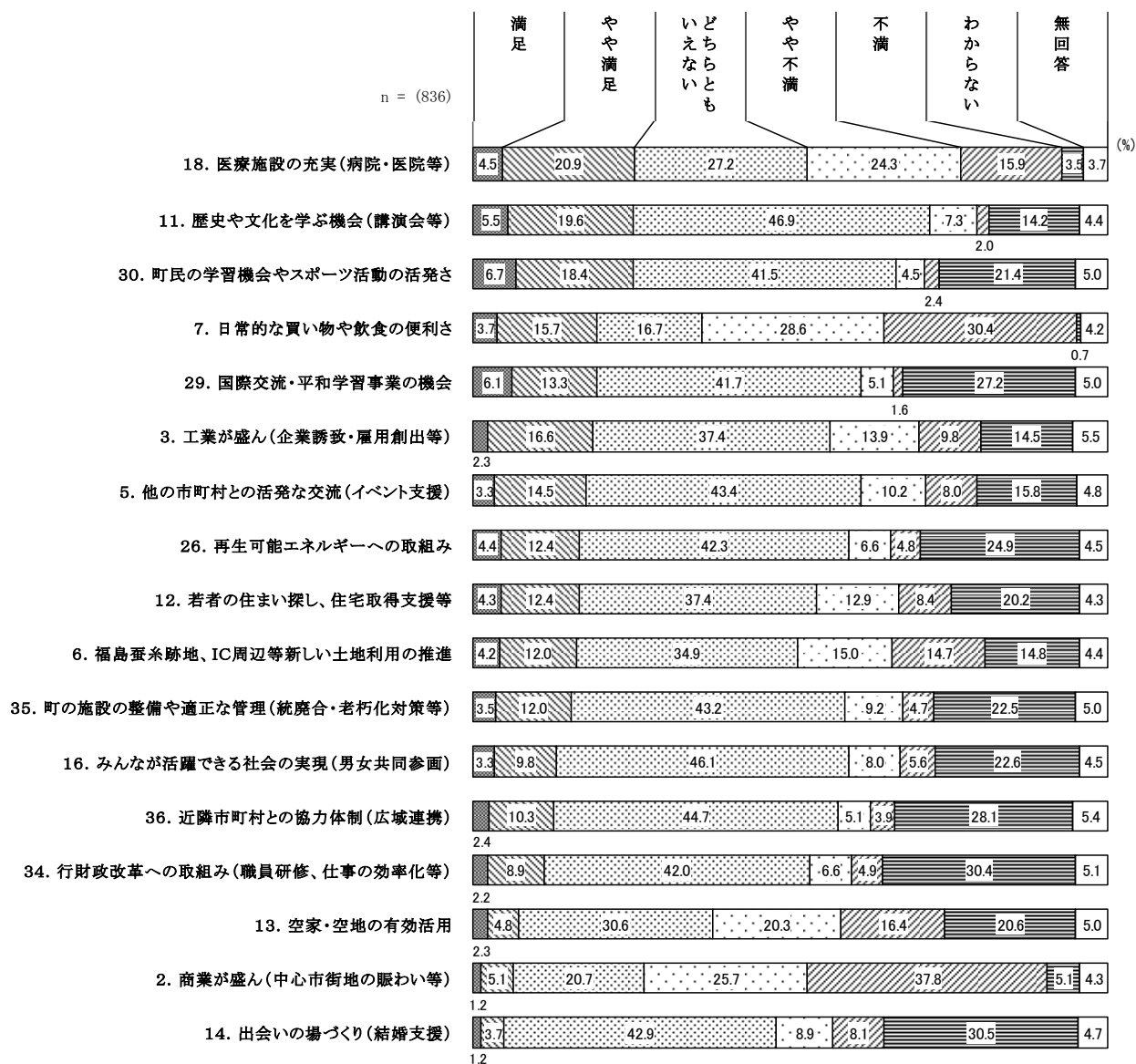
(1) 町の実施について現在の「満足度」と今後の「重要度」

問3-1 あなた自身の日常生活から見て、「現在の満足度」と今後の町の実施についての「重要度」をお選びください。

①現在の「満足度」



①現在の「満足度」つづき



男女別にみると、『女性』は、〈満足〉〈やや満足〉と回答した割合が『男性』と比べて多い（5ポイント以上）項目が多く、子育て、健康、情報発信、観光・イベント、自然の豊かさなどが高く評価されています。

具体的には、「健康づくり事業の充実（疾病予防・食育）」の〈やや満足〉が30.7%、「子どもを産み育てる環境の充実（保育所・幼稚園、経済的支援）」の〈やや満足〉が32.4%、「お祭りなど地域に根付いた行事」の〈やや満足〉が30.5%、「広報紙・ホームページによる情報発信」の〈やや満足〉が32.7%と『男性』に比べ多くなっています。

なお、『女性』が〈不満〉〈やや不満〉と評価している項目は「日常的な買い物や飲食の便利さ」がそれぞれ33.2%、30.2%と『男性』に比べ多くなっています。

【満足度／17. 健康づくり事業の充実（疾病予防・食育）／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや 不満	不満	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	42 5.0	216 25.8	335 40.1	56 6.7	18 2.2	129 15.4	40 4.8
男女別	男性	422 100.0	20 4.7	89 21.1	194 46.0	37 8.8	7 1.7	57 13.5	18 4.3
	女性	410 100.0	22 5.4	126 30.7	140 34.1	19 4.6	11 2.7	71 17.3	21 5.1

【満足度／15. 子どもを産み育てる環境の充実（保育所・幼稚園、経済的支援）／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや 不満	不満	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	95 11.4	235 28.1	230 27.5	67 8.0	42 5.0	129 15.4	38 4.5
男女別	男性	422 100.0	39 9.2	101 23.9	130 30.8	47 11.1	20 4.7	65 15.4	20 4.7
	女性	410 100.0	56 13.7	133 32.4	99 24.1	20 4.9	22 5.4	62 15.1	18 4.4

【満足度／33. お祭りなど地域に根付いた行事／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや 不満	不満	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	91 10.9	219 26.2	321 38.4	50 6.0	28 3.3	88 10.5	39 4.7
男女別	男性	422 100.0	49 11.6	93 22.0	183 43.4	28 6.6	11 2.6	39 9.2	19 4.5
	女性	410 100.0	42 10.2	125 30.5	137 33.4	22 5.4	17 4.1	48 11.7	19 4.6

【満足度／37. 広報紙・ホームページによる情報発信／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや 不満	不満	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	107 12.8	238 28.5	285 34.1	39 4.7	33 3.9	93 11.1	41 4.9
男女別	男性	422 100.0	44 10.4	104 24.6	169 40.0	22 5.2	18 4.3	44 10.4	21 5.0
	女性	410 100.0	63 15.4	134 32.7	115 28.0	17 4.1	15 3.7	47 11.5	19 4.6

【満足度／7. 日常的な買い物や飲食の便利さ／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや 不満	不満	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	31 3.7	131 15.7	140 16.7	239 28.6	254 30.4	6 0.7	35 4.2
男女別	男性	422 100.0	18 4.3	73 17.3	78 18.5	115 27.3	117 27.7	3 0.7	18 4.3
	女性	410 100.0	13 3.2	58 14.1	60 14.6	124 30.2	136 33.2	3 0.7	16 3.9

『男性』では、「福島蚕糸跡地、IC 周辺等新しい土地利用の推進」の〈不満〉〈やや不満〉がそれぞれ 16.8%、18.2%、「出会いの場づくり（結婚支援）」の〈やや不満〉が 12.1%と『女性』と比べ5ポイント以上多くなっています。

【満足度／6. 福島蚕糸跡地、IC 周辺等新しい土地利用の推進／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや 不満	不満	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	35 4.2	100 12.0	292 34.9	125 15.0	123 14.7	124 14.8	37 4.4
男女別	男性	422 100.0	20 4.7	47 11.1	138 32.7	77 18.2	71 16.8	48 11.4	21 5.0
	女性	410 100.0	14 3.4	52 12.7	154 37.6	48 11.7	52 12.7	74 18.0	16 3.9

【満足度／14. 出会いの場づくり（結婚支援）／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや 不満	不満	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	10 1.2	31 3.7	359 42.9	74 8.9	68 8.1	255 30.5	39 4.7
男女別	男性	422 100.0	8 1.9	13 3.1	177 41.9	51 12.1	39 9.2	115 27.3	19 4.5
	女性	410 100.0	2 0.5	18 4.4	182 44.4	23 5.6	29 7.1	137 33.4	19 4.6

居住地別にみると、『桑折地区』『半田地区』では「電車・バスの利用のしやすさ（公共交通機関の利便性）」の〈やや満足〉がそれぞれ24.7%、24.3%ですが、『睦合地区』『伊達崎地区』では〈やや不満〉〈不満〉が2～3割半ば程度となっています。また、『桑折地区』『半田地区』では「車での移動の便利さ（道路交通網の整備）」の〈やや満足〉がそれぞれ38.6%、41.7%と他の居住地に比べ多くなっています。

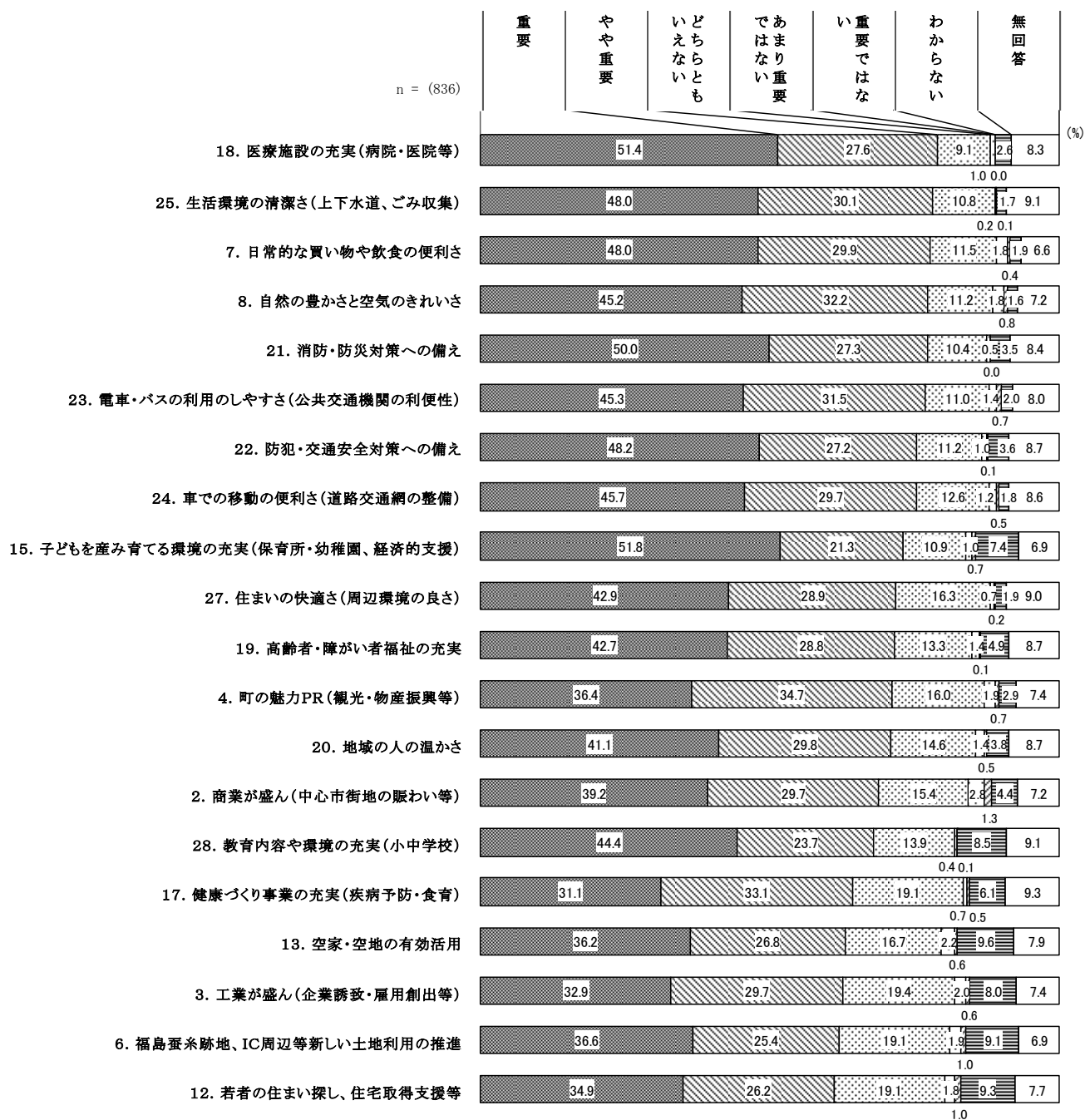
【満足度／23. 電車・バスの利用のしやすさ（公共交通機関の利便性）／居住地別】上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや不満	不満	わからない	無回答
全 体		836	85	166	175	156	193	33	28
		100.0	10.2	19.9	20.9	18.7	23.1	3.9	3.3
居住地別	桑折地区	365	41	90	78	62	67	16	11
		100.0	11.2	24.7	21.4	17.0	18.4	4.4	3.0
	睦合地区	137	8	13	34	33	40	5	4
		100.0	5.8	9.5	24.8	24.1	29.2	3.6	2.9
居住地別	伊達崎地区	126	9	12	21	27	47	2	8
		100.0	7.1	9.5	16.7	21.4	37.3	1.6	6.3
居住地別	半田地区	206	27	50	41	34	39	10	5
		100.0	13.1	24.3	19.9	16.5	18.9	4.9	2.4

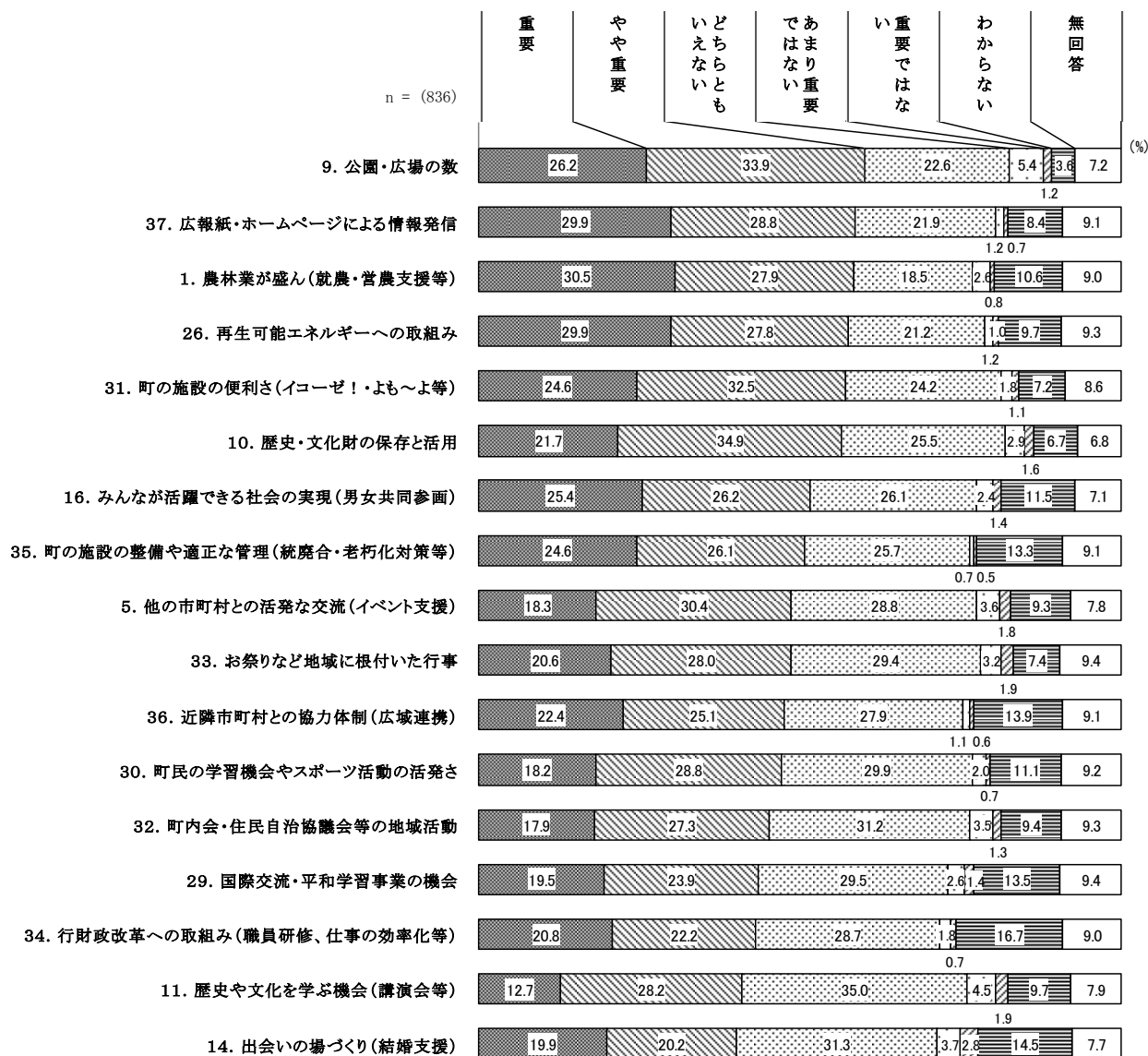
【満足度／24. 車での移動の便利さ（道路交通網の整備）／居住地別】上段：件数、下段：%

		調査数	満足	やや満足	いど えち なら い も	やや不満	不満	わからない	無回答
全 体		836	148	308	202	77	41	27	33
		100.0	17.7	36.8	24.2	9.2	4.9	3.2	3.9
居住地別	桑折地区	365	67	141	84	28	15	15	15
		100.0	18.4	38.6	23.0	7.7	4.1	4.1	4.1
	睦合地区	137	15	37	47	20	9	4	5
		100.0	10.9	27.0	34.3	14.6	6.6	2.9	3.6
居住地別	伊達崎地区	126	26	42	27	13	8	3	7
		100.0	20.6	33.3	21.4	10.3	6.3	2.4	5.6
居住地別	半田地区	206	40	86	44	16	9	5	6
		100.0	19.4	41.7	21.4	7.8	4.4	2.4	2.9

②今後の「重要度」



②今後の「重要度」つづき



男女別にみると、「医療施設の充実（病院・医院等）」「高齢者、障がい者福祉の充実」「地域の人の温かさ」「消防・防災対策への備え」「防犯・交通安全対策への備え」「車での移動の便利さ」「教育内容や環境の充実（小中学校）」などの項目については、男女ともに〈重要〉〈やや重要〉と回答している割合が多くなっています。

全体的に、『女性』は〈重要〉と回答した割合が多く、『男性』と比べて5ポイント以上の差がある項目は半数以上となっています。

具体的には、「日常的な買い物や飲食の便利さ」の〈重要〉が54.4%、「医療施設の充実（病院・医院等）」の〈重要〉が57.6%、「車での移動の便利さ（道路交通網の整備）」の〈重要〉が51.7%、「教育内容や環境の充実（小中学校）」の〈重要〉が50.5%と『男性』に比べて多くなっています。

【需要度／7．日常的な買い物や飲食の便利さ／男女別】 上段：件数、下段：％

		調査数	重要	やや重要	い ど え ち な ら い と も	で あ は ま り な い 重 要	い 重 要 で は な	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	401 48.0	250 29.9	96 11.5	15 1.8	3 0.4	16 1.9	55 6.6
男女別	男性	422 100.0	177 41.9	132 31.3	67 15.9	10 2.4	2 0.5	8 1.9	26 6.2
	女性	410 100.0	223 54.4	117 28.5	28 6.8	5 1.2	1 0.2	8 2.0	28 6.8

【需要度／18．医療施設の充実（病院・医院等）／男女別】 上段：件数、下段：％

		調査数	重要	やや重要	い ど え ち な ら い と も	で あ は ま り な い 重 要	い 重 要 で は な	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	430 51.4	231 27.6	76 9.1	8 1.0	0 0.0	22 2.6	69 8.3
男女別	男性	422 100.0	192 45.5	135 32.0	49 11.6	6 1.4	0 0.0	8 1.9	32 7.6
	女性	410 100.0	236 57.6	96 23.4	26 6.3	2 0.5	0 0.0	14 3.4	36 8.8

【需要度／24．車での移動の便利さ（道路交通網の整備）／男女別】 上段：件数、下段：％

		調査数	重要	やや重要	い ど え ち な ら い と も	で あ は ま り な い 重 要	い 重 要 で は な	わ か ら な い	無 回 答
全 体		836 100.0	382 45.7	248 29.7	105 12.6	10 1.2	4 0.5	15 1.8	72 8.6
男女別	男性	422 100.0	168 39.8	139 32.9	68 16.1	7 1.7	2 0.5	5 1.2	33 7.8
	女性	410 100.0	212 51.7	109 26.6	36 8.8	3 0.7	2 0.5	10 2.4	38 9.3

【需要度／28. 教育内容や環境の充実（小中学校）／男女別】上段：件数、下段：％

		調査数	重要	やや重要	いどちらないとも	ではまなり重要	い重要ではな	わからない	無回答
全 体		836 100.0	371 44.4	198 23.7	116 13.9	3 0.4	1 0.1	71 8.5	76 9.1
男女別	男性	422 100.0	163 38.6	118 28.0	75 17.8	2 0.5	1 0.2	29 6.9	34 8.1
	女性	410 100.0	207 50.5	78 19.0	41 10.0	1 0.2	0 0.0	42 10.2	41 10.0

居住地別にみると、『伊達崎地区』では「空家・空地の有効活用」の〈重要〉が44.4%、「出会いの場づくり（結婚支援）」の〈重要〉が31.7%と他の居住地に比べ多くなっています。

【需要度／13. 空家・空地の有効活用／居住地別】上段：件数、下段：％

		調査数	重要	やや重要	いどちらないとも	ではまなり重要	い重要ではな	わからない	無回答
全 体		836 100.0	303 36.2	224 26.8	140 16.7	18 2.2	5 0.6	80 9.6	66 7.9
居住地別	桑折地区	365 100.0	134 36.7	101 27.7	54 14.8	7 1.9	2 0.5	42 11.5	25 6.8
	睦合地区	137 100.0	39 28.5	34 24.8	32 23.4	2 1.5	0 0.0	15 10.9	15 10.9
	伊達崎地区	126 100.0	56 44.4	24 19.0	27 21.4	2 1.6	2 1.6	6 4.8	9 7.1
	半田地区	206 100.0	74 35.9	64 31.1	27 13.1	7 3.4	1 0.5	17 8.3	16 7.8

【需要度／14. 出会いの場づくり（結婚支援）／居住地別】上段：件数、下段：％

		調査数	重要	やや重要	いどちらないとも	ではまなり重要	い重要ではな	わからない	無回答
全 体		836 100.0	166 19.9	169 20.2	262 31.3	31 3.7	23 2.8	121 14.5	64 7.7
居住地別	桑折地区	365 100.0	57 15.6	73 20.0	123 33.7	13 3.6	13 3.6	60 16.4	26 7.1
	睦合地区	137 100.0	21 15.3	29 21.2	37 27.0	8 5.8	3 2.2	25 18.2	14 10.2
	伊達崎地区	126 100.0	40 31.7	16 12.7	40 31.7	4 3.2	4 3.2	13 10.3	9 7.1
	半田地区	206 100.0	48 23.3	51 24.8	62 30.1	5 2.4	3 1.5	23 11.2	14 6.8

◆「満足度」×「重要度」の分析

日常生活から見た桑折町について、「満足度」「重要度」のそれぞれに得点を付与し分析を行いました。

得点は1点～5点の間に分布し、3点が中間点、5点に近いほど満足度・重要度が高く、1点に近いほど満足度・重要度が低いことを表しています。

* 満足度及び重要度の算出方法 *

各項目の現在の満足度及び今後の町の取組みについての重要度の回答より、選択肢ごとに以下の点数を付与し、その合計を回答数で除算し、平均得点を算出しました。(得点の算出にあたっては、わからないと無回答は除外)

【①満足度】

「満足」：5点
「やや満足」：4点
「どちらともいえない」：3点
「やや不満」：2点
「不満」：1点
「わからない」 および
「無回答」 : 点数の付与はしない

【②重要度】

「重要」：5点
「やや重要」：4点
「どちらともいえない」：3点
「あまり重要でない」：2点
「重要でない」：1点
「わからない」 および
「無回答」 : 点数の付与はしない

$$\frac{(\text{満足} \times 5 \text{点}) + (\text{やや満足} \times 4 \text{点}) + (\text{「ふつう」} \times 3 \text{点}) + (\text{やや不満} \times 2 \text{点}) + (\text{不満} \times 1 \text{点})}{\text{調査数} - (\text{「わからない」の回答者} + \text{「無回答」の回答者})} = \text{満足度}$$

※重要度についても同様の算出式

上記の「満足度」「重要度」をもとに各項目における相対的な位置づけを整理するため、散布図を作成しました。「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値を示しています。

※上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重要度が高い／低いということを示しています。

※また、「わからない」と「無回答」の割合が多い項目は、点数評価している方が少ない項目となるので、注意が必要です。

●評価タイプⅠ：「満足度」は高いが「重要度」が低い

満足度が高い項目であるものの、重要度は低いため、現在の対応の維持が必要とされる項目

●評価タイプⅡ：「満足度」「重要度」ともに高い

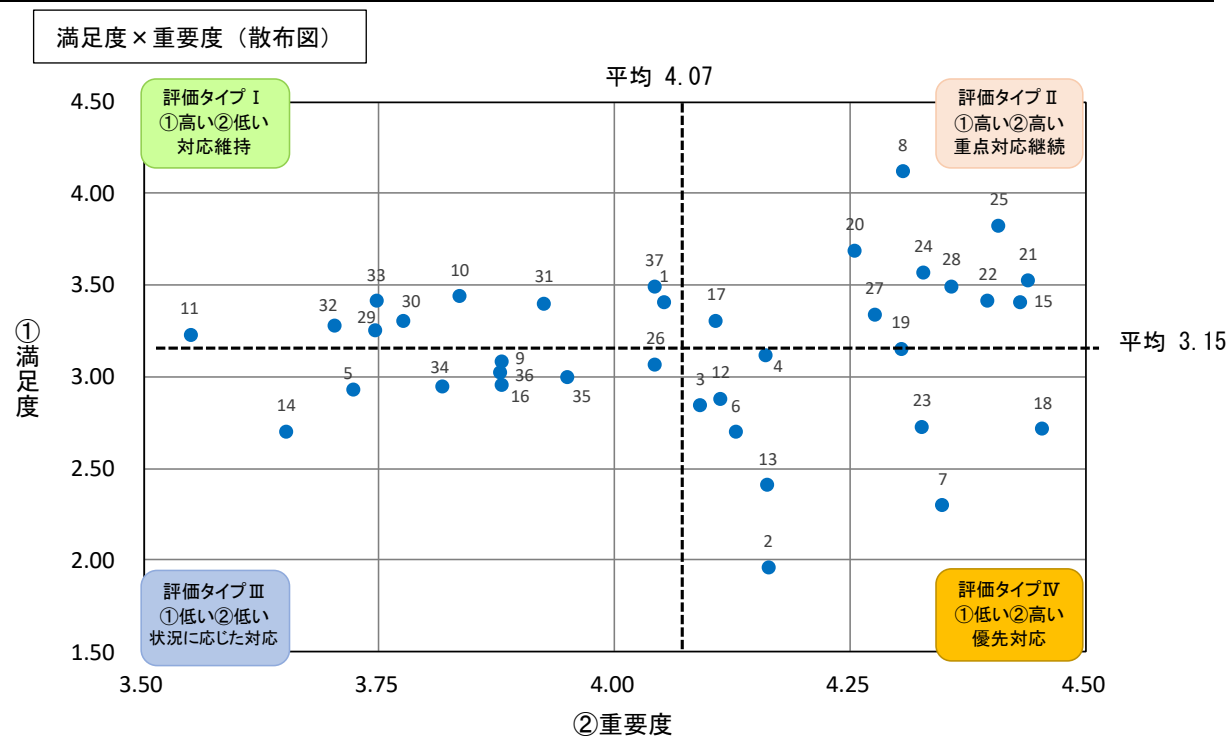
満足度が高く、重要度も高い項目であるため、重点的な対応の継続が必要とされる項目

●評価タイプⅢ：「満足度」「重要度」ともに低い

満足度が低く、重要度も低い項目であるため、町民ニーズの動向を注視しながら、状況に合わせた対応が必要とされる項目

●評価タイプⅣ：「満足度」が低く「重要度」が高い

満足度が低い項目であるものの、重要度が高い項目であるため、優先的な対応が必要とされる項目



平均点一覧

番号	大項目	小項目	①満足度	②重要度	満足度 わからない +無回答 割合	重要度 わからない +無回答 割合	評価タイプ
1	産業・雇用（農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用）	農林業が盛ん（就農・営農支援等）	3.41	4.05	25.2%	19.6%	タイプⅠ
2		商業が盛ん（中心市街地の賑わい等）	1.96	4.16	9.4%	11.6%	タイプⅣ
3		工業が盛ん（企業誘致・雇用創出等）	2.85	4.09	20.0%	15.4%	タイプⅣ
4		町の魅力PR（観光・物産振興等）	3.12	4.16	10.8%	10.3%	タイプⅣ
5		他の市町村との活発な交流（イベント支援）	2.94	3.72	20.6%	17.1%	タイプⅢ
6		福島蚕糸跡地、IC周辺等新しい土地利用の推進	2.70	4.13	19.3%	16.0%	タイプⅣ
7		日常的な買い物や飲食の便利さ	2.30	4.35	4.9%	8.5%	タイプⅣ
8	都市緑地と景観	自然の豊かさや空気のきれいさ	4.12	4.31	4.8%	8.7%	タイプⅡ
9		公園・広場の数	3.09	3.88	9.3%	10.8%	タイプⅢ
10	歴史まちづくり	歴史・文化財の保存と活用	3.44	3.84	13.8%	13.5%	タイプⅠ
11		歴史や文化を学ぶ機会（講演会等）	3.24	3.55	18.7%	17.6%	タイプⅠ
12	移住・定住	若者の住まい探し、住宅取得支援等	2.89	4.11	24.5%	17.0%	タイプⅣ
13		空家・空き地の有効活用	2.41	4.16	25.6%	17.5%	タイプⅣ
14	結婚・出産・育児・子育て	出会いの場づくり（結婚支援）	2.71	3.65	35.2%	22.1%	タイプⅢ
15		子どもを産み育てる環境の充実（保育所・幼稚園、経済的支援）	3.41	4.43	20.0%	14.4%	タイプⅡ
16		みんなが活躍できる社会の実現（男女共同参画）	2.96	3.88	27.2%	18.5%	タイプⅢ
17	健康・医療・地域福祉	健康づくり事業の充実（疾病予防・食育）	3.31	4.11	20.2%	15.4%	タイプⅡ
18		医療施設の充実（病院・医院等）	2.72	4.45	7.2%	10.9%	タイプⅣ
19		高齢者・障がい者福祉の充実	3.16	4.30	17.5%	13.6%	タイプⅡ
20		地域の人の温かさ	3.69	4.25	9.4%	12.6%	タイプⅡ
21	防災・生活安全	消防・防災対策への備え	3.53	4.44	14.1%	11.8%	タイプⅡ
22		防犯・交通安全対策への備え	3.42	4.40	14.2%	12.3%	タイプⅡ
23	道路・交通	電車・バスの利用のしやすさ（公共交通機関の利便性）	2.73	4.33	7.3%	10.0%	タイプⅣ
24		車での移動の便利さ（道路交通網の整備）	3.57	4.33	7.2%	10.4%	タイプⅡ
25	環境衛生・居住環境・住宅	生活環境の清潔さ（上下水道、ごみ収集）	3.83	4.41	6.2%	10.8%	タイプⅡ
26		再生可能エネルギーへの取組み	3.07	4.04	29.4%	19.0%	タイプⅢ
27		住まいの快適さ（周辺環境の良さ）	3.34	4.28	7.1%	10.9%	タイプⅡ
28	教育・生涯学習・スポーツ	教育内容や環境の充実（小中学校）	3.50	4.36	25.2%	17.6%	タイプⅡ
29		国際交流・平和学習事業の機会	3.25	3.75	32.2%	23.0%	タイプⅠ
30		町民の学習機会やスポーツ活動の活発さ	3.31	3.77	26.4%	20.3%	タイプⅠ
31		町の施設の便利さ（イコーゼ！・よも〜よ等）	3.41	3.92	18.3%	15.8%	タイプⅠ
32	住民自治・行政機能・財政運営など	町内会・住民自治協議会等の地域活動	3.29	3.70	21.5%	18.8%	タイプⅠ
33		お祭りなど地域に根付いた行事	3.42	3.75	15.2%	16.9%	タイプⅠ
34		行財政改革への取組み（職員研修、仕事の効率化等）	2.95	3.82	35.5%	25.7%	タイプⅢ
35		町の施設の整備や適正な管理（統廃合・老朽化対策等）	3.00	3.95	27.5%	22.4%	タイプⅢ
36		近隣市町村との協力体制（広域連携）	3.03	3.88	33.5%	23.0%	タイプⅢ
37		広報誌・ホームページによる情報発信	3.49	4.04	16.0%	17.5%	タイプⅠ
平均			3.15	4.07	18.4%	15.6%	

※わからない+無回答の割合が平均値以上のものに着色

重要度が高いが満足度が低い『優先的な対応の必要性がある施策 ※タイプⅣ』は、「医療施設の充実（病院・医院等）」、「日常的な買い物や飲食の便利さ」、「電車・バスの利用のしやすさ（公共交通機関の利便性）」などがあげられています。

重要度・満足度がともに高い『重点的な対応の継続が必要な施策 ※タイプⅡ』は、「消防・防災対策への備え」、「生活環境の清潔さ（上下水道、ごみ収集）」、「防犯・交通安全対策への備え」などとなっています。

町民意向からみられる施策方向性一覧

分類	番号	大項目	小項目	①満足度	②重要度	満足度 わからない +無回答 割合	重要度 わからない +無回答 割合	評価タイプ
優先的な対応の 必要性がある施策 (満足度低・重要度高)	2	産業・雇用(農林 業振興・商工業振 興・観光交流・雇 用)	商業が盛ん(中心市街地の賑わい等)	1.96	4.16	9.4%	11.6%	タイプⅣ
	3		工業が盛ん(企業誘致・雇用創出等)	2.85	4.09	20.0%	15.4%	タイプⅣ
	4		町の魅力PR(観光・物産振興等)	3.12	4.16	10.8%	10.3%	タイプⅣ
	6		福島蚕糸跡地、IC周辺等新しい土地利用の推進	2.70	4.13	19.3%	16.0%	タイプⅣ
	7	移住・定住	日常的な買い物や飲食の便利さ	2.30	4.35	4.9%	8.5%	タイプⅣ
	12		若者の住まい探し、住宅取得支援等	2.89	4.11	24.5%	17.0%	タイプⅣ
	13		空き家・空き地の有効活用	2.41	4.16	25.6%	17.5%	タイプⅣ
	18	健康・医療・地域 福祉	医療施設の充実(病院・医院等)	2.72	4.45	7.2%	10.9%	タイプⅣ
重点的な対応の 継続が必要な施策 (満足度高・重要度高)	23	道路・交通	電車・バスの利用のしやすさ(公共交通機関の利便性)	2.73	4.33	7.3%	10.0%	タイプⅣ
	8	都市緑地と景観	自然の豊かさ空気の良いさ	4.12	4.31	4.8%	8.7%	タイプⅡ
	15	結婚・出産・育児・ 子育て	子どもを産み育てる環境の充実(保育所・幼稚園、経済的支援)	3.41	4.43	20.0%	14.4%	タイプⅡ
	17	健康・医療・地域 福祉	健康づくり事業の充実(疾病予防・食育)	3.31	4.11	20.2%	15.4%	タイプⅡ
	19		高齢者・障がい者福祉の充実	3.16	4.30	17.5%	13.6%	タイプⅡ
	20		地域の人の温かさ	3.69	4.25	9.4%	12.6%	タイプⅡ
	21	防災・生活安全	消防・防災対策への備え	3.53	4.44	14.1%	11.8%	タイプⅡ
	22		防犯・交通安全対策への備え	3.42	4.40	14.2%	12.3%	タイプⅡ
	24	道路・交通	車での移動の便利さ(道路交通網の整備)	3.57	4.33	7.2%	10.4%	タイプⅡ
	25	環境衛生・居住環 境・住宅	生活環境の清潔さ(上下水道、ごみ収集)	3.83	4.41	6.2%	10.8%	タイプⅡ
	27	教育・生涯学習・ス ポーツ	住まいの快適さ(周辺環境の良さ)	3.34	4.28	7.1%	10.9%	タイプⅡ
	28		教育内容や環境の充実(小中学校)	3.50	4.36	25.2%	17.6%	タイプⅡ
充足感があり 対応の維持が 必要な施策 (満足度高・重要度 低)	1	産業・雇用(農林 業振興・商工業振 興・観光交流・雇 用)	農林業が盛ん(就農・営農支援等)	3.41	4.05	25.2%	19.6%	タイプⅠ
	10	歴史まちづくり	歴史・文化財の保存と活用	3.44	3.84	13.8%	13.5%	タイプⅠ
	11		歴史や文化を学ぶ機会(講演会等)	3.24	3.55	18.7%	17.6%	タイプⅠ
	29	教育・生涯学習・ス ポーツ	国際交流・平和学習事業の機会	3.25	3.75	32.2%	23.0%	タイプⅠ
	30	町の施設・サービスの 充実	町民の学習機会やスポーツ活動の充実	3.31	3.77	26.4%	20.3%	タイプⅠ
	31		町の施設の便利さ(イコーゼ!・よもよ等)	3.41	3.92	18.3%	15.8%	タイプⅠ
	32		町内会・住民自治協議会等の地域活動	3.29	3.70	21.5%	18.8%	タイプⅠ
	33	住民自治・行政機 能・財政運営など	お祭りなど地域に根付いた行事	3.42	3.75	15.2%	16.9%	タイプⅠ
状況に応じた施策 (満足度低・ 重要度低)	37	産業・雇用(農林 業振興・商工業振 興・観光交流・雇 用)	広報誌・ホームページによる情報発信	3.49	4.04	16.0%	17.5%	タイプⅠ
	5		他の市町村との活発な交流(イベント支援)	2.94	3.72	20.6%	17.1%	タイプⅢ
	9		公園・広場の数	3.09	3.88	9.3%	10.8%	タイプⅢ
	14		出合いの場づくり(結婚支援)	2.71	3.65	35.2%	22.1%	タイプⅢ
	16		みんなが活躍できる社会の実現(男女共同参画)	2.96	3.88	27.2%	18.5%	タイプⅢ
	26		環境衛生・居住環 境・住宅	3.07	4.04	29.4%	19.0%	タイプⅢ
	34		行財政改革への取組み(職員研修、仕事の効率化等)	2.95	3.82	35.5%	25.7%	タイプⅢ
	35		町の施設の整備や適正な管理(統廃合・老朽化対策等)	3.00	3.95	27.5%	22.4%	タイプⅢ
	36	住民自治・行政機 能・財政運営など	近隣市町村との協力体制(広域連携)	3.03	3.88	33.5%	23.0%	タイプⅢ
平均				3.18	3.83	18.4%	15.6%	

※わからない+無回答の割合が平均値以上のものに着色

◆「ニーズ得点」の分析

算出した「満足度」、「重要度」をもとに、町民のニーズを明らかにするため、「ニーズ得点」の算出を行いました。

ニーズ得点は「重要度」と「満足度」を得点化し、その差を求め、値が大きいほどニーズが高いと考える指標です。つまりニーズが高い項目とは、「重要だと考えるが満足していない項目」となります。

具体的な計算方法は次のとおり。

＊ニーズ得点の算出方法＊

「重要度（平均点）」×（5－「満足度（平均点）」）＝ ニーズ得点

ニーズが高い項目（＝重要だと考えるが満足していない項目）は「商業が盛ん（中心市街地の賑わい等）」がトップとなっています。以下、「日常的な買い物や飲食の便利さ」、「空家・空き地の有効活用」、「医療施設の充実（病院・医院等）」、「電車・バスの利用のしやすさ（公共交通機関の利便性）」などとなっています。

ニーズ得点による分析

番号	大項目	小項目	ニーズ得点	①満足度	②重要度	満足度 わからない +無回答 割合	重要度 わからない +無回答 割合	評価タイプ
2	産業・雇用(農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用)	商業が盛ん(中心市街地の賑わい等)	12.64	1.96	4.16	9.4%	11.6%	タイプⅣ
7	産業・雇用(農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用)	日常的な買い物や飲食の便利さ	11.73	2.30	4.35	4.9%	8.5%	タイプⅣ
13	移住・定住	空家・空き地の有効活用	10.77	2.41	4.16	25.6%	17.5%	タイプⅣ
18	健康・医療・地域福祉	医療施設の充実(病院・医院等)	10.16	2.72	4.45	7.2%	10.9%	タイプⅣ
23	道路・交通	電車・バスの利用のしやすさ(公共交通機関の利便性)	9.80	2.73	4.33	7.3%	10.0%	タイプⅣ
6	産業・雇用(農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用)	福島蚕糸跡地、IC周辺等新しい土地利用の推進	9.49	2.70	4.13	19.3%	16.0%	タイプⅣ
3	産業・雇用(農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用)	工業が盛ん(企業誘致・雇用創出等)	8.81	2.85	4.09	20.0%	15.4%	タイプⅣ
12	移住・定住	若者の住まい探し、住宅取得支援等	8.69	2.89	4.11	24.5%	17.0%	タイプⅣ
14	結婚・出産・育児・子育て	出会いの場づくり(結婚支援)	8.37	2.71	3.65	35.2%	22.1%	タイプⅢ
19	健康・医療・地域福祉	高齢者・障がい者福祉の充実	7.92	3.16	4.30	17.5%	13.6%	タイプⅡ
16	結婚・出産・育児・子育て	みんなが活躍できる社会の実現(男女共同参画)	7.91	2.96	3.88	27.2%	18.5%	タイプⅢ
35	住民自治・行政機能・財政運営など	町の施設の整備や適正な管理(統廃合・老朽化対策等)	7.88	3.00	3.95	27.5%	22.4%	タイプⅢ
34	住民自治・行政機能・財政運営など	行財政改革への取組み(職員研修、仕事の効率化等)	7.82	2.95	3.82	35.5%	25.7%	タイプⅢ
4	産業・雇用(農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用)	町の魅力PR(観光・物産振興等)	7.80	3.12	4.16	10.8%	10.3%	タイプⅣ
26	環境衛生・居住環境・住宅	再生可能エネルギーへの取組み	7.79	3.07	4.04	29.4%	19.0%	タイプⅢ
5	産業・雇用(農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用)	他の市町村との活発な交流(イベント支援)	7.68	2.94	3.72	20.6%	17.1%	タイプⅢ
36	住民自治・行政機能・財政運営など	近隣市町村との協力体制(広域連携)	7.64	3.03	3.88	33.5%	23.0%	タイプⅢ
9	都市緑地と景観	公園・広場の数	7.43	3.09	3.88	9.3%	10.8%	タイプⅢ
27	環境衛生・居住環境・住宅	住まいの快適さ(周辺環境の良さ)	7.08	3.34	4.28	7.1%	10.9%	タイプⅡ
15	結婚・出産・育児・子育て	子どもを産み育てる環境の充実(保育所・幼稚園、経済的支援)	7.05	3.41	4.43	20.0%	14.4%	タイプⅡ
22	防災・生活安全	防災・交通安全対策への備え	6.95	3.42	4.40	14.2%	12.3%	タイプⅡ
17	健康・医療・地域福祉	健康づくり事業の充実(疾病予防・食育)	6.93	3.31	4.11	20.2%	15.4%	タイプⅡ
29	教育・生涯学習・スポーツ	国際交流・平和学習事業の機会	6.54	3.25	3.75	32.2%	23.0%	タイプⅠ
28	教育・生涯学習・スポーツ	教育内容や環境の充実(小中学校)	6.54	3.50	4.36	25.2%	17.6%	タイプⅡ
21	防災・生活安全	消防・防災対策への備え	6.53	3.53	4.44	14.1%	11.8%	タイプⅡ
1	産業・雇用(農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用)	農林業が盛ん(就農・営農支援等)	6.44	3.41	4.05	25.2%	19.6%	タイプⅠ
30	教育・生涯学習・スポーツ	町民の学習機会やスポーツ活動の活発さ	6.40	3.31	3.77	26.4%	20.3%	タイプⅠ
32	住民自治・行政機能・財政運営など	町内会・住民自治協議会等の地域活動	6.34	3.29	3.70	21.5%	18.8%	タイプⅠ
11	歴史まちづくり	歴史や文化を学ぶ機会(講演会等)	6.26	3.24	3.55	18.7%	17.6%	タイプⅠ
31	教育・生涯学習・スポーツ	町の施設の便利さ(イコーゼ!・よも〜よ等)	6.25	3.41	3.92	18.3%	15.8%	タイプⅠ
24	道路・交通	車での移動の便利さ(道路交通網の整備)	6.17	3.57	4.33	7.2%	10.4%	タイプⅡ
37	住民自治・行政機能・財政運営など	広報誌・ホームページによる情報発信	6.09	3.49	4.04	16.0%	17.5%	タイプⅠ
10	歴史まちづくり	歴史・文化財の保存と活用	5.97	3.44	3.84	13.8%	13.5%	タイプⅠ
33	住民自治・行政機能・財政運営など	お祭りなど地域に根付いた行事	5.93	3.42	3.75	15.2%	16.9%	タイプⅠ
20	健康・医療・地域福祉	地域の人の温かさ	5.56	3.69	4.25	9.4%	12.6%	タイプⅡ
25	環境衛生・居住環境・住宅	生活環境の清潔さ(上下水道、ごみ収集)	5.16	3.83	4.41	6.2%	10.8%	タイプⅡ
8	都市緑地と景観	自然の豊かさや空気のきれいさ	3.77	4.12	4.31	4.8%	8.7%	タイプⅡ
平均			7.52	3.15	4.07	18.4%	15.6%	

※わからない+無回答の割合が平均値以上のものに着色

◆参考「前回結果」との比較

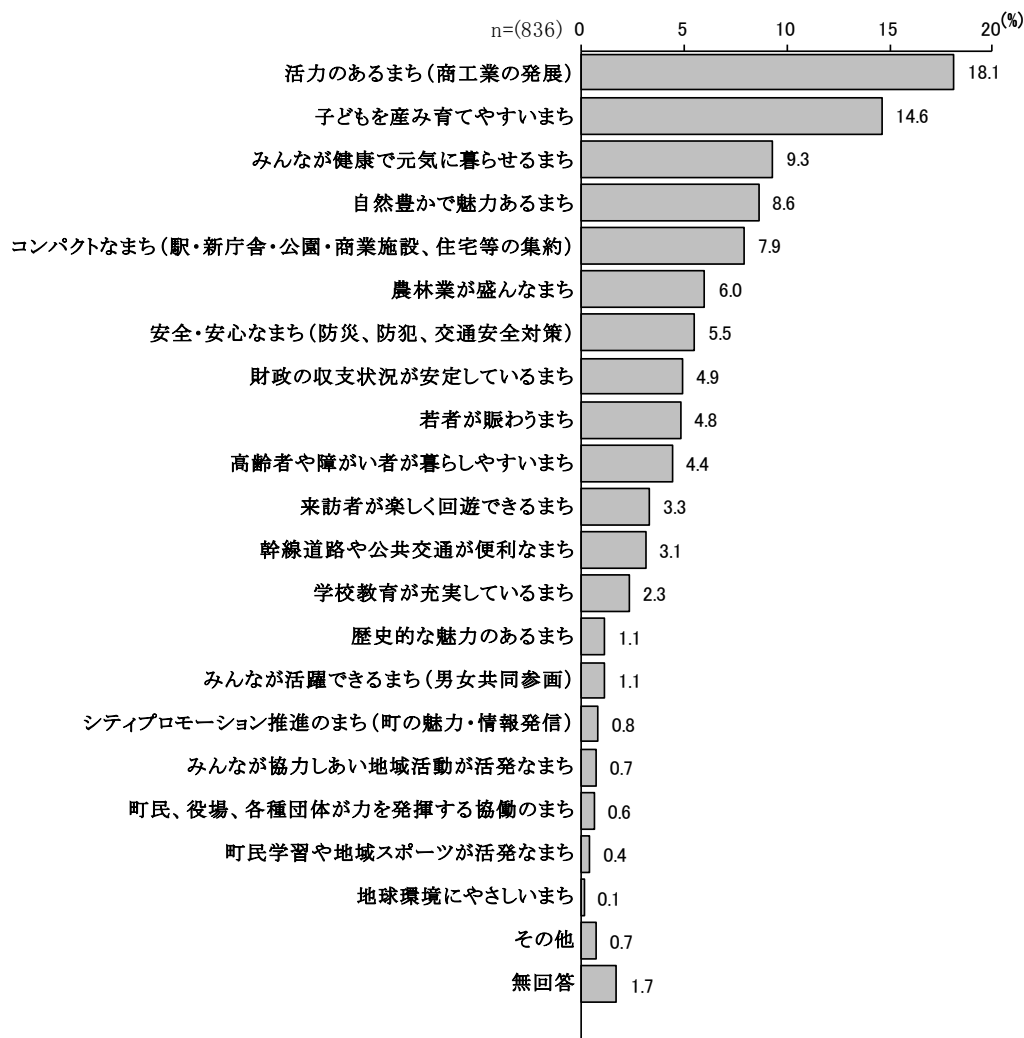
選択肢等が変更されているため厳密な比較はできないが、参考までに前回（平成 27 年）調査結果を比較すると、「車での移動の便利さ（道路交通網の整備）」（+0.52 ポイント）、「子どもを産み育てる環境の充実（保育所・幼稚園、経済的支援）」（+0.39 ポイント）、「教育内容や環境の充実（小中学校）」（+0.30 ポイント）などで満足度が増加している。

一方で「日常的な買い物や飲食の便利さ」（-0.63 ポイント）、「住まいの快適さ（周辺環境の良さ）」（-0.42 ポイント）、「電車・バスの利用のしやすさ（公共交通機関の利便性）」（-0.29 ポイント）などで、満足度が減少している。

番号	大項目	小項目	①満足度	評価タイプ	前回項目	前回 ①満足度	前回 比較
1	産業・雇用（農林業振興・商工業振興・観光交流・雇用）	農林業が盛ん（就農・営農支援等）	3.41	タイプⅠ	-	-	-
2		商業が盛ん（中心市街地の賑わい等）	1.96	タイプⅣ	-	-	-
3		工業が盛ん（企業誘致・雇用創出等）	2.85	タイプⅣ	3.働く場がある	2.56	0.29
4		町の魅力PR（観光・物産振興等）	3.12	タイプⅣ	-	-	-
5		他の市町村との活発な交流（イベント支援）	2.94	タイプⅢ	-	-	-
6		福島蚕糸跡地、IC周辺等新しい土地利用の推進	2.70	タイプⅣ	-	-	-
7	都市緑地と景観	日常的な買い物や飲食の便利さ	2.30	タイプⅣ	6.日常的な買い物の利便性	2.93	▲ 0.63
8		自然の豊かさと空気のきれいさ	4.12	タイプⅡ	15.自然環境の豊かさ	3.89	0.23
9		公園・広場の数	3.09	タイプⅢ	12.公園や緑地・広場の整備状況	2.93	0.16
10	歴史まちづくり	歴史・文化財の保存と活用	3.44	タイプⅠ	17.郷土の歴史・文化財にふれる環境の整備状況※	3.37	0.07
11		歴史や文化を学ぶ機会（講演会等）	3.24	タイプⅠ	17.郷土の歴史・文化財にふれる環境の整備状況※	3.37	▲ 0.14
12		移住・定住	2.89	タイプⅣ	-	-	-
13	結婚・出産・育児・子育て	若者の住まい探し、住宅取得支援等	2.41	タイプⅣ	-	-	-
14		空家・空き地の有効活用	2.71	タイプⅢ	-	-	-
15		出会いの場づくり（結婚支援）	2.71	タイプⅢ	-	-	-
16		子どもを産み育てる環境の充実（保育所・幼稚園、経済的支援）	3.41	タイプⅡ	8.子育て環境の充実度（乳幼児保育の充実、経済的支援等）	3.02	0.39
17	健康・医療・地域福祉	みんなが活躍できる社会の実現（男女共同参画）	2.96	タイプⅢ	20.男女共同参画社会の実現状況（男女平等意識の醸成等）	3.06	▲ 0.10
18		健康づくり事業の充実（疾病予防・食育）	3.31	タイプⅡ	-	-	-
19		医療施設の充実（病院・医院等）	2.72	タイプⅣ	7.医療・福祉の充実度※	3.00	▲ 0.28
20		高齢者・障がい者福祉の充実	3.16	タイプⅡ	7.医療・福祉の充実度※	3.00	0.16
21	防災・生活安全	地域の人の温かさ	3.69	タイプⅡ	19.地域や人の温かさ（優しさ、思いやり、親切心等）	3.49	0.20
22		消防・防災対策への備え	3.53	タイプⅡ	13.治安・災害対策（防犯活動や防災訓練等）の充実度※	3.27	0.26
23	道路・交通	防犯・交通安全対策への備え	3.42	タイプⅡ	13.治安・災害対策（防犯活動や防災訓練等）の充実度※	3.27	0.15
24		電車・バスの利用のしやすさ（公共交通機関の利便性）	2.73	タイプⅣ	5.交通の利便性	3.02	▲ 0.29
25	環境衛生・居住環境・住宅	車での移動の便利さ（道路交通網の整備）	3.57	タイプⅡ	11.道路の整備状況	3.05	0.52
26		生活環境の清潔さ（上下水道、ごみ収集）	3.83	タイプⅡ	16.清潔に暮らす環境（ごみ処理、生活排水等）	3.62	0.21
27		再生可能エネルギーへの取組み	3.07	タイプⅢ	-	-	-
28	教育・生涯学習・スポーツ	住まいの快適さ（周辺環境の良さ）	3.34	タイプⅡ	1.住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）	3.76	▲ 0.42
29		教育内容や環境の充実（小中学校）	3.50	タイプⅡ	9.小中学校の教育内容や教育環境の充実度	3.19	0.30
30		国際交流・平和学習事業の機会	3.25	タイプⅠ	-	-	-
31		町民の学習機会やスポーツ活動の活発さ	3.31	タイプⅠ	10.スポーツ・文化活動を行う環境（体育施設の整備状況等）※	3.23	0.07
32		町の施設の便利さ（イコーゼ！・よも～よ等）	3.41	タイプⅠ	10.スポーツ・文化活動を行う環境（体育施設の整備状況等）※	3.23	0.18
33	住民自治・行政機能・財政運営など	町内会・住民自治協議会等の地域活動	3.29	タイプⅠ	-	-	-
34		お祭りなど地域に根付いた行事	3.42	タイプⅠ	-	-	-
35		行財政改革への取組み（職員研修、仕事の効率化等）	2.95	タイプⅢ	18.役場の対応	3.12	▲ 0.17
36		町の施設の整備や適正な管理（統廃合・老朽化対策等）	3.00	タイプⅢ	-	-	-
37		近隣市町村との協力体制（広域連携）	3.03	タイプⅢ	-	-	-
		広報誌・ホームページによる情報発信	3.49	タイプⅠ	-	-	-
		平均	3.15				

(2) 10年後の理想的な町の在り方

問3-2 問3-1では、現在の町の施策に対する満足度と重要度をお伺いしましたが、10年後の桑折町が、どんなまちになってほしいと思いますか？ 次の中からあなたが重要だと思う順に3つまで選び、下記の回答欄に番号を記入してください。



10年後の理想的な町の在り方の1番目については、「活力のあるまち(商工業の発展)」が18.1%と最も多く、以下、「子どもを産み育てやすいまち」(14.6%)、「みんなが健康で元気に暮らせるまち」(9.3%)、「自然豊かで魅力あるまち」(8.6%)となっています。

年代別にみると、『20代』『30代』では「子どもを産み育てやすいまち」が2割以上、『50代』では「活力のあるまち(商工業の発展)」が25.7%と他の年代と比べ多くなっています。

男女別にみると、『男性』では「活力のあるまち(商工業の発展)」が20.4%、『女性』では「子どもを産み育てやすいまち」が17.6%と最も多くなっています。

居住地別にみると、いずれの地区も「活力のあるまち(商工業の発展)」が最も多くなっています。次いで『桑折地区』『伊達崎地区』『半田地区』では「子どもを産み育てやすいまち」、『睦合地区』では「コンパクトなまち」が続いています。

【10年後の理想的な町の在り方の1番目／年代別・男女別・居住地別】

上段：件数、下段：%

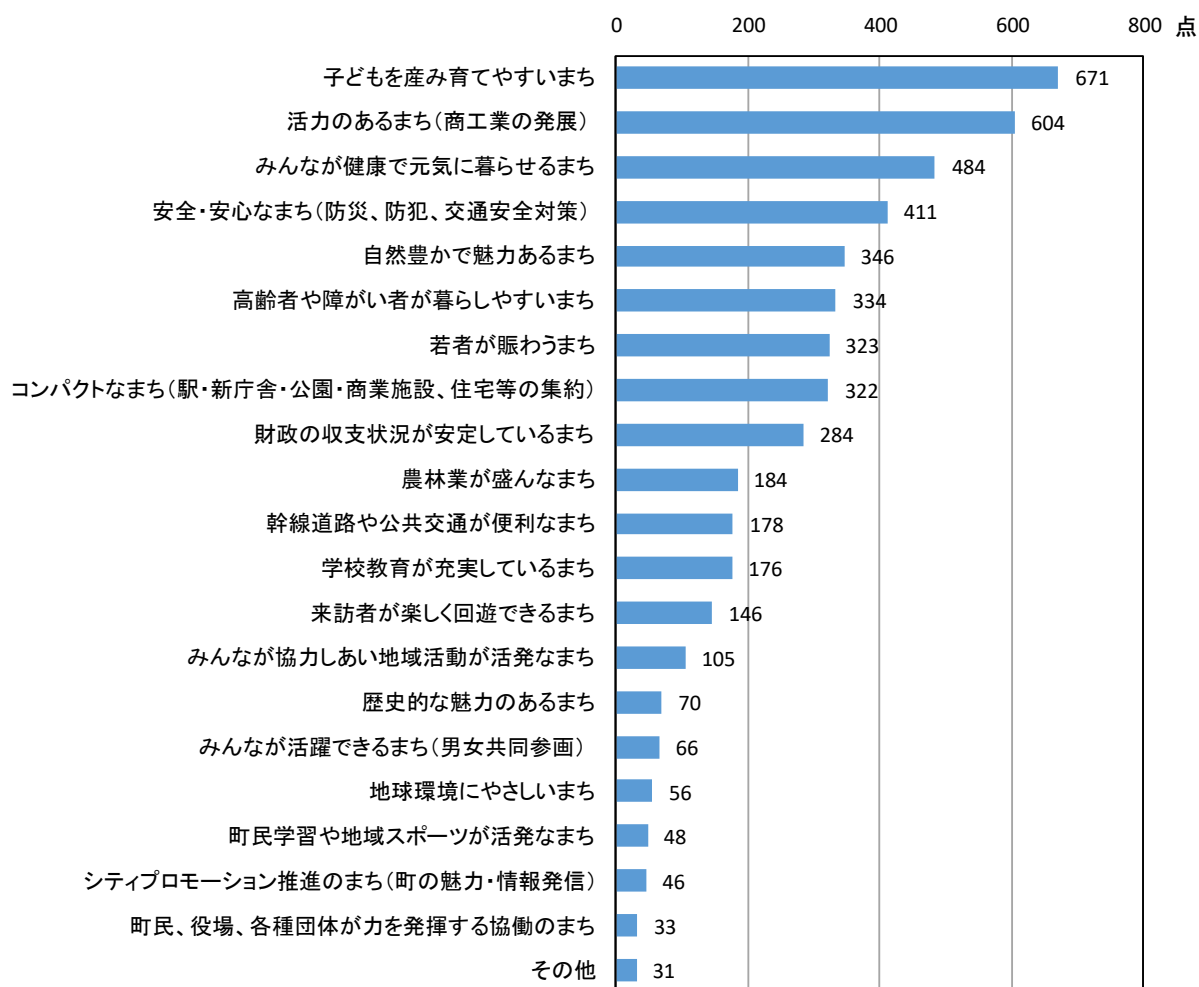
		調査数	農林業が盛んなまち	活のあるまち（商工業の発展）	来訪者が楽しく回遊できるまち	進のまち（町の魅力・情報発信）	シティプロモーション推進のまち（住宅・商業・施設・公園・駅・まちの集約）	自然豊かで魅力あるまち	歴史的な魅力のあるまち	若者が賑わうまち	子どもを産み育てやすいまち	みんなが活躍できるまち（男女共同参画）	みんなが健康で元気に暮らせるまち
全 体		836 100.0	50 6.0	151 18.1	28 3.3	7 0.8	66 7.9	72 8.6	9 1.1	40 4.8	122 14.6	9 1.1	78 9.3
年代別	20歳未満	47 100.0	0 0.0	8 17.0	3 6.4	0 0.0	6 12.8	2 4.3	0 0.0	5 10.6	4 8.5	1 2.1	4 8.5
	20代	106 100.0	4 3.8	15 14.2	9 8.5	1 0.9	6 5.7	10 9.4	1 0.9	7 6.6	26 24.5	1 0.9	6 5.7
	30代	141 100.0	8 5.7	28 19.9	2 1.4	1 0.7	11 7.8	12 8.5	1 0.7	9 6.4	40 28.4	1 0.7	6 4.3
	40代	159 100.0	6 3.8	23 14.5	8 5.0	1 0.6	8 5.0	15 9.4	1 0.6	6 3.8	25 15.7	1 0.6	13 8.2
	50代	109 100.0	5 4.6	28 25.7	0 0.0	0 0.0	11 10.1	12 11.0	5 4.6	4 3.7	10 9.2	2 1.8	13 11.9
	60代	140 100.0	12 8.6	22 15.7	3 2.1	3 2.1	14 10.0	5 3.6	1 0.7	1 0.7	13 9.3	3 2.1	19 13.6
	70歳以上	133 100.0	15 11.3	27 20.3	3 2.3	1 0.8	10 7.5	16 12.0	0 0.0	8 6.0	4 3.0	0 0.0	17 12.8
男女別	男性	422 100.0	34 8.1	86 20.4	16 3.8	1 0.2	32 7.6	30 7.1	7 1.7	22 5.2	49 11.6	4 0.9	37 8.8
	女性	410 100.0	16 3.9	64 15.6	12 2.9	6 1.5	33 8.0	42 10.2	2 0.5	18 4.4	72 17.6	5 1.2	41 10.0
居住地別	桑折地区	365 100.0	16 4.4	66 18.1	9 2.5	2 0.5	31 8.5	30 8.2	1 0.3	15 4.1	57 15.6	1 0.3	38 10.4
	睦合地区	137 100.0	12 8.8	19 13.9	8 5.8	1 0.7	16 11.7	11 8.0	4 2.9	5 3.6	11 8.0	2 1.5	7 5.1
	伊達崎地区	126 100.0	10 7.9	23 18.3	1 0.8	1 0.8	7 5.6	15 11.9	2 1.6	5 4.0	22 17.5	4 3.2	12 9.5
	半田地区	206 100.0	12 5.8	43 20.9	10 4.9	3 1.5	12 5.8	16 7.8	2 1.0	15 7.3	32 15.5	2 1.0	20 9.7

【10年後の理想的な町の在り方の1番目／年代別・男女別・居住地別】つづき

上段：件数、下段：%

		調 査 数	高 齢 者 や 障 が い 者 が 暮 ら し や す い ま ち	活 動 が 活 発 な ま ち	安 全 ・ 防 犯 ・ 交 通 安 全 （ 防 策 ）	利 便 な ま ち （ 幹 線 道 路 や 公 共 交 通 が 便 利 ）	地 球 環 境 に や さ し い ま ち	ま ち 学 校 教 育 が 充 実 し て い る	町 民 学 習 や 地 域 ス ポ ー ツ が 活 発 な ま ち	町 民 、 役 場 、 各 種 団 体 が 力 を 発 揮 す る 協 働 の ま ち	財 政 の 収 支 状 況 が 安 定 し て い る ま ち	そ の 他	無 回 答
全 体		836 100.0	37 4.4	6 0.7	46 5.5	26 3.1	1 0.1	19 2.3	3 0.4	5 0.6	41 4.9	6 0.7	14 1.7
年代別	2 0歳未満	47 100.0	1 2.1	1 2.1	3 6.4	2 4.3	0 0.0	3 6.4	0 0.0	0 0.0	3 6.4	0 0.0	1 2.1
	2 0代	106 100.0	3 2.8	0 0.0	4 3.8	1 0.9	0 0.0	2 1.9	2 1.9	0 0.0	3 2.8	3 2.8	2 1.9
	3 0代	141 100.0	2 1.4	0 0.0	7 5.0	2 1.4	0 0.0	5 3.5	0 0.0	1 0.7	2 1.4	1 0.7	2 1.4
	4 0代	159 100.0	10 6.3	3 1.9	13 8.2	12 7.5	0 0.0	2 1.3	1 0.6	2 1.3	7 4.4	0 0.0	2 1.3
	5 0代	109 100.0	1 0.9	1 0.9	6 5.5	7 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 2.8	1 0.9	0 0.0
	6 0代	140 100.0	13 9.3	1 0.7	4 2.9	2 1.4	1 0.7	5 3.6	0 0.0	1 0.7	11 7.9	1 0.7	5 3.6
	7 0歳以上	133 100.0	7 5.3	0 0.0	8 6.0	0 0.0	0 0.0	2 1.5	0 0.0	1 0.8	12 9.0	0 0.0	2 1.5
	男女別	422 100.0	19 4.5	2 0.5	24 5.7	12 2.8	0 0.0	11 2.6	1 0.2	3 0.7	21 5.0	4 0.9	7 1.7
女性	410 100.0	18 4.4	4 1.0	21 5.1	14 3.4	1 0.2	8 2.0	2 0.5	2 0.5	20 4.9	2 0.5	7 1.7	
居住地別	桑折地区	365 100.0	21 5.8	2 0.5	27 7.4	12 3.3	1 0.3	9 2.5	3 0.8	3 0.8	13 3.6	2 0.5	6 1.6
	睦合地区	137 100.0	4 2.9	1 0.7	8 5.8	7 5.1	0 0.0	6 4.4	0 0.0	2 1.5	10 7.3	1 0.7	2 1.5
	伊達崎地区	126 100.0	4 3.2	0 0.0	2 1.6	3 2.4	0 0.0	2 1.6	0 0.0	0 0.0	8 6.3	2 1.6	3 2.4
	半田地区	206 100.0	8 3.9	3 1.5	8 3.9	4 1.9	0 0.0	2 1.0	0 0.0	0 0.0	10 4.9	1 0.5	3 1.5

■10年後の理想的な町の在り方について、1番目から3番目までを合算して集計（合計点）



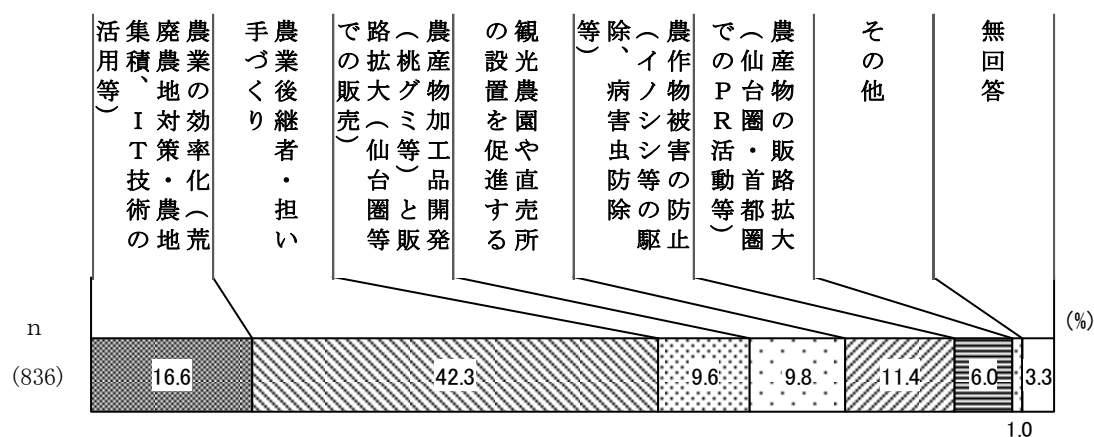
1番目に選んだ項目に3点、2番目に2点、3番目に1点を付与し合計すると、「子どもを産み育てやすいまち」が671点と最も多く、以下、「活力のあるまち（商工業の発展）」（604点）、「みんなが健康で元気に暮らせるまち」（484点）、「安全・安心なまち（防災、防犯、交通安全対策）」（411点）、「自然豊かで魅力あるまち」（346点）となっています。

4. 新しいまちづくりに向けて重要と思う取組みについて

(1) 農業の振興

問4-1 農業の振興について重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



農業の振興について重要と思うことについては、「農業後継者・担い手づくり」が42.3%と最も多く、以下、「農業の効率化（荒廃農地対策・農地集積、IT技術の活用等）」(16.6%)、「農作物被害の防止（イノシシ等の駆除、病虫害防除等）」(11.4%)、「観光農園や直売所の設置を促進する」(9.8%)となっています。

年代別にみると、『20代』『30代』では「農産物加工品開発（桃グミ等）と販路拡大（仙台圏等での販売）」が2割程度、『40代』では「農業後継者・担い手づくり」が52.2%、『60代』では「農業の効率化（荒廃農地対策・農地集積、IT技術の活用等）」が22.1%、『70歳以上』では「農作物被害の防止（イノシシ等の駆除、病虫害防除等）」が23.3%と他の年代に比べて多くなっています。

【農業の振興について重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	農業の効率化（荒廃農地対策・農地集積、IT技術の活用等）	農業後継者・担い手づくり	農産物加工品開発（桃グミ等）と販路拡大（仙台圏等での販売）	観光農園や直売所の設置を促進する	農作物被害の防止（イノシシ等の駆除、病虫害防除等）	活動圏・首都圏での販路拡大（仙台圏等）	その他	無回答
全 体		836	139	354	80	82	95	50	8	28
		100.0	16.6	42.3	9.6	9.8	11.4	6.0	1.0	3.3
年代別	20歳未満	47	8	20	5	7	3	3	0	1
		100.0	17.0	42.6	10.6	14.9	6.4	6.4	0.0	2.1
	20代	106	15	41	21	11	9	7	0	2
		100.0	14.2	38.7	19.8	10.4	8.5	6.6	0.0	1.9
	30代	141	22	56	21	15	13	10	3	1
		100.0	15.6	39.7	14.9	10.6	9.2	7.1	2.1	0.7
	40代	159	25	83	12	16	12	6	2	3
		100.0	15.7	52.2	7.5	10.1	7.5	3.8	1.3	1.9
	50代	109	18	50	9	14	8	10	0	0
		100.0	16.5	45.9	8.3	12.8	7.3	9.2	0.0	0.0
	60代	140	31	58	7	9	19	7	2	7
		100.0	22.1	41.4	5.0	6.4	13.6	5.0	1.4	5.0
	70歳以上	133	19	46	5	10	31	7	1	14
		100.0	14.3	34.6	3.8	7.5	23.3	5.3	0.8	10.5

男女別にみると、男女ともに「農業後継者・担い手づくり」が4割以上と最も多くなっています。

居住地別にみると、『睦合地区』『半田地区』では「農作物被害の防止（イノシシ等の駆除、病害虫防除等）」が2割程度と他の居住地に比べて多くなっています。

【農業の振興について重要と思うこと／男女別・居住地別】

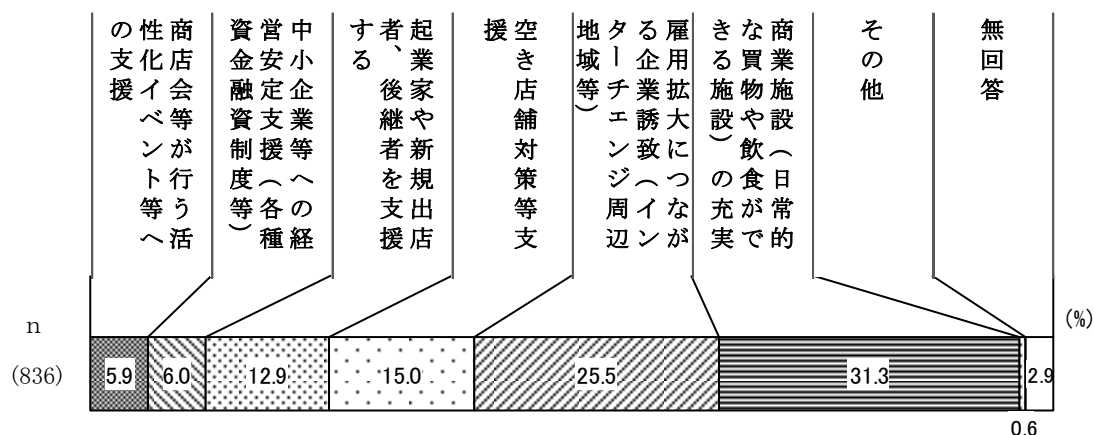
上段：件数、下段：%

		調査数	土地農業の効率化（農地の活用等）	農業後継者・担い手づくり	（仙ミ台等）と販売大（桃）	農産物加工品の開発（桃）	観光農園や直売所の設置を促進する	虫防除等（イノシシ等の駆除、病害虫防除等）	農作物被害の防止（イノシシ等の駆除、病害虫防除等）	活動等（首都圏の大P（R））	その他	無回答
全 体		836 100.0	139 16.6	354 42.3	80 9.6	82 9.8	95 11.4	50 6.0	8 1.0	28 3.3		
男女別	男性	422 100.0	76 18.0	178 42.2	37 8.8	32 7.6	49 11.6	35 8.3	4 0.9	11 2.6		
	女性	410 100.0	61 14.9	176 42.9	43 10.5	50 12.2	44 10.7	15 3.7	4 1.0	17 4.1		
居住地別	桑折地区	365 100.0	53 14.5	165 45.2	44 12.1	45 12.3	17 4.7	24 6.6	1 0.3	16 4.4		
	睦合地区	137 100.0	25 18.2	48 35.0	13 9.5	15 10.9	27 19.7	7 5.1	0 0.0	2 1.5		
	伊達崎地区	126 100.0	24 19.0	55 43.7	9 7.1	11 8.7	13 10.3	6 4.8	5 4.0	3 2.4		
	半田地区	206 100.0	36 17.5	86 41.7	14 6.8	11 5.3	38 18.4	13 6.3	2 1.0	6 2.9		

(2) 商工業の振興

問4-2 商工業の振興について重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



商工業の振興について重要と思うことについては、「商業施設（日常的な買物や飲食ができる施設）の充実」が31.3%と最も多く、以下、「雇用拡大につながる企業誘致（インターチェンジ周辺地域等）」(25.5%)、「空き店舗対策等支援」(15.0%)、「起業家や新規出店者、後継者を支援する」(12.9%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「起業家や新規出店者、後継者を支援する」が19.1%、『20代』では「商店会等が行う活性化イベント等への支援」が13.2%、『40代』『50代』では「商業施設（日常的な買物や飲食ができる施設）の充実」が4割程度、『60代』『70歳以上』では「雇用拡大につながる企業誘致（インターチェンジ周辺地域等）」が3割以上と他の年代に比べて多くなっています。

【商工業の振興について重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	イ 商店 会等 が行 う活 性化 支援	中 小企 業等 への 経営 資金 支援 （各 種融 資制 度等）	起 業家 や新 規出 店者 、 後継 者を 支援 する	空 き店 舗対 策等 支援	業 用 誘 致 （イ ンタ ーチ ェン ジ周 辺地 域等）	設 物 商 業施 設（ 日常 的な 買 物や 飲食 がで きる 施設） の充 実	そ の 他	無 回 答
全 体		836	49	50	108	125	213	262	5	24
		100.0	5.9	6.0	12.9	15.0	25.5	31.3	0.6	2.9
年代別	20歳未満	47	4	4	9	9	6	14	0	1
		100.0	8.5	8.5	19.1	19.1	12.8	29.8	0.0	2.1
	20代	106	14	9	18	15	15	34	0	1
		100.0	13.2	8.5	17.0	14.2	14.2	32.1	0.0	0.9
	30代	141	14	7	13	23	34	47	1	2
		100.0	9.9	5.0	9.2	16.3	24.1	33.3	0.7	1.4
	40代	159	5	8	28	18	39	58	1	2
		100.0	3.1	5.0	17.6	11.3	24.5	36.5	0.6	1.3
	50代	109	5	4	12	17	27	44	0	0
		100.0	4.6	3.7	11.0	15.6	24.8	40.4	0.0	0.0
	60代	140	2	8	15	22	51	31	3	8
		100.0	1.4	5.7	10.7	15.7	36.4	22.1	2.1	5.7
	70歳以上	133	5	9	13	21	41	34	0	10
		100.0	3.8	6.8	9.8	15.8	30.8	25.6	0.0	7.5

男女別にみると、『男性』では「雇用拡大につながる企業誘致（インターチェンジ周辺地域等）」が 30.8%、『女性』では「商業施設（日常的な買物や飲食ができる施設）の充実」が 37.1%と最も多くなっています。

居住地別にみると、『伊達崎地区』では「雇用拡大につながる企業誘致（インターチェンジ周辺地域等）」が 33.3%と他の居住地に比べ多くなっています。

【商工業の振興について重要と思うこと／男女別・居住地別】

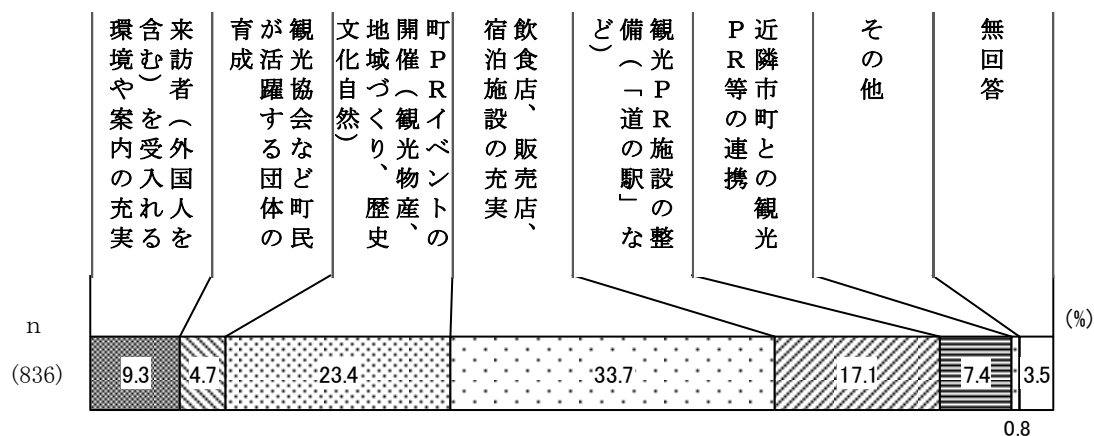
上段：件数、下段：%

		調査数	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化
			イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化	イ商店等が 行っている 活性化
全 体		836	49	50	108	125	213	262	5	24
		100.0	5.9	6.0	12.9	15.0	25.5	31.3	0.6	2.9
男女別	男性	422	30	25	61	53	130	109	3	11
		100.0	7.1	5.9	14.5	12.6	30.8	25.8	0.7	2.6
	女性	410	19	23	46	72	83	152	2	13
		100.0	4.6	5.6	11.2	17.6	20.2	37.1	0.5	3.2
居住地別	桑折地区	365	24	24	39	58	78	128	2	12
		100.0	6.6	6.6	10.7	15.9	21.4	35.1	0.5	3.3
	睦合地区	137	5	4	23	15	40	48	0	2
		100.0	3.6	2.9	16.8	10.9	29.2	35.0	0.0	1.5
	伊達崎地区	126	4	9	20	24	42	22	2	3
		100.0	3.2	7.1	15.9	19.0	33.3	17.5	1.6	2.4
	半田地区	206	16	12	26	28	53	64	1	6
		100.0	7.8	5.8	12.6	13.6	25.7	31.1	0.5	2.9

(3) 観光振興

問4-3 観光振興について重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



観光振興について重要と思うことについては、「飲食店、販売店、宿泊施設の充実」が33.7%と最も多く、以下、「町PRイベントの開催（観光物産、地域づくり、歴史文化自然）」(23.4%)、「観光PR施設の整備（「道の駅」など）」(17.1%)、「来訪者（外国人を含む）を受け入れる環境や案内の充実」(9.3%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』から『40代』では「飲食店、販売店、宿泊施設の充実」が4割と多くなっています。また、『20歳未満』では「町PRイベントの開催（観光物産、地域づくり、歴史文化自然）」が29.8%、『40代』では「来訪者（外国人を含む）を受け入れる環境や案内の充実」が15.1%と他の年代に比べて多くなっています。

【観光振興について重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	案内の充実	来訪者（外国人を含む）を受け入れる環境や	観光協会など町民が活躍する団体の育成	町PRイベントの開催（観光物産、地域づくり、歴史文化自然）	飲食店、販売店、宿泊施設の充実	観光PR施設の整備（「道の駅」など）	近隣市町との観光PR等の連携	その他	無回答
全 体		836 100.0	78 9.3	39 4.7	196 23.4	282 33.7	143 17.1	62 7.4	7 0.8	29 3.5	
年代別	20歳未満	47 100.0	3 6.4	3 6.4	14 29.8	19 40.4	7 14.9	1 2.1	0 0.0	0 0.0	
	20代	106 100.0	9 8.5	7 6.6	21 19.8	44 41.5	16 15.1	7 6.6	1 0.9	1 0.9	
	30代	141 100.0	10 7.1	6 4.3	27 19.1	61 43.3	27 19.1	7 5.0	2 1.4	1 0.7	
	40代	159 100.0	24 15.1	9 5.7	34 21.4	62 39.0	16 10.1	10 6.3	1 0.6	3 1.9	
	50代	109 100.0	9 8.3	3 2.8	28 25.7	40 36.7	23 21.1	5 4.6	1 0.9	0 0.0	
	60代	140 100.0	10 7.1	8 5.7	36 25.7	28 20.0	30 21.4	17 12.1	1 0.7	10 7.1	
	70歳以上	133 100.0	13 9.8	3 2.3	36 27.1	27 20.3	24 18.0	15 11.3	1 0.8	14 10.5	

男女別にみると、男女ともに「飲食店、販売店、宿泊施設の充実」が3割以上と最も多くなっています。

【観光振興について重要と思うこと／男女別】

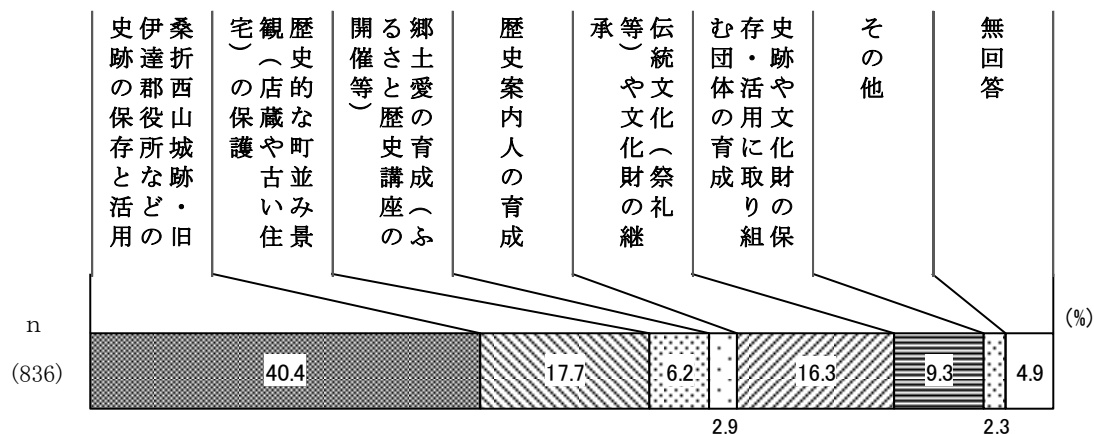
上段：件数、下段：%

		調査数	来訪者（外国人を含む） 案内の充実	観光協会などの育成	町PRイベントの開催 （観光物産、地域づくり、歴史文化自然）	飲食店、販売店、宿泊施設の充実	観光PR施設の整備 （「道の駅」など）	近隣市町との観光PR 等の連携	その他	無回答
全 体		836 100.0	78 9.3	39 4.7	196 23.4	282 33.7	143 17.1	62 7.4	7 0.8	29 3.5
男女別	男性	422 100.0	44 10.4	17 4.0	97 23.0	138 32.7	73 17.3	33 7.8	5 1.2	15 3.6
	女性	410 100.0	32 7.8	22 5.4	99 24.1	142 34.6	70 17.1	29 7.1	2 0.5	14 3.4

(4) 歴史を活かしたまちづくり

問4-4 歴史を活かしたまちづくりについて重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



歴史を活かしたまちづくりについて重要と思うことについては、「桑折西山城跡・旧伊達郡役所などの史跡の保存と活用」が40.4%と最も多く、以下、「歴史的な町並み景観 (店蔵や古い住宅) の保護」(17.7%)、「伝統文化 (祭礼等) や文化財の継承」(16.3%)、「史跡や文化財の保存・活用に取り組む団体の育成」(9.3%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「歴史的な町並み景観 (店蔵や古い住宅) の保護」「伝統文化 (祭礼等) や文化財の継承」、『20代』では「歴史的な町並み景観 (店蔵や古い住宅) の保護」、『30代』では「伝統文化 (祭礼等) や文化財の継承」、『50代』では「歴史的な町並み景観 (店蔵や古い住宅) の保護」がそれぞれ2割以上と他の年代に比べて多くなっています。

【歴史を活かしたまちづくりについて重要と思うこと／年代別】 上段：件数、下段：%

		調査数	存と活用	桑折西山城跡・旧伊達保	歴史的な町並み景観（店蔵や古い住宅）の保護	郷土愛の育成（ふるさと歴史講座の開催等）	歴史案内人の育成	伝統文化（祭礼等）や文化財の継承	育成	活用に取り組む団体の・	史跡や文化財の保存の・	その他	無回答
全 体		836 100.0	338 40.4	148 17.7	52 6.2	24 2.9	136 16.3	78 9.3	19 2.3	41 4.9			
年代別	2 0歳未満	47 100.0	19 40.4	11 23.4	1 2.1	1 2.1	13 27.7	2 4.3	0 0.0	0 0.0			
	2 0代	106 100.0	38 35.8	25 23.6	5 4.7	5 4.7	15 14.2	14 13.2	2 1.9	2 1.9			
	3 0代	141 100.0	60 42.6	23 16.3	7 5.0	3 2.1	34 24.1	7 5.0	4 2.8	3 2.1			
	4 0代	159 100.0	72 45.3	27 17.0	7 4.4	2 1.3	24 15.1	19 11.9	5 3.1	3 1.9			
	5 0代	109 100.0	49 45.0	24 22.0	7 6.4	2 1.8	15 13.8	6 5.5	3 2.8	3 2.8			
	6 0代	140 100.0	57 40.7	19 13.6	13 9.3	7 5.0	14 10.0	17 12.1	3 2.1	10 7.1			
	7 0歳以上	133 100.0	43 32.3	18 13.5	12 9.0	4 3.0	21 15.8	13 9.8	2 1.5	20 15.0			

男女別にみると、男女ともに「桑折西山城跡・旧伊達郡役所などの史跡の保存と活用」が4割と最も多くなっています。

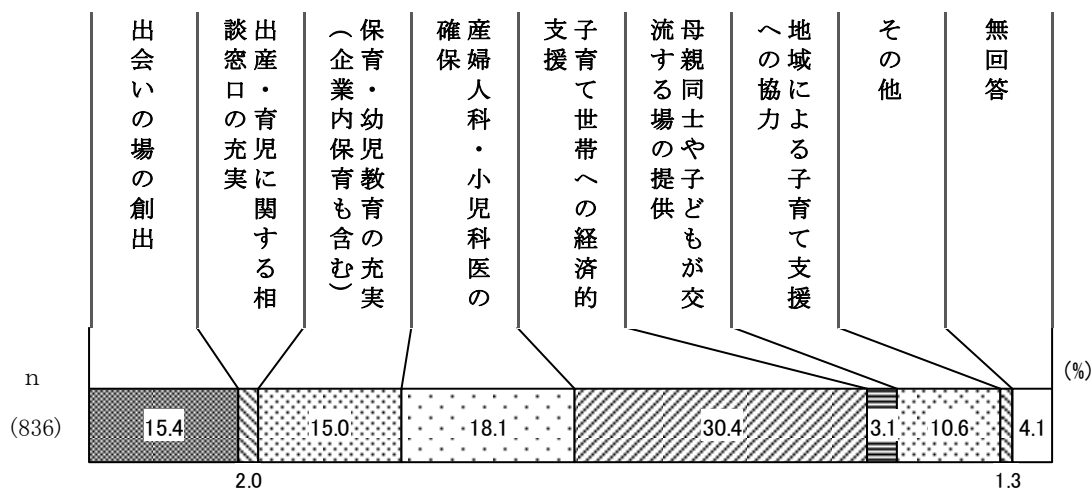
居住地別にみると、『睦合地区』では「桑折西山城跡・旧伊達郡役所などの史跡の保存と活用」が46.7%と他の居住地に比べて多くなっています。

【歴史を活かしたまちづくりについて重要と思うこと／男女別・居住地別】上段：件数、下段：%

		調 査 数	存と活用 郡役所など 桑折西山城跡・旧伊達	保護 (店蔵や古い住宅)の	歴史 史的な町並み景観の	郷土愛の育成(ふるさと歴史講座の開催等)	歴史案内人の育成	文化財の継承(祭礼等)や伝統文化(文化財の継承)	育成 活用に取り組む団体・	史跡や文化財の保存の	その他	無回答
全 体		836 100.0	338 40.4	148 17.7	52 6.2	24 2.9	136 16.3	78 9.3	19 2.3	41 4.9		
男女別	男性	422 100.0	170 40.3	71 16.8	26 6.2	14 3.3	67 15.9	45 10.7	9 2.1	20 4.7		
	女性	410 100.0	166 40.5	76 18.5	26 6.3	10 2.4	69 16.8	32 7.8	10 2.4	21 5.1		
居住地別	桑折地区	365 100.0	141 38.6	69 18.9	24 6.6	6 1.6	76 20.8	26 7.1	10 2.7	13 3.6		
	睦合地区	137 100.0	64 46.7	24 17.5	5 3.6	4 2.9	16 11.7	19 13.9	2 1.5	3 2.2		
	伊達崎地区	126 100.0	51 40.5	16 12.7	12 9.5	6 4.8	13 10.3	14 11.1	5 4.0	9 7.1		
	半田地区	206 100.0	82 39.8	38 18.4	11 5.3	8 3.9	31 15.0	19 9.2	2 1.0	15 7.3		

(5) 結婚・出産・育児・子育て支援の充実

問4-5 結婚・出産・育児・子育て支援の充実について重要だと思う事項は、次のうちどれですか？
(1つ選んで○を付けてください。)



結婚・出産・育児・子育て支援の充実について重要と思うことについては、「子育て世帯への経済的支援」が30.4%と最も多く、以下、「産婦人科・小児科医の確保」(18.1%)、「出会いの場の創出」(15.4%)、「保育・幼児教育の充実（企業内保育も含む）」(15.0%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』から『30代』では「子育て世帯への経済的支援」が3～5割、『40代』では「産婦人科・小児科医の確保」が26.4%、『50代』では「保育・幼児教育の充実（企業内保育も含む）」が21.1%、『60代』『70歳以上』では「出会いの場の創出」が2割、また、『60代』では「地域による子育て支援への協力」も17.9%と他の年代に比べて多くなっています。

【結婚・出産・育児・子育て支援の充実について重要と思うこと／年代別】 上段：件数、下段：%

		調査数	出会いの場の創出	相談・出産・育児に関する充実	保育・幼児教育の充実（企業内保育も含む）	産婦人科・小児科医の確保	子育て世帯への経済的支援	母親同士や子どもが交流する場の提供	地域による子育て支援への協力	その他	無回答
全 体		836	129	17	125	151	254	26	89	11	34
		100.0	15.4	2.0	15.0	18.1	30.4	3.1	10.6	1.3	4.1
年代別	20歳未満	47	3	1	3	9	26	1	4	0	0
		100.0	6.4	2.1	6.4	19.1	55.3	2.1	8.5	0.0	0.0
	20代	106	18	3	19	15	38	3	9	0	1
		100.0	17.0	2.8	17.9	14.2	35.8	2.8	8.5	0.0	0.9
	30代	141	16	2	17	23	68	6	5	2	2
		100.0	11.3	1.4	12.1	16.3	48.2	4.3	3.5	1.4	1.4
	40代	159	13	2	30	42	47	2	17	2	4
		100.0	8.2	1.3	18.9	26.4	29.6	1.3	10.7	1.3	2.5
	50代	109	15	4	23	21	23	6	12	3	2
		100.0	13.8	3.7	21.1	19.3	21.1	5.5	11.0	2.8	1.8
	60代	140	31	4	15	21	27	5	25	3	9
		100.0	22.1	2.9	10.7	15.0	19.3	3.6	17.9	2.1	6.4
	70歳以上	133	33	1	18	20	24	3	17	1	16
		100.0	24.8	0.8	13.5	15.0	18.0	2.3	12.8	0.8	12.0

男女別にみると、「子育て世帯への経済的支援」が『男性』では32.2%、『女性』では28.3%とともに最も多くなっています。

居住地別にみると、『伊達崎地区』『半田地区』では「出会いの場の創出」が2割以上と他の居住地に比べて多くなっています。

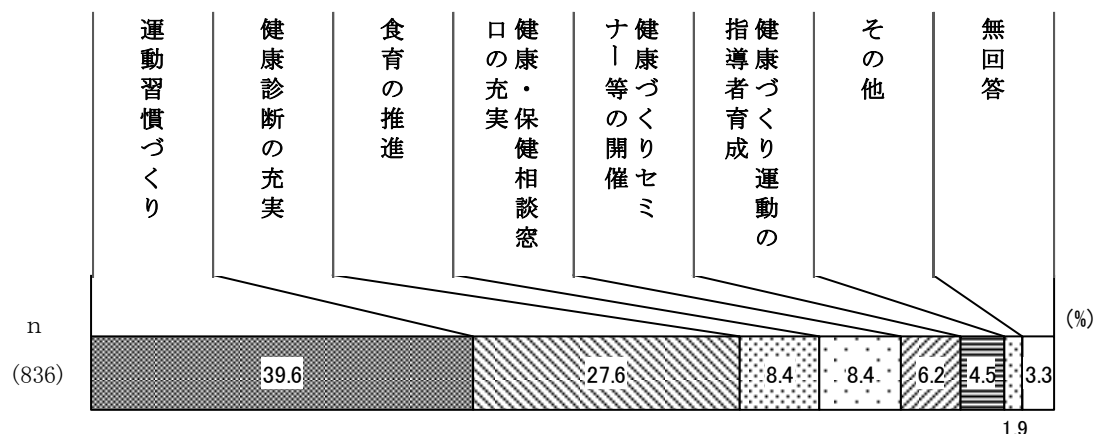
【結婚・出産・育児・子育て支援の充実について重要と思うこと／男女別・居住地別】 上段：件数、下段：%

		調査数	出会いの場の創出	相談窓口の充実	出産・育児に関する	実保（企業内保育も含む）	産婦人科・小児科医の確保	子育て世帯への経済的支援	母親同士や子どもが交流する場の提供	地域による子育て支援への協力	その他	無回答
全 体		836 100.0	129 15.4	17 2.0	125 15.0	151 18.1	254 30.4	26 3.1	89 10.6	11 1.3	34 4.1	
男女別	男性	422 100.0	81 19.2	9 2.1	57 13.5	59 14.0	136 32.2	10 2.4	50 11.8	5 1.2	15 3.6	
	女性	410 100.0	47 11.5	8 2.0	68 16.6	91 22.2	116 28.3	16 3.9	39 9.5	6 1.5	19 4.6	
居住地別	桑折地区	365 100.0	35 9.6	16 4.4	53 14.5	67 18.4	125 34.2	17 4.7	29 7.9	6 1.6	17 4.7	
	睦合地区	137 100.0	18 13.1	1 0.7	18 13.1	29 21.2	46 33.6	1 0.7	21 15.3	0 0.0	3 2.2	
	伊達崎地区	126 100.0	32 25.4	0 0.0	18 14.3	17 13.5	29 23.0	4 3.2	19 15.1	2 1.6	5 4.0	
	半田地区	206 100.0	44 21.4	0 0.0	36 17.5	38 18.4	53 25.7	4 1.9	20 9.7	3 1.5	8 3.9	

(6) 健康づくりの推進

問4-6 健康づくりを推進するために重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



健康づくりの推進について重要と思うことについては、「運動習慣づくり」が39.6%と最も多く、以下、「健康診断の充実」(27.6%)、「食育の推進」「健康・保健相談窓口の充実」(ともに8.4%)、「健康づくりセミナー等の開催」(6.2%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『20代』『40代』では「運動習慣づくり」が4割半ばと他の年代に比べて多くなっています。また、『20歳未満』では「健康診断の充実(34.0%)」「健康・保健相談窓口の充実(14.9%)」、『30代』では「健康診断の充実」が40.4%、『50代』では健康・保健相談窓口の充実が13.8%、『70歳以上』では「食育の推進」が15.0%と他の年代に比べて多くなっています。

【健康づくりの推進について重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	運動習慣づくり	健康診断の充実	食育の推進	健康・保健相談窓口の充実	ナー等健康づくりの開催	健康づくり運動の指導者育成	その他	無回答
全 体		836	331	231	70	70	52	38	16	28
		100.0	39.6	27.6	8.4	8.4	6.2	4.5	1.9	3.3
年代別	20歳未満	47	21	16	1	7	1	1	0	0
		100.0	44.7	34.0	2.1	14.9	2.1	2.1	0.0	0.0
	20代	106	49	27	7	8	6	4	4	1
		100.0	46.2	25.5	6.6	7.5	5.7	3.8	3.8	0.9
	30代	141	51	57	9	8	6	6	3	1
		100.0	36.2	40.4	6.4	5.7	4.3	4.3	2.1	0.7
	40代	159	73	47	9	11	8	4	4	3
		100.0	45.9	29.6	5.7	6.9	5.0	2.5	2.5	1.9
	50代	109	40	30	7	15	7	7	3	0
		100.0	36.7	27.5	6.4	13.8	6.4	6.4	2.8	0.0
	60代	140	51	27	17	10	14	11	1	9
		100.0	36.4	19.3	12.1	7.1	10.0	7.9	0.7	6.4
	70歳以上	133	46	27	20	10	10	5	1	14
		100.0	34.6	20.3	15.0	7.5	7.5	3.8	0.8	10.5

男女別にみると、男女ともに「運動習慣づくり」が4割と最も多くなっています。

【健康づくりの推進について重要と思うこと／男女別】

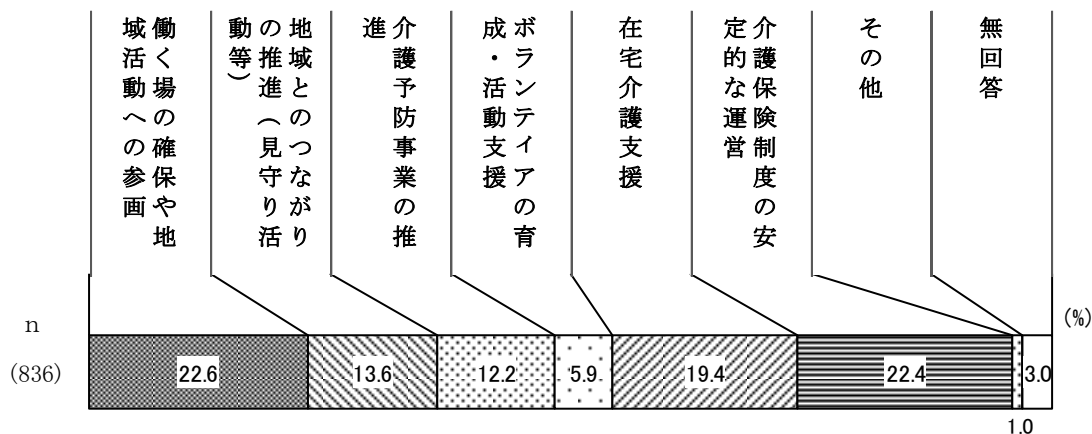
上段：件数、下段：%

		調査数	運動習慣づくり	健康診断の充実	食育の推進	の健康・保健相談窓口	等健康づくりセミナー	導健康づくり運動の指	その他	無回答
全 体		836 100.0	331 39.6	231 27.6	70 8.4	70 8.4	52 6.2	38 4.5	16 1.9	28 3.3
男女別	男性	422 100.0	170 40.3	106 25.1	41 9.7	40 9.5	23 5.5	23 5.5	9 2.1	10 2.4
	女性	410 100.0	161 39.3	124 30.2	28 6.8	28 6.8	29 7.1	15 3.7	7 1.7	18 4.4

(7) 高齢者福祉の充実

問4-7 高齢者福祉の充実について重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



高齢者福祉の充実について重要と思うことについては、「働く場の確保や地域活動への参画」が 22.6%と最も多く、以下、「介護保険制度の安定的な運営」(22.4%)、「在宅介護支援」(19.4%)、「地域とのつながりの推進（見守り活動等）」(13.6%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『20代』では「地域とのつながりの推進（見守り活動等）」が2割、『40代』『50代』では「働く場の確保や地域活動への参画」が3割、『70歳以上』では「介護予防事業の推進」が17.3%と他の年代に比べて多くなっています。また、『20歳未満』では「ボランティアの育成・活動支援」が12.8%と他の年代に比べて多くなっています。

【高齢者福祉について重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	働く場の確保や地域活動への参画	地域とのつながりの推進（見守り活動等）	介護予防事業の推進	ボランティアの育成・活動支援	在宅介護支援	介護保険制度の安定的な運営	その他	無回答
全 体		836	189	114	102	49	162	187	8	25
		100.0	22.6	13.6	12.2	5.9	19.4	22.4	1.0	3.0
年代別	20歳未満	47	10	10	4	6	7	10	0	0
		100.0	21.3	21.3	8.5	12.8	14.9	21.3	0.0	0.0
	20代	106	25	22	10	10	13	23	2	1
		100.0	23.6	20.8	9.4	9.4	12.3	21.7	1.9	0.9
	30代	141	28	22	16	11	31	30	2	1
		100.0	19.9	15.6	11.3	7.8	22.0	21.3	1.4	0.7
	40代	159	45	17	14	6	32	40	1	4
		100.0	28.3	10.7	8.8	3.8	20.1	25.2	0.6	2.5
	50代	109	33	9	15	4	24	23	1	0
		100.0	30.3	8.3	13.8	3.7	22.0	21.1	0.9	0.0
	60代	140	28	19	20	6	29	27	2	9
		100.0	20.0	13.6	14.3	4.3	20.7	19.3	1.4	6.4
	70歳以上	133	20	15	23	6	26	33	0	10
		100.0	15.0	11.3	17.3	4.5	19.5	24.8	0.0	7.5

男女別にみると、『男性』では「働く場の確保や地域活動への参画」が28.0%、『女性』では「介護保険制度の安定的な運営」が25.1%と最も多くなっています。

【高齢者福祉について重要と思うこと／男女別】

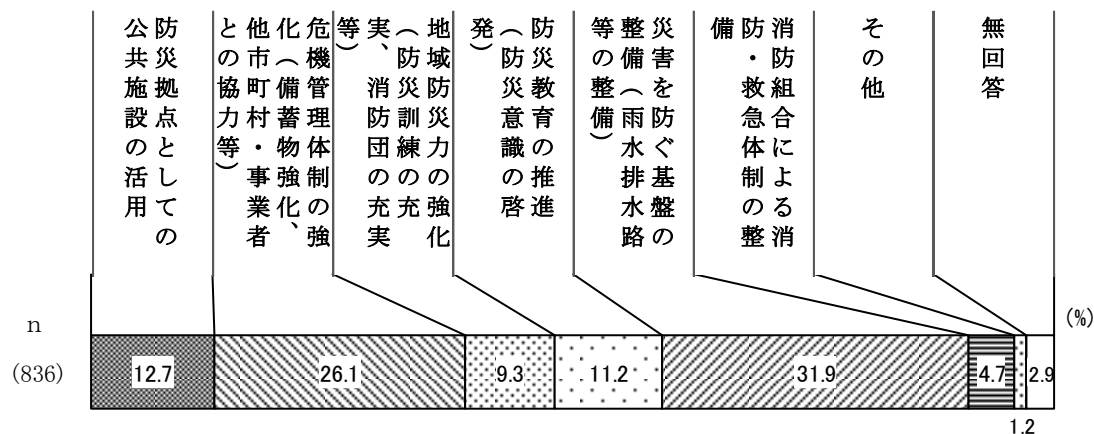
上段：件数、下段：%

		調査数	働く場の確保や地域活動への参画	地域とのつながり活動の推進（見守り活動）	介護予防事業の推進	ボランティア活動支援の育成	在宅介護支援	介護保険制度の安定的な運営	その他	無回答
全 体		836 100.0	189 22.6	114 13.6	102 12.2	49 5.9	162 19.4	187 22.4	8 1.0	25 3.0
男女別	男性	422 100.0	118 28.0	46 10.9	56 13.3	20 4.7	84 19.9	83 19.7	5 1.2	10 2.4
	女性	410 100.0	71 17.3	68 16.6	46 11.2	27 6.6	77 18.8	103 25.1	3 0.7	15 3.7

(8) 災害に強いまちづくり

問4-8 災害に強いまちづくりについて重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



災害に強いまちづくりについて重要と思うことについては、「災害を防ぐ基盤の整備（雨水排水路等の整備）」が 31.9%と最も多く、以下、「危機管理体制の強化（備蓄物強化、他市町村・事業者との協力等）」（26.1%）、「防災拠点としての公共施設の活用」（12.7%）、「防災教育の推進（防災意識の啓発）」（11.2%）となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「防災拠点としての公共施設の活用（25.5%）」「防災教育の推進（防災意識の啓発）（19.1%）」「消防組合による消防・救急体制の整備（10.6%）」、『20代』では「地域防災力の強化（防災訓練の充実、消防団の充実等）（15.1%）」「消防組合による消防・救急体制の整備（9.4%）」、『50代』では「災害を防ぐ基盤の整備（雨水排水路等の整備）」が 37.6%と他の年代に比べて多くなっています。

【災害に強いまちづくりについて重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	防災拠点としての活用	他市町村・事業者との協力等	危機管理体制の強化	地域防災力の強化、 消防団の充実等	防災意識の啓発 （防災教育の推進）	整備 （雨水排水路等の整備）	災害を防ぐ基盤の整備	消防・救急体制による整備	その他	無回答
全 体		836 100.0	106 12.7	218 26.1	78 9.3	94 11.2	267 31.9	39 4.7	10 1.2	24 2.9		
年代別	20歳未満	47 100.0	12 25.5	5 10.6	4 8.5	9 19.1	11 23.4	5 10.6	0 0.0	1 2.1		
	20代	106 100.0	16 15.1	24 22.6	16 15.1	11 10.4	27 25.5	10 9.4	1 0.9	1 0.9		
	30代	141 100.0	21 14.9	43 30.5	10 7.1	13 9.2	47 33.3	6 4.3	0 0.0	1 0.7		
	40代	159 100.0	14 8.8	49 30.8	12 7.5	19 11.9	56 35.2	6 3.8	2 1.3	1 0.6		
	50代	109 100.0	14 12.8	25 22.9	10 9.2	11 10.1	41 37.6	5 4.6	2 1.8	1 0.9		
	60代	140 100.0	12 8.6	42 30.0	17 12.1	17 12.1	41 29.3	3 2.1	2 1.4	6 4.3		
	70歳以上	133 100.0	17 12.8	30 22.6	9 6.8	14 10.5	43 32.3	4 3.0	3 2.3	13 9.8		

男女別にみると、男女ともに「災害を防ぐ基盤の整備（雨水排水路等の整備）」が3割以上と最も多くなっています。

【災害に強いまちづくりについて重要と思うこと／男女別】

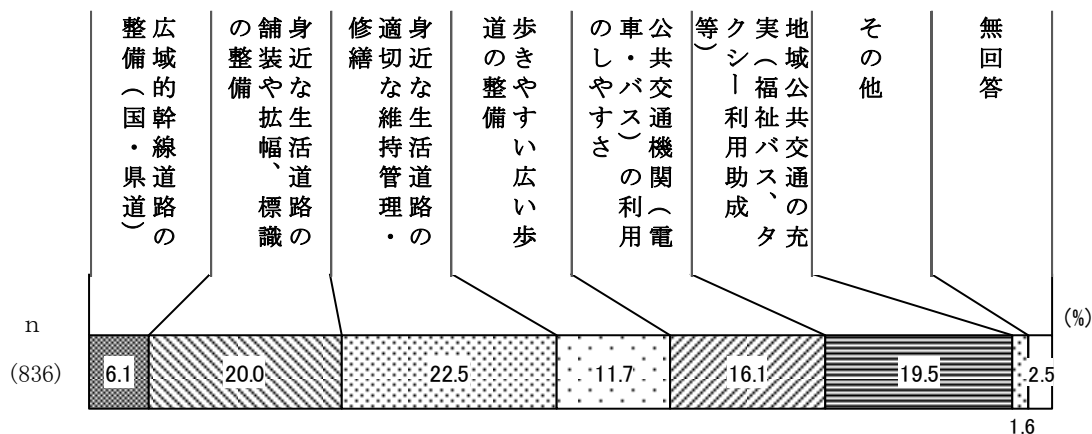
上段：件数、下段：%

		調査数	防災拠点としての 公共施設の活用	町（村・事業者との協 力等）	危機管理体制の強化 （備蓄物強化、他市 等）	地域防災力の強化 （防災訓練の充実、 消防団の充実等）	防災教育の推進（防 災意識の啓発）	整備（災害を防ぐ基盤の整 備）（雨水排水路等の整 備）	消防組合による消 防・救急体制の整備	その他	無回答
全 体		836 100.0	106 12.7	218 26.1	78 9.3	94 11.2	267 31.9	39 4.7	10 1.2	24 2.9	
男女別	男性	422 100.0	59 14.0	113 26.8	35 8.3	44 10.4	137 32.5	18 4.3	5 1.2	11 2.6	
	女性	410 100.0	47 11.5	104 25.4	43 10.5	49 12.0	128 31.2	21 5.1	5 1.2	13 3.2	

(9) 道路・交通環境の充実

問4-9 道路・交通環境の充実について重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



道路・交通環境の充実について重要と思うことについては、「身近な生活道路の適切な維持管理・修繕」が22.5%と最も多く、以下、「身近な生活道路の舗装や拡幅、標識の整備」(20.0%)、「地域公共交通の充実(福祉バス、タクシー利用助成等)」(19.5%)、「公共交通機関(電車・バス)の利用のしやすさ」(16.1%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「公共交通機関(電車・バス)の利用のしやすさ(34.0%)」「歩きやすい広い歩道の整備(17.0%)」「広域的幹線道路の整備(国・県道)(12.8%)」、『20代』では「公共交通機関(電車・バス)の利用のしやすさ(24.5%)」「歩きやすい広い歩道の整備(16.0%)」、『30代』では「身近な生活道路の舗装や拡幅、標識の整備(29.1%)」「歩きやすい広い歩道の整備(17.0%)」が、『60代』以降では「地域公共交通の充実(福祉バス、タクシー利用助成等)」が3割と他の年代に比べて多くなっています。

【道路・交通環境の充実について重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	広域的幹線道路の整備（国・県道）	身近な生活道路の舗装や拡幅、標識の整備	身近な生活道路の修繕の維持管理	歩きやすい広い歩道の整備	公共交通機関（電車・バス）の利用のしやすさ	地域公共交通の充実（福祉バス、タクシー利用等）	その他	無回答
全 体		836 100.0	51 6.1	167 20.0	188 22.5	98 11.7	135 16.1	163 19.5	13 1.6	21 2.5
年代別	20歳未満	47 100.0	6 12.8	4 8.5	9 19.1	8 17.0	16 34.0	2 4.3	1 2.1	1 2.1
	20代	106 100.0	7 6.6	20 18.9	22 20.8	17 16.0	26 24.5	11 10.4	2 1.9	1 0.9
	30代	141 100.0	13 9.2	41 29.1	32 22.7	24 17.0	16 11.3	11 7.8	3 2.1	1 0.7
	40代	159 100.0	12 7.5	30 18.9	34 21.4	17 10.7	29 18.2	33 20.8	3 1.9	1 0.6
	50代	109 100.0	8 7.3	19 17.4	21 19.3	11 10.1	23 21.1	24 22.0	3 2.8	0 0.0
	60代	140 100.0	3 2.1	30 21.4	35 25.0	10 7.1	14 10.0	39 27.9	1 0.7	8 5.7
	70歳以上	133 100.0	2 1.5	23 17.3	35 26.3	11 8.3	10 7.5	43 32.3	0 0.0	9 6.8

男女別にみると、『男性』では「身近な生活環境の舗装や拡幅、標識の整備」が23.5%、『女性』では「地域公共交通の充実（福祉バス、タクシー利用助成等）」が24.4%と男女の差が大きくなっています。

居住地別にみると、『睦合地区』では「地域公共交通の充実（福祉バス、タクシー利用助成等）」が24.8%、『伊達崎地区』で「身近な生活道路の舗装や拡幅、標識の整備」「地域公共交通の充実（福祉バス、タクシー利用助成等）」がともに25.4%と他の居住地に比べて多くなっています。

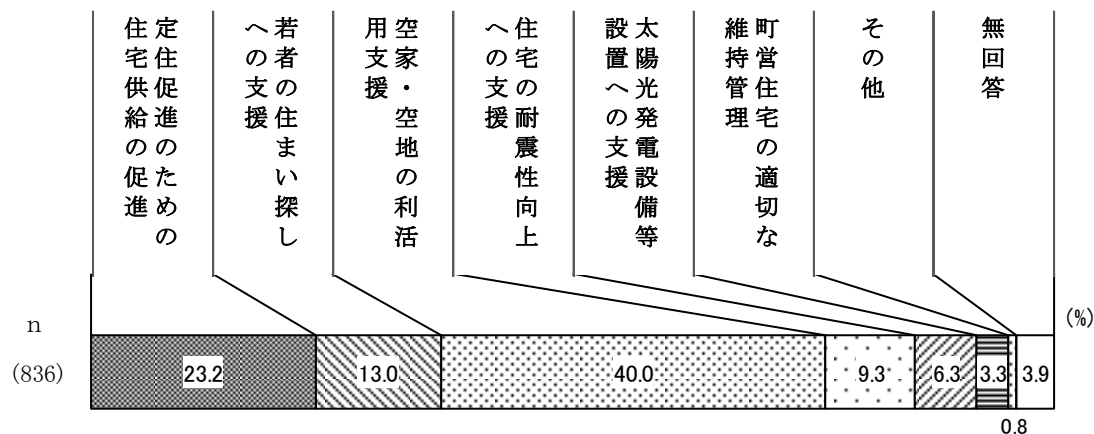
【道路・交通環境の充実について重要と思うこと／男女別・居住地別】上段：件数、下段：%

		調査数	備広域 (国的・幹線道路の整備)	備装や近 幅な生活道路の整備	切身近 な維持生活道路の修繕	の歩き やすい 広い歩道	し車公 や・共 すバス さ交通 機関 の利 用電 の	シ(福 ー祉公 利社共 用バス 助成、 等タク シの充 実)	その他	無回答
全 体		836 100.0	51 6.1	167 20.0	188 22.5	98 11.7	135 16.1	163 19.5	13 1.6	21 2.5
男女別	男性	422 100.0	28 6.6	99 23.5	107 25.4	48 11.4	58 13.7	63 14.9	8 1.9	11 2.6
	女性	410 100.0	22 5.4	67 16.3	80 19.5	50 12.2	76 18.5	100 24.4	5 1.2	10 2.4
居住地別	桑折地区	365 100.0	26 7.1	60 16.4	95 26.0	51 14.0	56 15.3	60 16.4	7 1.9	10 2.7
	睦合地区	137 100.0	8 5.8	33 24.1	21 15.3	10 7.3	24 17.5	34 24.8	4 2.9	3 2.2
	伊達崎地区	126 100.0	5 4.0	32 25.4	24 19.0	11 8.7	19 15.1	32 25.4	0 0.0	3 2.4
	半田地区	206 100.0	12 5.8	42 20.4	48 23.3	26 12.6	35 17.0	37 18.0	2 1.0	4 1.9

(10) 住宅政策

問4-10 住宅政策について重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



住宅政策について重要と思うことについては、「空家・空地の利活用支援」が40.0%と最も多く、以下、「定住促進のための住宅供給の促進」(23.2%)、「若者の住まい探しへの支援」(13.0%)、「住宅の耐震性向上への支援」(9.3%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「若者の住まい探しへの支援」(21.3%)「町営住宅の適切な維持管理」(10.6%)、『20代』では「若者の住まい探しへの支援」が26.4%、『50代』『60代』では「空家・空地の利活用支援」が4割半ばと他の年代に比べて多くなっています。

【住宅政策について重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	定住促進のための住宅供給の促進	若者の住まい探しへの支援	空家・空地の利活用支援	住宅の耐震性向上への支援	太陽光発電設備等設置への支援	町営住宅の適切な維持管理	その他	無回答
全 体		836	194	109	334	78	53	28	7	33
		100.0	23.2	13.0	40.0	9.3	6.3	3.3	0.8	3.9
年代別	20歳未満	47	5	10	16	6	4	5	0	1
		100.0	10.6	21.3	34.0	12.8	8.5	10.6	0.0	2.1
	20代	106	23	28	36	10	6	2	0	1
		100.0	21.7	26.4	34.0	9.4	5.7	1.9	0.0	0.9
	30代	141	39	23	51	15	6	3	3	1
		100.0	27.7	16.3	36.2	10.6	4.3	2.1	2.1	0.7
	40代	159	42	16	68	10	14	7	1	1
		100.0	26.4	10.1	42.8	6.3	8.8	4.4	0.6	0.6
	50代	109	24	7	51	11	9	4	2	1
		100.0	22.0	6.4	46.8	10.1	8.3	3.7	1.8	0.9
	60代	140	33	14	64	11	6	2	1	9
		100.0	23.6	10.0	45.7	7.9	4.3	1.4	0.7	6.4
	70歳以上	133	27	11	48	15	8	5	0	19
		100.0	20.3	8.3	36.1	11.3	6.0	3.8	0.0	14.3

男女別にみると、男女ともに「空家・空地の利活用支援」が4割程度と最も多くなっています。

居住地別にみると、『睦合地区』では「太陽光発電設備等設置への支援」が11.7%と他の居住地に比べて多くなっています。

【住宅政策について重要と思うこと／男女別・居住地別】

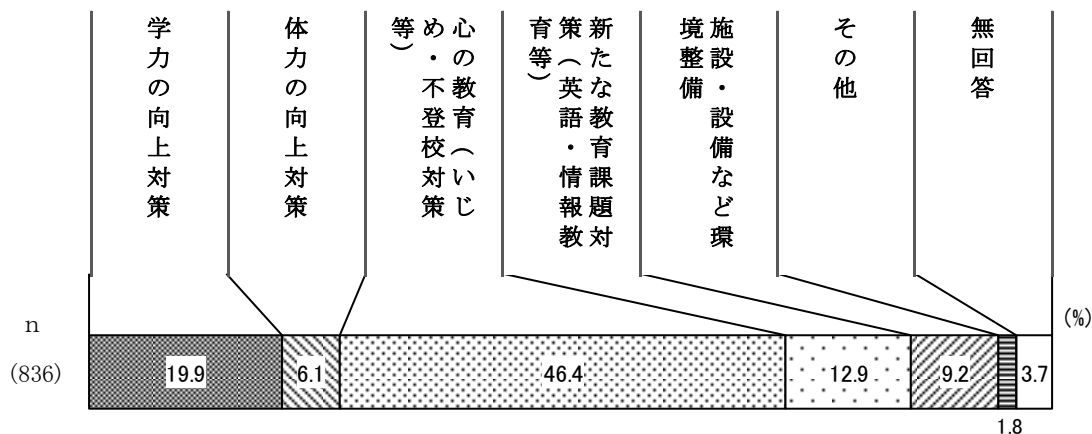
上段：件数、下段：%

		調査 数	住宅 供給 促進 のため の住	若 者の 支援 の住 まい 探し へ	空 家・ 空地 の利 活用	住 宅の 耐震 性向 上へ	太陽 光 発電 設備 等設 置	町 営住 宅の 適切 な維 持	そ の 他	無 回 答
全 体		836 100.0	194 23.2	109 13.0	334 40.0	78 9.3	53 6.3	28 3.3	7 0.8	33 3.9
男女別	男性	422 100.0	111 26.3	57 13.5	163 38.6	29 6.9	29 6.9	16 3.8	4 0.9	13 3.1
	女性	410 100.0	81 19.8	52 12.7	170 41.5	48 11.7	24 5.9	12 2.9	3 0.7	20 4.9
居住地 別	桑折地区	365 100.0	85 23.3	47 12.9	148 40.5	40 11.0	15 4.1	10 2.7	4 1.1	16 4.4
	睦合地区	137 100.0	29 21.2	24 17.5	50 36.5	10 7.3	16 11.7	3 2.2	0 0.0	5 3.6
	伊達崎地区	126 100.0	33 26.2	10 7.9	55 43.7	13 10.3	8 6.3	3 2.4	0 0.0	4 3.2
	半田地区	206 100.0	46 22.3	28 13.6	81 39.3	15 7.3	14 6.8	12 5.8	3 1.5	7 3.4

(11) 小中学校教育の充実

問4-11 小中学校教育の充実について、重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



小中学校教育の充実について重要と思うことについては、「心の教育（いじめ・不登校対策等）」が46.4%と最も多く、以下、「学力の向上対策」（19.9%）、「新たな教育課題対策（英語・情報教育等）」（12.9%）、「施設・設備など環境整備」（9.2%）となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『30代』『60代』では「新たな教育課題対策（英語・情報教育等）」が2割程度、『50代』では「学力の向上対策（25.7%）」「心の教育（いじめ・不登校対策等）（52.3%）」と他の年代に比べて多くなっています。

【小中学校教育の充実について重要と思うこと／年代別】 上段：件数、下段：%

		調査数	学力の向上対策	体力の向上対策	心の教育（いじめ・不登校対策等）	新たな教育課題対策（英語・情報教育等）	施設・設備など環境整備	その他	無回答
全 体		836	166	51	388	108	77	15	31
		100.0	19.9	6.1	46.4	12.9	9.2	1.8	3.7
年代別	20歳未満	47	11	2	19	10	3	1	1
		100.0	23.4	4.3	40.4	21.3	6.4	2.1	2.1
	20代	106	14	7	54	14	14	2	1
		100.0	13.2	6.6	50.9	13.2	13.2	1.9	0.9
	30代	141	27	11	52	27	19	4	1
		100.0	19.1	7.8	36.9	19.1	13.5	2.8	0.7
	40代	159	34	7	77	14	18	6	3
		100.0	21.4	4.4	48.4	8.8	11.3	3.8	1.9
	50代	109	28	4	57	7	12	0	1
		100.0	25.7	3.7	52.3	6.4	11.0	0.0	0.9
	60代	140	29	8	64	25	6	2	6
		100.0	20.7	5.7	45.7	17.9	4.3	1.4	4.3
	70歳以上	133	23	12	65	10	5	0	18
		100.0	17.3	9.0	48.9	7.5	3.8	0.0	13.5

男女別にみると、男女ともに「心の教育（いじめ・不登校対策等）」が4割以上と最も多くなっています。

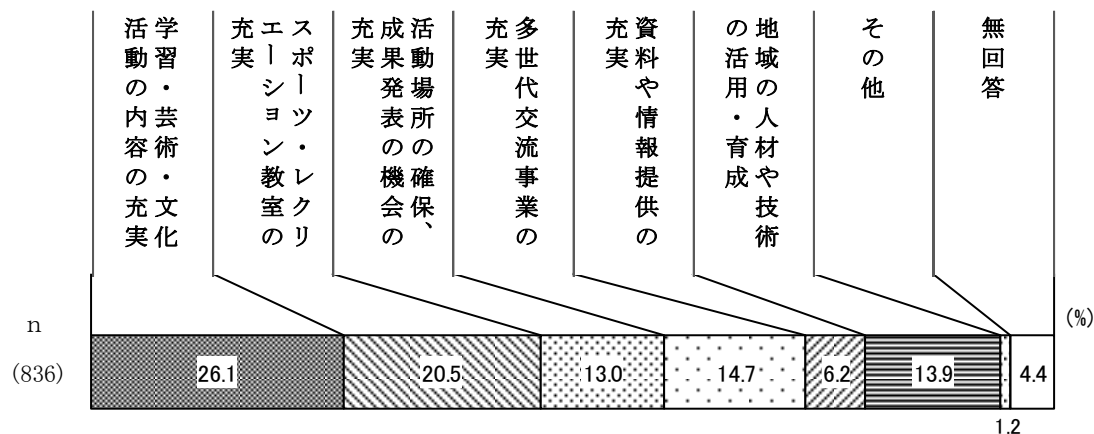
【小中学校教育の充実について重要と思うこと／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	学力の向上対策	体力の向上対策	心の教育（いじめ・不登校対策等）	新たな教育課題対策（英語・情報教育等）	施設・設備など環境整備	その他	無回答
全 体		836 100.0	166 19.9	51 6.1	388 46.4	108 12.9	77 9.2	15 1.8	31 3.7
男女別	男性	422 100.0	89 21.1	24 5.7	199 47.2	57 13.5	33 7.8	7 1.7	13 3.1
	女性	410 100.0	76 18.5	27 6.6	187 45.6	50 12.2	44 10.7	8 2.0	18 4.4

(12) 生涯学習・スポーツの充実

問4-12 生涯学習・スポーツの充実について、重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



生涯学習・スポーツの充実について重要と思うことについては、「学習・芸術・文化活動の内容の充実」が26.1%と最も多く、以下、「スポーツ・レクリエーション教室の充実」(20.5%)、「多世代交流事業の充実」(14.7%)、「地域の人材や技術の活用・育成」(13.9%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『20代』『30代』では「スポーツ・レクリエーション教室の充実」が2割半ば、『50代』では「多世代交流事業の充実」が21.1%と他の年代に比べて多くなっています。また、『20歳未満』では「学習・芸術・文化活動の内容の充実」が34.0%、『20代』では「活動場所の確保、成果発表の機会」が22.6%と他の年代に比べて多くなっています。

【生涯学習・スポーツの充実について重要と思うこと／年代別】 上段：件数、下段：%

		調 査 数	学 習 ・ 芸 術 ・ 文 化 活 動 の 内 容 の 充 実	実 工 ・ ス ポ ー ツ ・ シ ョ ウ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン の 充 実	果 活 動 場 所 の 機 会 の 確 保 、 成 果 表 現 の 機 会 の 充 実	実 多 世 代 交 流 事 業 の 充 実	実 資 料 や 情 報 提 供 の 充 実	活 地 域 の 人 材 や 技 術 の 活 用 ・ 育 成	そ の 他	無 回 答
全 体		836 100.0	218 26.1	171 20.5	109 13.0	123 14.7	52 6.2	116 13.9	10 1.2	37 4.4
年代別	2 0 歳未満	47 100.0	16 34.0	12 25.5	5 10.6	4 8.5	1 2.1	4 8.5	2 4.3	3 6.4
	2 0 代	106 100.0	23 21.7	28 26.4	24 22.6	14 13.2	4 3.8	9 8.5	3 2.8	1 0.9
	3 0 代	141 100.0	43 30.5	37 26.2	16 11.3	18 12.8	5 3.5	21 14.9	0 0.0	1 0.7
	4 0 代	159 100.0	45 28.3	34 21.4	23 14.5	17 10.7	12 7.5	24 15.1	1 0.6	3 1.9
	5 0 代	109 100.0	28 25.7	20 18.3	15 13.8	23 21.1	9 8.3	13 11.9	0 0.0	1 0.9
	6 0 代	140 100.0	36 25.7	22 15.7	12 8.6	25 17.9	10 7.1	24 17.1	2 1.4	9 6.4
	7 0 歳以上	133 100.0	27 20.3	18 13.5	14 10.5	22 16.5	11 8.3	20 15.0	2 1.5	19 14.3

男女別にみると、男女ともに「学習・芸術・文化活動の内容の充実」が2割以上と最も多くなっています。

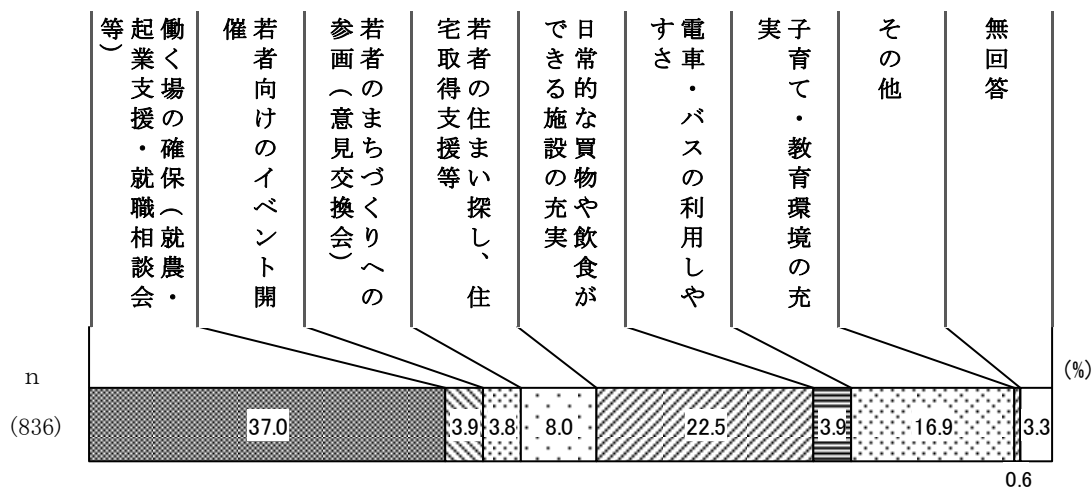
【生涯学習・スポーツの充実について重要と思うこと／男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	学習・芸術・文化活動の内容の充実	スポーツ・レクリエーションの充実	実用・生活・社会の確保・充実	多世代交流事業の充実	資料や情報提供の充実	地域・人材や技術の育成	その他	無回答
全 体		836 100.0	218 26.1	171 20.5	109 13.0	123 14.7	52 6.2	116 13.9	10 1.2	37 4.4
男女別	男性	422 100.0	103 24.4	86 20.4	50 11.8	67 15.9	28 6.6	63 14.9	6 1.4	19 4.5
	女性	410 100.0	115 28.0	84 20.5	58 14.1	56 13.7	23 5.6	52 12.7	4 1.0	18 4.4

(13) 若者が暮らしやすいまちづくり

問4-13 若者が暮らしやすいまちづくりについて重要だと思う事項は、次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



若者が暮らしやすいまちづくりについて重要と思うことについては、「働く場の確保（就農・起業支援・就職相談会等）」が37.0%と最も多く、以下、「日常的な買物や飲食ができる施設の充実」（22.5%）、「子育て・教育環境の充実」（16.9%）、「若者の住まい探し、住宅取得支援等」（8.0%）となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「日常的な買物や飲食ができる施設の充実」が38.3%、『20代』では「若者向けのイベント開催」が11.3%、『30代』では「子育て・教育環境の充実」が25.5%、『50代』以降では「働く場の確保（就農・起業支援・就職相談会等）」が5割程度と他の年代に比べて多くなっています。

【若者が暮らしやすいまちづくりについて重要と思うこと／年代別】

上段：件数、下段：%

	調査数	相農働 談・く 会起場の 等業の確 保（就 職	開 催 若 者 向 け の イ ベ ン ト	会 の 参 画 （ 意 見 交 換 会 ）	若 者 の 住 まい 探 し、 住 宅 取 得 支 援 等	日 常 的 な 買 物 や 飲 食 が で き る 施 設 の 充 実	電 車 ・ バ ス の 利 用 し や い	子 育 て ・ 教 育 環 境 の 充 実	そ の 他	無 回 答
全 体	836	309	33	32	67	188	33	141	5	28
	100.0	37.0	3.9	3.8	8.0	22.5	3.9	16.9	0.6	3.3
年代別	20歳未満	47	13	2	1	6	18	4	2	1
		100.0	27.7	4.3	2.1	12.8	38.3	8.5	4.3	2.1
	20代	106	26	12	3	13	29	3	19	1
		100.0	24.5	11.3	2.8	12.3	27.4	2.8	17.9	0.9
	30代	141	36	9	4	14	36	3	36	2
		100.0	25.5	6.4	2.8	9.9	25.5	2.1	25.5	1.4
	40代	159	50	4	4	16	43	11	28	1
	100.0	31.4	2.5	2.5	10.1	27.0	6.9	17.6	1.3	0.6
年代別	50代	109	49	3	4	4	28	4	15	1
		100.0	45.0	2.8	3.7	3.7	25.7	3.7	13.8	0.9
	60代	140	70	2	8	6	20	3	23	7
	100.0	50.0	1.4	5.7	4.3	14.3	2.1	16.4	0.7	5.0
年代別	70歳以上	133	65	1	8	8	14	5	17	15
		100.0	48.9	0.8	6.0	6.0	10.5	3.8	12.8	11.3

男女別にみると、「働く場の確保（就農・起業支援・就職相談会等）」が『男性』では40.8%、『女性』では33.2%とともに多くなっています。

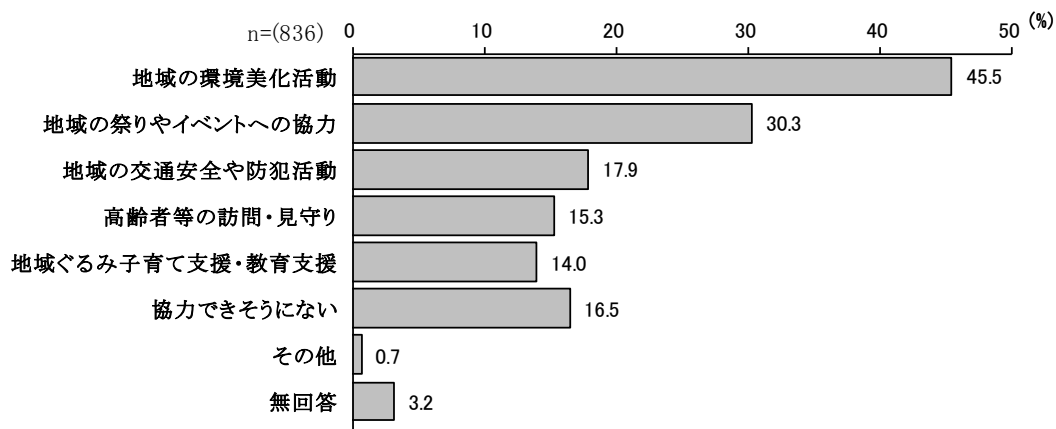
居住地別にみると、『半田地区』では「働く場の確保（就農・起業支援・就職相談会等）」が44.7%と他の居住地に比べて多くなっています。

【若者が暮らしやすいまちづくりについて重要と思うこと／男女別・居住地別】 上段：件数、下段：%

		調査数	相農働 談・く 会起場の 等業の確 保・（就 職	開若 催者 向 け の イ ベ ン ト	会の参 （者の ま ち づ く り へ	住若 宅者の 取 得 支 援 等 探 し、	が日 で常 可 施 設 物 の 充 実 食	や電 す車 さ・ バ ス の 利 用 し	充子 実育 て・ 教 育 環 境 の	そ の 他	無 回 答
全 体		836 100.0	309 37.0	33 3.9	32 3.8	67 8.0	188 22.5	33 3.9	141 16.9	5 0.6	28 3.3
男女別	男性	422 100.0	172 40.8	18 4.3	19 4.5	43 10.2	79 18.7	13 3.1	63 14.9	2 0.5	13 3.1
	女性	410 100.0	136 33.2	15 3.7	13 3.2	24 5.9	108 26.3	20 4.9	76 18.5	3 0.7	15 3.7
居住地別	桑折地区	365 100.0	113 31.0	15 4.1	12 3.3	34 9.3	83 22.7	17 4.7	71 19.5	3 0.8	17 4.7
	睦合地区	137 100.0	57 41.6	3 2.2	5 3.6	9 6.6	34 24.8	5 3.6	22 16.1	1 0.7	1 0.7
	伊達崎地区	126 100.0	47 37.3	6 4.8	5 4.0	10 7.9	32 25.4	6 4.8	15 11.9	1 0.8	4 3.2
	半田地区	206 100.0	92 44.7	9 4.4	10 4.9	14 6.8	39 18.9	5 2.4	32 15.5	0 0.0	5 2.4

(14) 町内会や住民自治協議会での地域活動

問4-14 町内会や住民自治協議会での地域活動について、あなた自身が協力できると思う事項は、次のうちどれですか？（あてはまるものすべてを選んで○を付けてください。）



町内会や住民自治協議会の地域活動で協力できると思うことについては、「地域の環境美化活動」が45.5%と最も多く、以下、「地域の祭りやイベントへの協力」(30.3%)、「地域の交通安全や防犯活動」(17.9%)、「高齢者等の訪問・見守り」(15.3%)となっています。なお、「協力できそうにない」(16.5%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「地域の祭りやイベントへの協力」が40.4%、『30代』では「地域ぐるみ子育て支援・教育支援」が19.9%、『50代』『60代』では「地域の環境美化活動」が5割以上、『60代』『70歳以上』では「高齢者等の訪問・見守り」が2割と他の年代に比べて多くなっています。なお、『20歳未満』『20代』では「協力できそうにない」が2割半ばと他の年代に比べて多くなっています。

【町内会や住民自治協議会の地域活動で協力できると思うこと／年代別】 上段：件数、下段：%

	調査数	地域の環境美化活動	地域の交通安全や防犯活動	地域の祭りやイベントへの協力	地域ぐるみ子育て支援・教育支援	高齢者等の訪問・見守り	協力できそうにない	その他	無回答
全 体	836	380	150	253	117	128	138	6	27
	100.0	45.5	17.9	30.3	14.0	15.3	16.5	0.7	3.2
年代別	20歳未満	47	14	7	19	2	12	0	1
		100.0	29.8	14.9	40.4	4.3	25.5	0.0	2.1
	20代	106	33	18	34	15	26	2	1
		100.0	31.1	17.0	32.1	14.2	24.5	1.9	0.9
	30代	141	58	18	51	17	18	2	2
		100.0	41.1	12.8	36.2	12.1	12.8	1.4	1.4
	40代	159	76	35	53	27	25	2	2
		100.0	47.8	22.0	33.3	17.0	15.7	1.3	1.3
	50代	109	57	21	27	9	18	0	0
		100.0	52.3	19.3	24.8	8.3	16.5	0.0	0.0
	60代	140	79	31	37	21	32	0	8
		100.0	56.4	22.1	26.4	15.0	22.9	0.0	5.7
	70歳以上	133	63	20	32	15	27	0	13
		100.0	47.4	15.0	24.1	11.3	20.3	0.0	9.8

男女別にみると、男女ともに「地域の環境美化活動」が4割以上と最も多くなっています。

居住地別にみると、『伊達崎地区』では「地域の交通安全や防犯活動」が27.8%、「地域ぐるみ子育て支援・教育支援」が19.0%と他の居住地に比べて多くなっています。

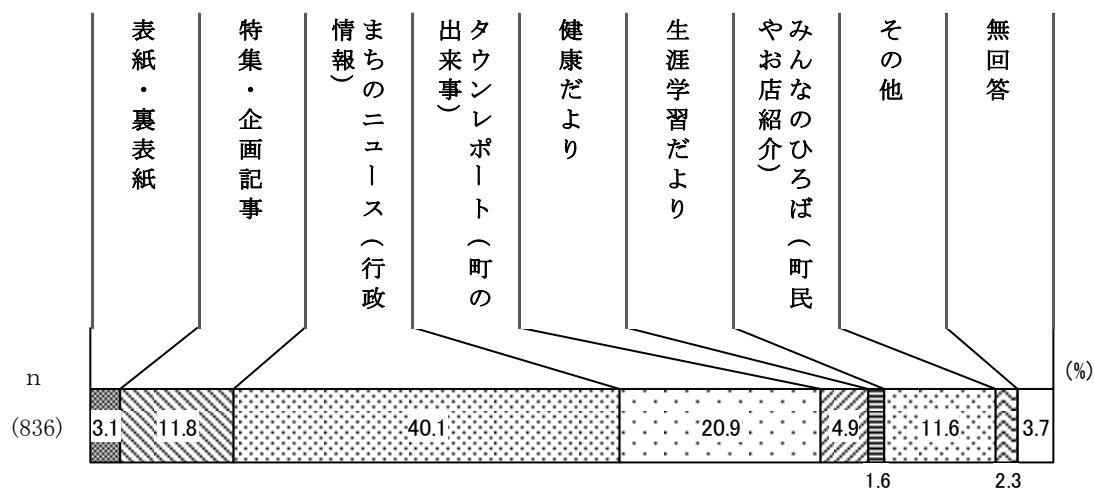
【町内会や住民自治協議会の地域活動で協力できると思うこと／男女別・居住地別】上段：件数、下段：%

		調査数	地域の環境美化活動	犯地域の交通安全や防	ト地域の協祭力りやイベン	援地・域ぐるみ子育て支援	守高齢者等の訪問・見	協力できそうにない	その他	無回答
全 体		836	380	150	253	117	128	138	6	27
		100.0	45.5	17.9	30.3	14.0	15.3	16.5	0.7	3.2
男女別	男性	422	206	88	139	37	64	69	4	13
		100.0	48.8	20.9	32.9	8.8	15.2	16.4	0.9	3.1
	女性	410	172	62	113	80	64	68	2	14
		100.0	42.0	15.1	27.6	19.5	15.6	16.6	0.5	3.4
居住地別	桑折地区	365	152	55	100	53	53	71	3	12
		100.0	41.6	15.1	27.4	14.5	14.5	19.5	0.8	3.3
	睦合地区	137	64	24	42	15	22	22	0	4
		100.0	46.7	17.5	30.7	10.9	16.1	16.1	0.0	2.9
	伊達崎地区	126	61	35	43	24	21	16	1	3
		100.0	48.4	27.8	34.1	19.0	16.7	12.7	0.8	2.4
	半田地区	206	103	36	68	25	32	28	2	7
		100.0	50.0	17.5	33.0	12.1	15.5	13.6	1.0	3.4

(15) 広報こおり

問4-15 広報こおりについて、重要だと思う記事は次のうちどれですか？

(1つ選んで○を付けてください。)



広報こおりについて重要と思う記事については、「まちのニュース（行政情報）」が 40.1%と最も多く、以下、「タウンレポート（町の出来事）」(20.9%)、「特集・企画記事」(11.8%)、「みんなのひろば（町民やお店紹介）」(11.6%) となっています。

年代別にみると、『20 歳未満』では「タウンレポート（町の出来事）」が 31.9%、『30 代』『40 代』では「みんなのひろば（町民やお店紹介）」が2割程度、『50 代』以降では「まちのニュース（行政情報）」が5割と他の年代に比べて多くなっています。

【広報こおりについて重要と思う記事／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	表紙・裏表紙	特集・企画記事	まちのニュース(行政情報)	タウンレポート(町の出来事)	健康だより	生涯学習だより	みんなのひろば(町民やお店紹介)	その他	無回答
全 体		836	26	99	335	175	41	13	97	19	31
		100.0	3.1	11.8	40.1	20.9	4.9	1.6	11.6	2.3	3.7
年代別	20歳未満	47	5	5	14	15	1	0	6	0	1
		100.0	10.6	10.6	29.8	31.9	2.1	0.0	12.8	0.0	2.1
	20代	106	4	17	32	25	6	2	15	2	3
		100.0	3.8	16.0	30.2	23.6	5.7	1.9	14.2	1.9	2.8
	30代	141	7	18	43	34	7	2	25	3	2
		100.0	5.0	12.8	30.5	24.1	5.0	1.4	17.7	2.1	1.4
	40代	159	4	20	57	28	6	6	29	5	4
		100.0	2.5	12.6	35.8	17.6	3.8	3.8	18.2	3.1	2.5
	50代	109	5	15	52	17	3	0	11	4	2
		100.0	4.6	13.8	47.7	15.6	2.8	0.0	10.1	3.7	1.8
	60代	140	1	17	68	30	8	0	7	4	5
		100.0	0.7	12.1	48.6	21.4	5.7	0.0	5.0	2.9	3.6
	70歳以上	133	0	6	69	26	10	3	4	1	14
		100.0	0.0	4.5	51.9	19.5	7.5	2.3	3.0	0.8	10.5

男女別にみると、男女ともに「まちのニュース（行政情報）」が4割と最も多くなっています。

【広報こおりについて重要と思う記事／男女別】

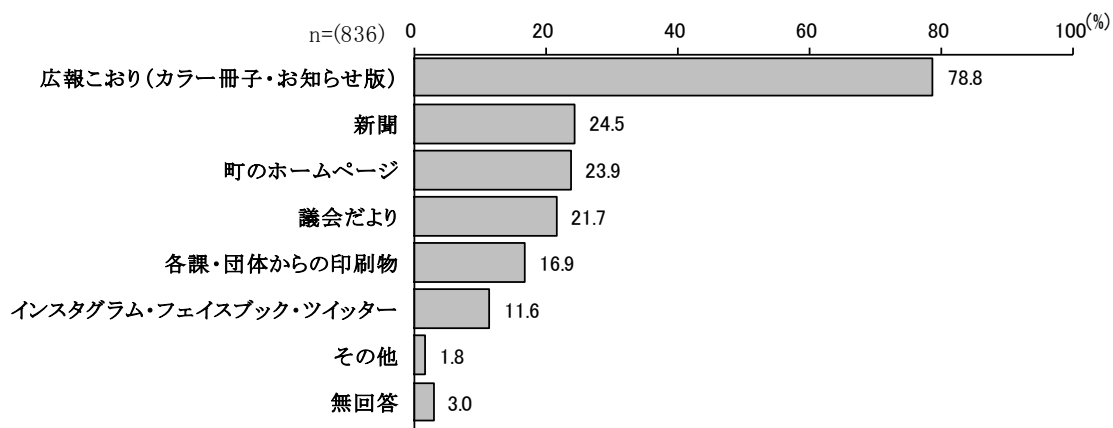
上段：件数、下段：%

		調査数	表紙・裏表紙	特集・企画記事	まちのニュース（行政情報）	タウンレポート（町の出来事）	健康だより	生涯学習だより	みんなのひろば（町民やお店紹介）	その他	無回答
全 体		836 100.0	26 3.1	99 11.8	335 40.1	175 20.9	41 4.9	13 1.6	97 11.6	19 2.3	31 3.7
男女別	男性	422 100.0	12 2.8	61 14.5	172 40.8	87 20.6	18 4.3	8 1.9	41 9.7	9 2.1	14 3.3
	女性	410 100.0	14 3.4	37 9.0	161 39.3	88 21.5	22 5.4	5 1.2	56 13.7	10 2.4	17 4.1

(16) 町に関する情報を収集する際に利用している媒体

問4-16 町に関する情報を収集する際に、次のうちのどの媒体を見ていますか？

(あてはまるものすべてを選んで○を付けてください。)



町に関する情報収集の際に利用している媒体については、「広報こおり（カラー冊子・お知らせ版）」が78.8%と最も多く、以下、「新聞」（24.5%）、「町のホームページ」（23.9%）、「議会だより」（21.7%）となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『20代』では「インスタグラム・フェイスブック・ツイッター」が2割以上、『30代』では「町のホームページ」が32.6%、『60代』以降では「各課・団体からの印刷物」が2割、「議会だより」が3割半ばと他の年代に比べて多くなっています。また、『50代』『70歳以上』では「新聞」が3割半ばとなっています。

【町に関する情報収集の際に利用している媒体／年代別】

上段：件数、下段：%

		調査数	冊子・お知らせ版	各課・団体からの印刷物	町のホームページ	新聞	議会だより	インスタグラム・フェイスブック・ツイッター	その他	無回答
全 体		836	659	141	200	205	181	97	15	25
		100.0	78.8	16.9	23.9	24.5	21.7	11.6	1.8	3.0
年代別	20歳未満	47	34	5	10	8	4	10	0	1
		100.0	72.3	10.6	21.3	17.0	8.5	21.3	0.0	2.1
	20代	106	74	6	30	11	9	30	5	4
		100.0	69.8	5.7	28.3	10.4	8.5	28.3	4.7	3.8
	30代	141	112	19	46	20	15	25	1	2
		100.0	79.4	13.5	32.6	14.2	10.6	17.7	0.7	1.4
	40代	159	129	31	41	38	33	21	1	2
		100.0	81.1	19.5	25.8	23.9	20.8	13.2	0.6	1.3
	50代	109	85	17	25	38	22	7	3	1
		100.0	78.0	15.6	22.9	34.9	20.2	6.4	2.8	0.9
	60代	140	117	33	23	41	50	2	3	6
		100.0	83.6	23.6	16.4	29.3	35.7	1.4	2.1	4.3
	70歳以上	133	108	30	24	49	48	2	2	9
		100.0	81.2	22.6	18.0	36.8	36.1	1.5	1.5	6.8

男女別にみると、男女ともに「広報こおり（カラー冊子・お知らせ版）」が8割程度と最も多くなっています。

居住地別にみると、『伊達崎地区』『半田地区』では「議会だより」が3割程度と他の居住地に比べて多くなっています。

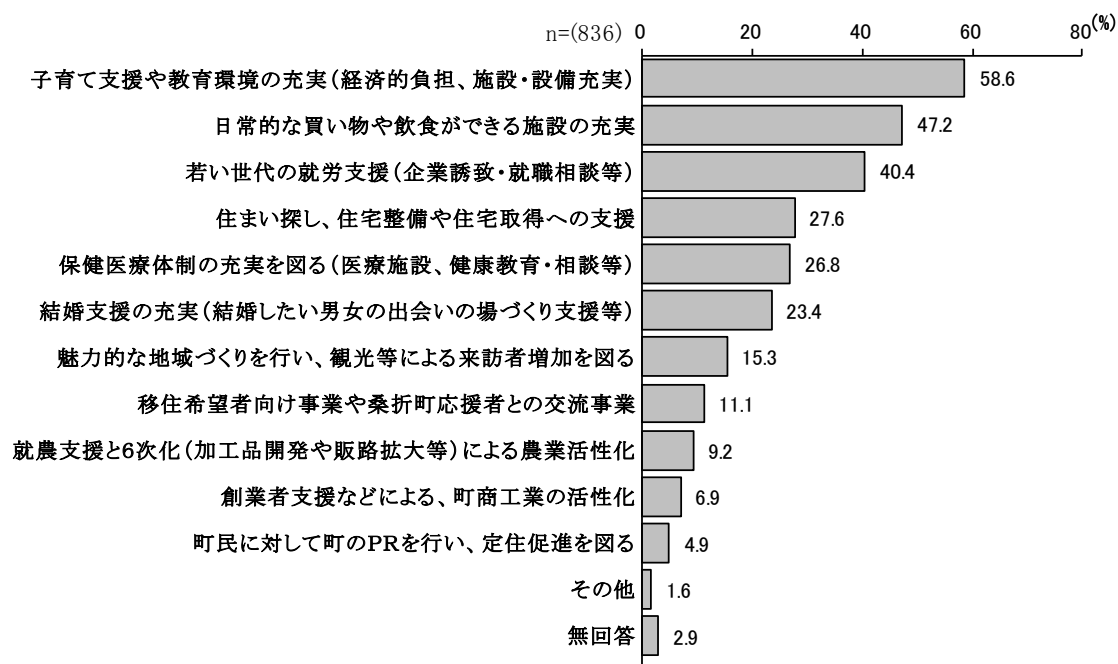
【町に関する情報収集の際に利用している媒体／男女別・居住地別】上段：件数、下段：%

		調査数	冊広子報・こおり（カラー版）	刷各物課・団体からの印	町のホームページ	新聞	議会だより	インターネット・スタグラム・ブック・ツ	その他	無回答
全 体		836	659	141	200	205	181	97	15	25
		100.0	78.8	16.9	23.9	24.5	21.7	11.6	1.8	3.0
男女別	男性	422	329	68	99	106	108	32	9	9
		100.0	78.0	16.1	23.5	25.1	25.6	7.6	2.1	2.1
男女別	女性	410	327	73	100	99	72	65	6	16
		100.0	79.8	17.8	24.4	24.1	17.6	15.9	1.5	3.9
居住地別	桑折地区	365	287	53	93	88	56	44	7	12
		100.0	78.6	14.5	25.5	24.1	15.3	12.1	1.9	3.3
	睦合地区	137	110	22	27	31	33	16	2	3
		100.0	80.3	16.1	19.7	22.6	24.1	11.7	1.5	2.2
	伊達崎地区	126	98	27	28	28	36	14	2	4
		100.0	77.8	21.4	22.2	22.2	28.6	11.1	1.6	3.2
	半田地区	206	164	39	51	58	56	23	4	5
		100.0	79.6	18.9	24.8	28.2	27.2	11.2	1.9	2.4

5. 人口減少対策(移住や定住、交流促進等)について

(1) 町が取り組むべき施策

問5-1 他の市町村から桑折町に移り住んだり、継続的に関わりを持つ方々を増やすために、町はどのような施策に取り組むべきと思いますか？（3つまで選んで○を付けてください。）



人口減少対策のために町が取り組むべき施策については、「子育て支援や教育環境の充実（経済的負担、施設・設備充実）」が 58.6%と最も多く、以下、「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」（47.2%）、「若い世代の就労支援（企業誘致・就職相談等）」（40.4%）、「住まい探し、住宅整備や住宅取得への支援」（27.6%）となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『70歳以上』では「若い世代の就労支援（企業誘致・就職相談等）」がともに48.9%、『20代』では「移住希望者向け事業や桑折町応援者との交流事業（17.9%）」「魅力的な地域づくりを行い、観光等による来訪者増加を図る（20.8%）」、『20代』『30代』では「子育て支援や教育環境の充実（経済的負担、施設・設備充実）」が7割程度、『20歳未満』『30代』『40代』では「保健医療体制の充実を図る（医療施設、健康教育・相談等）」が3割以上、『30代』『40代』では「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」が6割、『60代』『70歳以上』では「結婚支援の充実（結婚したい男女の出会いの場づくり支援等）」が3割以上と他の年代と比べて多くなっています。

男女別にみると、男女ともに「子育て支援や教育環境の充実（経済的負担、施設・設備充実）」が58.5%、58.8%と最も高くなっています。また、『女性』では「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」が53.9%と『男性』と比べて多くなっています。

居住地別にみると、『桑折地区』では「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」が52.9%、『睦合地区』では「若い世代の就労支援（企業誘致・就業相談等）」が49.6%、「魅力的な地域づくりを行い、観光等による来訪者増加を図る」が22.6%、『伊達崎地区』では「結婚支援の充実（結婚したい男女の出会いの場づくり支援等）」が35.7%、『半田地区』では「結婚支援の充実（結婚したい男女の出会いの場づくり支援等）」が28.6%、「若い世代の就労支援（企業誘致・就業相談等）」が47.1%と他の居住地と比べて多くなっています。

【人口減少対策のために町が取り組むべき施策／年代別・男女別・居住地別】

上段：件数、下段：%

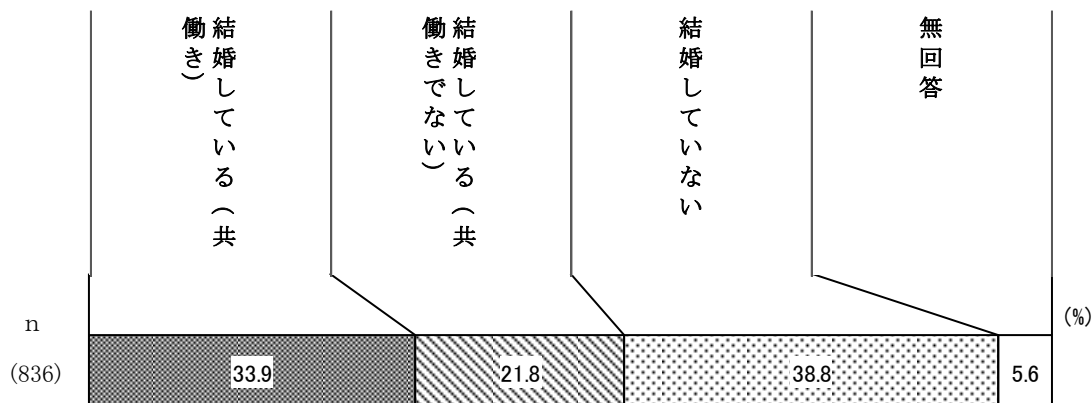
		調査数	く り 支 援 等	結 婚 支 援 の 充 実 （ 結 婚 づ し	設 ・ 実 育 （ 経 済 的 負 担 、 施 の 充 実 ）	子 育 （ 医 療 施 設 の 充 実 、 健 康 教 育 を 図 る ）	保 健 医 療 体 制 の 充 実 を 図 る （ 医 療 施 設 、 健 康 教 育 ・ 相 談 等 ）	日 常 的 な 買 い 物 や 飲 食 が で き る 施 設 の 充 実	業 誘 致 ・ 就 職 相 談 等 （ 企 業 ）	若 い 世 代 の 就 労 支 援 （ 企 業 ）	町 創 業 者 支 援 な ど に よ る 、 工 業 の 活 性 化	折 移 住 希 望 者 と の 交 流 事 業 や 桑	増 加 を 図 る 等 に よ る 、	魅 力 的 な 地 域 づ き を 行 う 者	住 宅 ま い 取 得 し 、 住 宅 整 備 や	品 開 業 活 性 化 に よ る 、	就 農 支 援 と の 交 流 事 業 や	行 町 民 に 対 し て 進 出 の PR を	そ の 他	無 回 答
全 体		836 100.0	196 23.4	490 58.6	224 26.8	395 47.2	338 40.4	58 6.9	93 11.1	128 15.3	231 27.6	77 9.2	41 4.9	13 1.6	24 2.9					
年代別	20歳未満	47 100.0	8 17.0	29 61.7	17 36.2	23 48.9	23 48.9	2 4.3	3 6.4	7 14.9	14 29.8	0 0.0	4 8.5	0 0.0	0 0.0					
	20代	106 100.0	28 26.4	70 66.0	17 16.0	54 50.9	40 37.7	5 4.7	19 17.9	22 20.8	28 26.4	2 1.9	5 4.7	3 2.8	1 0.9					
	30代	141 100.0	27 19.1	101 71.6	46 32.6	83 58.9	39 27.7	11 7.8	11 7.8	25 17.7	44 31.2	9 6.4	5 3.5	3 2.1	1 0.7					
	40代	159 100.0	20 12.6	93 58.5	59 37.1	93 58.5	60 37.7	12 7.5	15 9.4	26 16.4	46 28.9	15 9.4	7 4.4	2 1.3	4 2.5					
	50代	109 100.0	21 19.3	58 53.2	25 22.9	56 51.4	49 45.0	10 9.2	11 10.1	14 12.8	29 26.6	15 13.8	3 2.8	2 1.8	2 1.8					
	60代	140 100.0	44 31.4	82 58.6	30 21.4	50 35.7	62 44.3	9 6.4	21 15.0	16 11.4	36 25.7	22 15.7	8 5.7	3 2.1	6 4.3					
	70歳以上	133 100.0	48 36.1	56 42.1	29 21.8	36 27.1	65 48.9	9 6.8	13 9.8	18 13.5	33 24.8	14 10.5	9 6.8	0 0.0	10 7.5					
	男女別	422 100.0	115 27.3	247 58.5	97 23.0	172 40.8	178 42.2	31 7.3	53 12.6	54 12.8	131 31.0	39 9.2	27 6.4	11 2.6	8 1.9					
	410 100.0	80 19.5	241 58.8	125 30.5	221 53.9	158 38.5	27 6.6	40 9.8	74 18.0	99 24.1	38 9.3	14 3.4	2 0.5	16 3.9						
居住地別	桑折地区	365 100.0	65 17.8	230 63.0	102 27.9	193 52.9	128 35.1	28 7.7	37 10.1	52 14.2	110 30.1	30 8.2	10 2.7	7 1.9	14 3.8					
	睦合地区	137 100.0	27 19.7	70 51.1	37 27.0	60 43.8	68 49.6	10 7.3	20 14.6	31 22.6	38 27.7	14 10.2	10 7.3	1 0.7	1 0.7					
	伊達崎地区	126 100.0	45 35.7	76 60.3	33 26.2	56 44.4	45 35.7	8 6.3	14 11.1	14 11.1	32 25.4	12 9.5	5 4.0	3 2.4	3 2.4					
	半田地区	206 100.0	59 28.6	113 54.9	51 24.8	86 41.7	97 47.1	12 5.8	22 10.7	31 15.0	50 24.3	21 10.2	16 7.8	2 1.0	5 2.4					

6. 結婚に対する考えについて

(1) 結婚について

問6-1 あなたは、現在、結婚していますか？ また、結婚していない方の場合、②その理由や③今後の結婚の希望は、次のうちどれですか？（1つ選んで○を付けてください。）

①未既婚の状況



未既婚の状況については、「結婚していない」が38.8%と最も多く、以下、「結婚している（共働き）」（33.9%）、「結婚している（共働きでない）」（21.8%）となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『20代』では「結婚していない」が8割以上、『30代』『40代』『50代』では「結婚している（共働き）」が5割程度、『60代』『70歳以上』では「結婚している（共働きでない）」が4～5割と他の年代と比べ多くなっています。

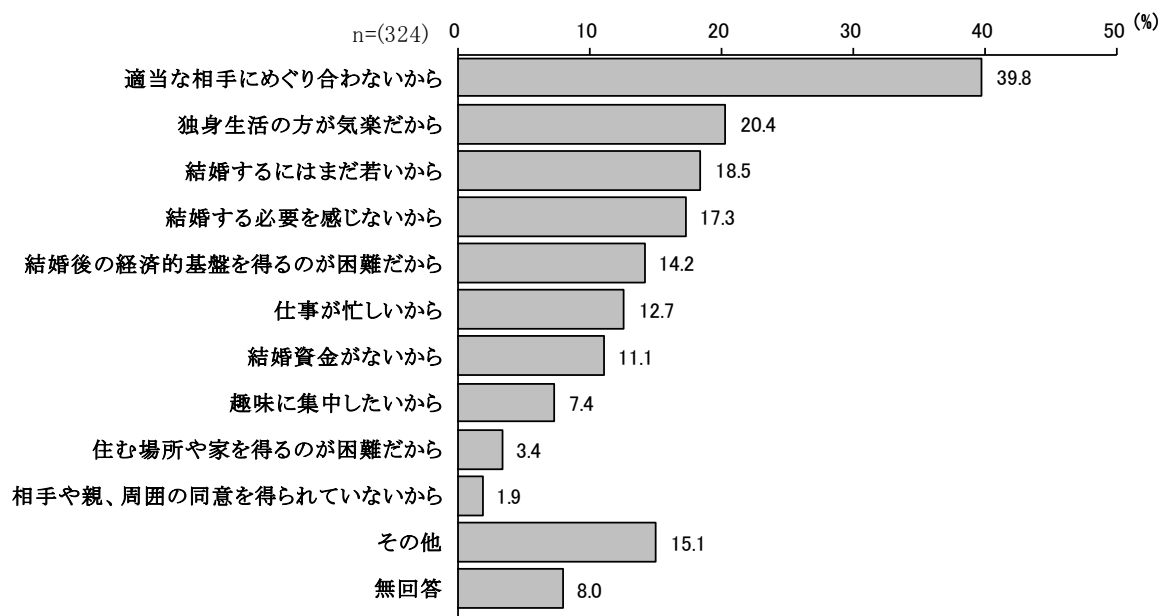
男女別にみると、男女ともに「結婚していない」が4割程度と最も多くなっています。

【未既婚の状況／年代別・男女別】 上段：件数、下段：%

		調査数	結婚している (共働き)	結婚している (共働きでない)	結婚していない	無回答
全 体		836	283	182	324	47
		100.0	33.9	21.8	38.8	5.6
年代別	20歳未満	47	0	0	47	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代	106	14	3	88	1
		100.0	13.2	2.8	83.0	0.9
	30代	141	76	15	48	2
		100.0	53.9	10.6	34.0	1.4
	40代	159	78	15	64	2
年代別		100.0	49.1	9.4	40.3	1.3
	50代	109	53	20	35	1
		100.0	48.6	18.3	32.1	0.9
	60代	140	41	61	26	12
		100.0	29.3	43.6	18.6	8.6
	70歳以上	133	21	68	15	29
		100.0	15.8	51.1	11.3	21.8
男女別	男性	422	139	105	161	17
		100.0	32.9	24.9	38.2	4.0
男女別	女性	410	143	77	161	29
		100.0	34.9	18.8	39.3	7.1

②結婚していない理由

※問6-1で「3. 結婚していない」に○を付けた方のみ



問6-1で「結婚していない」と回答した方に対し、その理由をたずねたところ、「適当な相手にめぐり合わないから」が39.8%と最も多く、以下、「独身生活の方が気楽だから」(20.4%)、「結婚するにはまだ若いから」(18.5%)、「結婚する必要を感じないから」(17.3%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』では「結婚するにはまだ若いから」が72.3%、『20代』『30代』では「適当な相手にめぐり合わないから」が5～6割、『40代』『50代』では「結婚する必要を感じないから」が3割程度、『30代』『40代』『50代』では「独身生活の方が気楽だから」が3～4割程度と他の年代と比べて多くなっています。

男女別にみると、『男性』では「結婚資金がないから」「結婚後の経済的基盤を得るのが困難だから」がそれぞれ16.1%、18.6%と『女性』に比べて多くなっています。

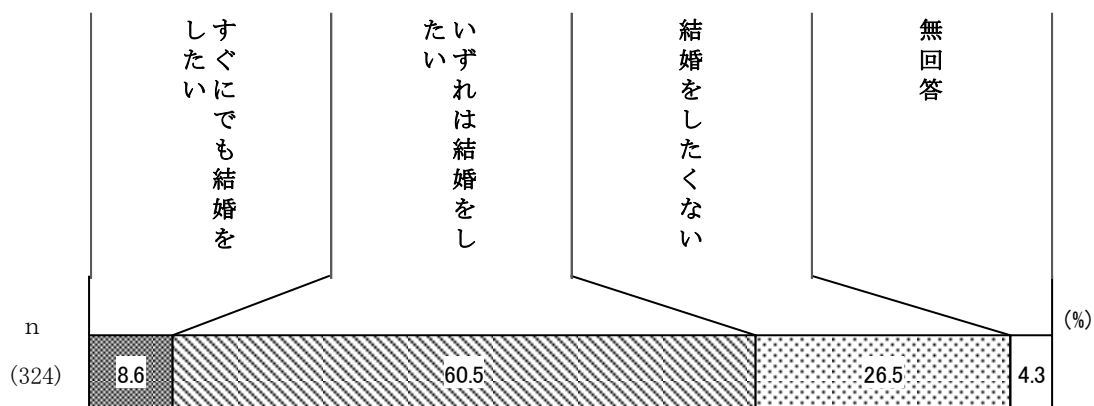
【結婚していない理由／年代別・男女別】

上段：件数、下段：%

		調査数	い 結 婚 す る に は ま だ 若	な い 結 婚 す る 必 要 を 感 じ	合 適 わ な い 相 手 に め ぐ り	仕 事 が 忙 し い か ら	ら 趣 味 に 集 中 し た い か	だ 独 身 生 活 の 方 が 気 楽	結 婚 資 金 が な い か ら	ら を 結 婚 後 の の が 困 難 的 だ 基 盤	の 住 む 困 場 所 だ か 家 を 得 る	か 意 相 を 手 得 や 親 れ 、 周 い 囲 な い 同	そ の 他	無 回 答
全 体		324 100.0	60 18.5	56 17.3	129 39.8	41 12.7	24 7.4	66 20.4	36 11.1	46 14.2	11 3.4	6 1.9	49 15.1	26 8.0
年代別	20歳未満	47 100.0	34 72.3	2 4.3	1 2.1	0 0.0	1 2.1	1 2.1	2 4.3	3 6.4	1 2.1	0 0.0	9 19.1	5 10.6
	20代	88 100.0	26 29.5	10 11.4	45 51.1	14 15.9	11 12.5	17 19.3	20 22.7	17 19.3	7 8.0	2 2.3	8 9.1	5 5.7
	30代	48 100.0	0 0.0	9 18.8	32 66.7	14 29.2	7 14.6	14 29.2	6 12.5	4 8.3	2 4.2	1 2.1	6 12.5	3 6.3
	40代	64 100.0	0 0.0	17 26.6	26 40.6	9 14.1	4 6.3	17 26.6	4 6.3	10 15.6	1 1.6	1 1.6	11 17.2	4 6.3
	50代	35 100.0	0 0.0	11 31.4	12 34.3	2 5.7	1 2.9	14 40.0	2 5.7	6 17.1	0 0.0	0 0.0	4 11.4	2 5.7
	60代	26 100.0	0 0.0	4 15.4	11 42.3	1 3.8	0 0.0	1 3.8	2 7.7	4 15.4	0 0.0	2 7.7	7 26.9	3 11.5
	70歳以上	15 100.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	4 26.7	4 26.7
男女別	男性	161 100.0	26 16.1	20 12.4	64 39.8	19 11.8	16 9.9	33 20.5	26 16.1	30 18.6	4 2.5	3 1.9	27 16.8	14 8.7
	女性	161 100.0	33 20.5	35 21.7	64 39.8	22 13.7	8 5.0	32 19.9	10 6.2	16 9.9	7 4.3	3 1.9	22 13.7	12 7.5

③今後の結婚希望

※問6-1で「3. 結婚していない」に○を付けた方のみ



問6-1で「結婚していない」と回答した方に対し、今後の結婚希望についてたずねたところ、「いずれは結婚をしたい」が60.5%と最も多く、以下、「結婚をしたくない」(26.5%)、「すぐにでも結婚をしたい」(8.6%)となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『20代』では「いずれは結婚をしたい」が8割、『50代』以降では「結婚をしたくない」が5～6割と他の年代と比べて多くなっています。

男女別にみると、男女とも「いずれは結婚をしたい」が6割と最も多くなっています。

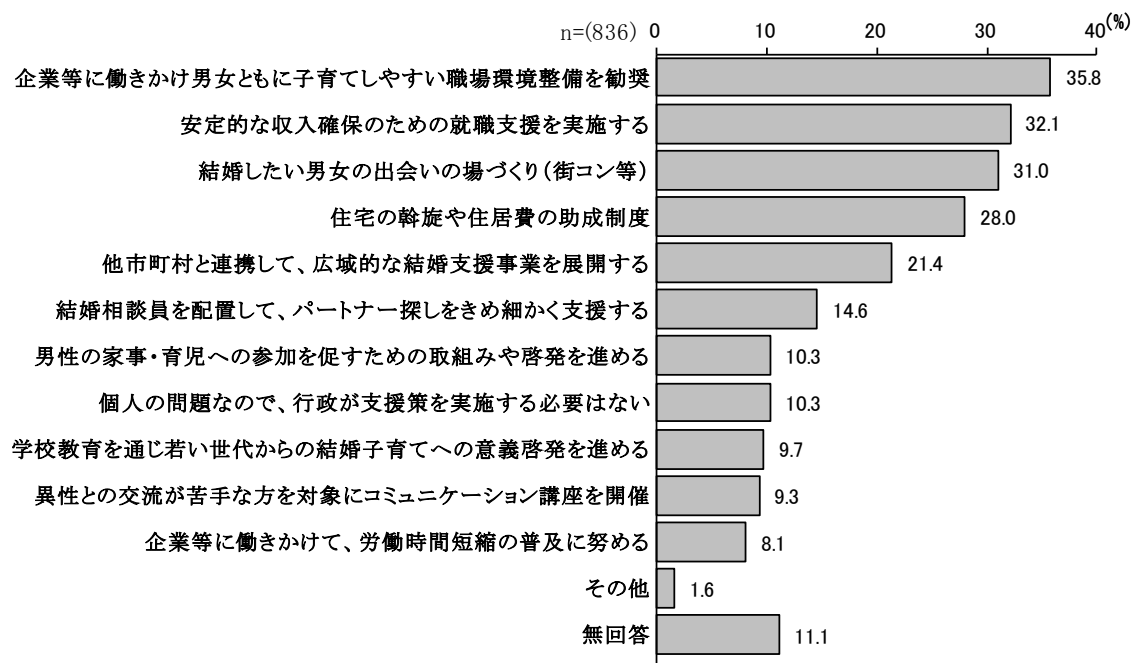
【今後の結婚希望／年代別・男女別】上段：件数、下段：%

		調査数	すぐにでも結婚をしたい	いずれは結婚をしたい	結婚をしたくない	無回答
全 体		324	28	196	86	14
		100.0	8.6	60.5	26.5	4.3
年代別	20歳未満	47	0	39	7	1
		100.0	0.0	83.0	14.9	2.1
	20代	88	12	71	4	1
		100.0	13.6	80.7	4.5	1.1
	30代	48	6	31	9	2
		100.0	12.5	64.6	18.8	4.2
	40代	64	6	38	20	0
		100.0	9.4	59.4	31.3	0.0
年代別	50代	35	2	11	19	3
		100.0	5.7	31.4	54.3	8.6
	60代	26	2	6	16	2
		100.0	7.7	23.1	61.5	7.7
年代別	70歳以上	15	0	0	10	5
		100.0	0.0	0.0	66.7	33.3
男女別	男性	161	18	98	40	5
		100.0	11.2	60.9	24.8	3.1
男女別	女性	161	10	97	45	9
		100.0	6.2	60.2	28.0	5.6

(2) 結婚支援のため行政に期待すること

問6-2 結婚支援のために、どのような施策（取組み）を行政に期待しますか？

(3つまで選んで○を付けてください。)



結婚支援のため行政に期待することについては、「企業等に働きかけ男女ともに子育てしやすい職場環境整備を奨励」が 35.8%と最も多く、以下、「安定的な収入確保のための就職支援を実施する」(32.1%)、「結婚したい男女の出会いの場づくり(街コン等)」(31.0%)、「住宅の斡旋や住居費の助成制度」(28.0%)となっています。

男女別にみると、『男性』では「結婚したい男女の出会いの場づくり（街コン等）」が35.8%、『女性』では「企業等に働きかけ男女ともに子育てしやすい職場環境整備を勧奨」が39.0%と最も多くなっています。

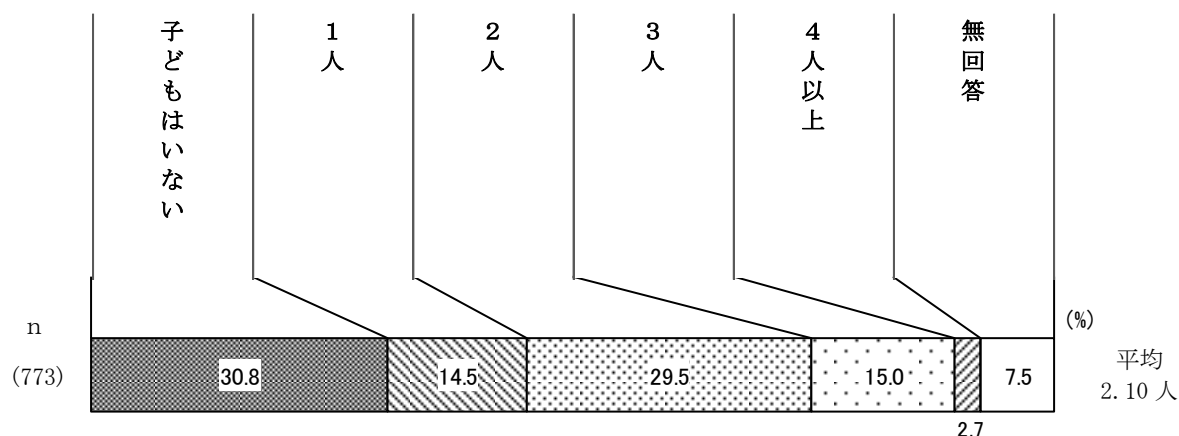
上段：件数、下段：%

7. 出産・子育てに対する考えについて

※学生（高校生・大学生・専門学校生等）以外の方への設問

(1) 子どもの人数

問7-1 ご自身の子どもの人数は、次のうちどれですか？（1つ選んで○を付けてください。）



子どもの人数については、「子どもはいない」が30.8%と最も多く、以下、「2人」(29.5%)、「3人」(15.0%)、「1人」(14.5%)となっています。

年代別にみると、『20代』『40代』では「子どもはいない」がそれぞれ65.1%、39.2%、『30代』では「1人」が20.0%、『50代』『60代』では「2人」が4割、『60代』『70歳以上』では「3人」が2割と他の年代と比べ多くなっています。

男女別にみると、男女ともに「子どもはいない」が3割程度と最も多くなっています。

【子どもの人数／年代別・男女別】

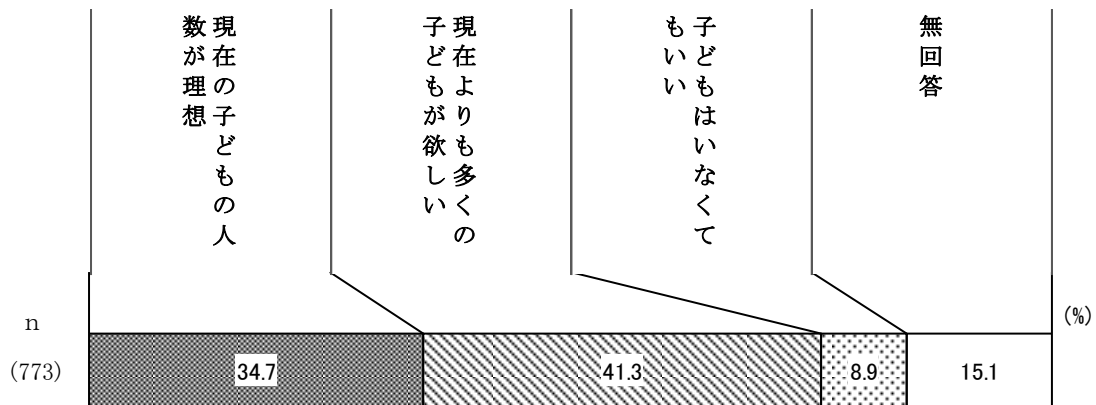
上段：件数、下段：%

		調査数	子どもはいない	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均
全 体		773	238	112	228	116	21	58	2.10
		100.0	30.8	14.5	29.5	15.0	2.7	7.5	
年代別	20歳未満	8	7	0	0	0	0	1	—
		100.0	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	
	20代	86	56	13	7	2	0	8	1.50
		100.0	65.1	15.1	8.1	2.3	0.0	9.3	
	30代	140	48	28	34	23	4	3	2.03
		100.0	34.3	20.0	24.3	16.4	2.9	2.1	
	40代	158	62	27	42	19	5	3	2.02
		100.0	39.2	17.1	26.6	12.0	3.2	1.9	
年代別	50代	108	27	17	42	15	3	4	2.05
		100.0	25.0	15.7	38.9	13.9	2.8	3.7	
	60代	140	26	14	59	29	4	8	2.22
		100.0	18.6	10.0	42.1	20.7	2.9	5.7	
年代別	70歳以上	132	11	13	44	28	5	31	2.28
		100.0	8.3	9.8	33.3	21.2	3.8	23.5	
男女別	男性	386	125	46	119	58	9	29	
		100.0	32.4	11.9	30.8	15.0	2.3	7.5	
男女別	女性	384	112	66	108	58	12	28	
		100.0	29.2	17.2	28.1	15.1	3.1	7.3	

(2) 理想の子どもの人数

問7-2 理想とする子どもの人数は、次のうちどれですか？（1つ選んで○を付けてください。）

①理想とする子どもの人数



理想とする子どもの人数については、「現在よりも多くの子どもが欲しい」が41.3%と最も多く、以下、「現在の子どもが理想」（34.7%）、「子どもはいなくてもいい」（8.9%）となっています。

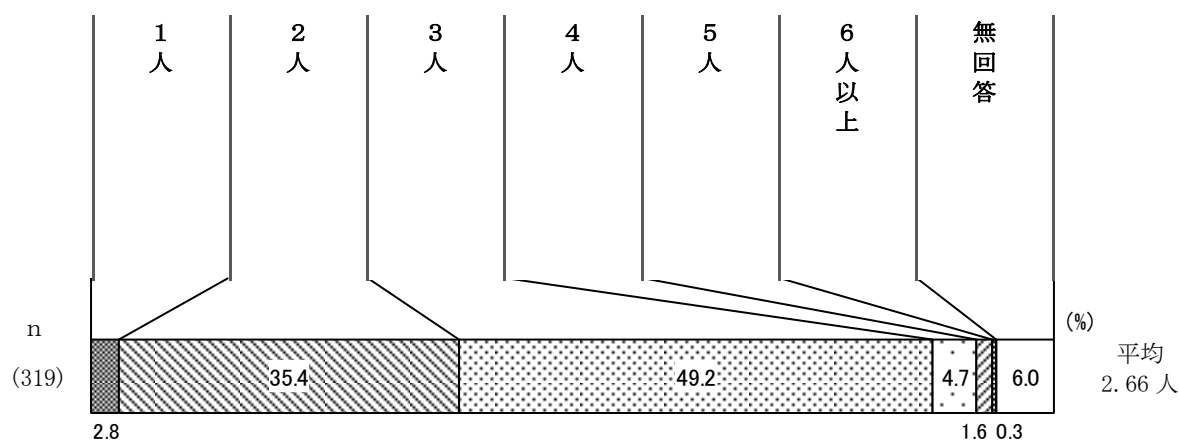
年代別にみると、『20代』『30代』では「現在よりも多くの子どもが欲しい」が5割以上、『40代』『60代』では「現在の子どもが理想」が4割と他の年代と比べて多くなっています。

男女別にみると、男女ともに「現在よりも多くの子どもが欲しい」が4割と最も多くなっています。

【理想とする子どもの人数／年代別・男女別】上段：件数、下段：%

		調査数	現在の子どもが理想	現在よりも多くの子どもが欲しい	子どもはいなくてもいい	無回答
全 体		773	268	319	69	117
		100.0	34.7	41.3	8.9	15.1
年代別	20歳未満	8	0	3	3	2
		100.0	0.0	37.5	37.5	25.0
	20代	86	13	49	11	13
		100.0	15.1	57.0	12.8	15.1
	30代	140	46	71	10	13
		100.0	32.9	50.7	7.1	9.3
	40代	158	64	56	25	13
		100.0	40.5	35.4	15.8	8.2
年代別	50代	108	41	43	12	12
		100.0	38.0	39.8	11.1	11.1
	60代	140	61	54	5	20
		100.0	43.6	38.6	3.6	14.3
年代別	70歳以上	132	43	43	2	44
		100.0	32.6	32.6	1.5	33.3
男女別	男性	386	135	155	31	65
		100.0	35.0	40.2	8.0	16.8
男女別	女性	384	132	164	37	51
		100.0	34.4	42.7	9.6	13.3

②理想とする子どもの人数（現在より多く子どもが欲しい人）



問7-2で「現在より多く子どもが欲しい」と回答した方に、理想の子ども的人数についてたずねたところ、「3人」が49.2%と最も多く、以下、「2人」(35.4%)、「4人」(4.7%)、「1人」(2.8%)となっています。

年代別にみると、『20代』『30代』では「2人」がそれぞれ67.3%、46.5%と他の年代と比べ多くなっています。

男女別にみると、男女ともに「現在よりも多くの子どもが欲しい」が5割程度と最も多くなっています。

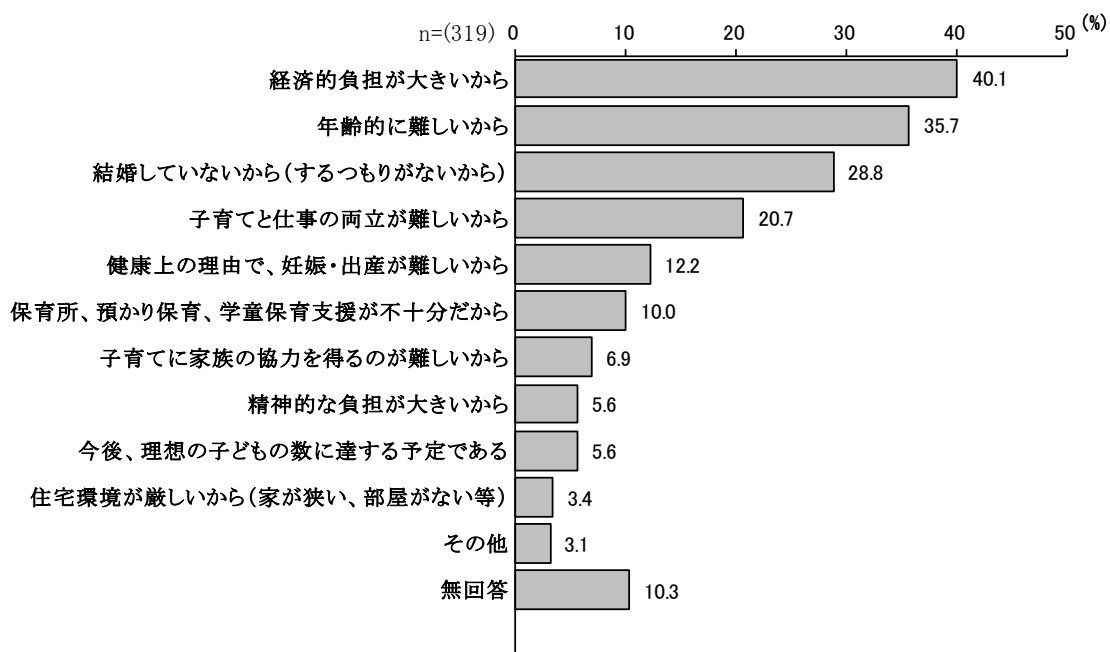
【理想の子ども的人数／年代別・男女別】

上段：件数、下段：%

		調査数	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全 体		319	9	113	157	15	5	1	19
		100.0	2.8	35.4	49.2	4.7	1.6	0.3	6.0
年代別	20歳未満	3	0	2	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	49	1	33	12	2	0	0	1
		100.0	2.0	67.3	24.5	4.1	0.0	0.0	2.0
	30代	71	3	33	27	4	1	0	3
		100.0	4.2	46.5	38.0	5.6	1.4	0.0	4.2
	40代	56	3	21	26	0	1	1	4
年代別		100.0	5.4	37.5	46.4	0.0	1.8	1.8	7.1
	50代	43	1	12	23	3	3	0	1
		100.0	2.3	27.9	53.5	7.0	7.0	0.0	2.3
	60代	54	0	9	37	3	0	0	5
		100.0	0.0	16.7	68.5	5.6	0.0	0.0	9.3
	70歳以上	43	1	3	31	3	0	0	5
		100.0	2.3	7.0	72.1	7.0	0.0	0.0	11.6
男女別	男性	155	7	54	76	8	2	1	7
		100.0	4.5	34.8	49.0	5.2	1.3	0.6	4.5
男女別	女性	164	2	59	81	7	3	0	12
		100.0	1.2	36.0	49.4	4.3	1.8	0.0	7.3

(3) 理想の子どもの人数に達していない理由

問7-3 問7-2で「2. 現在よりも多くの子どもが欲しい」と答えた方にお伺いします。理想の子どもの人数に達していない理由は次のうちどれですか？（あてはまるものすべてを選んで○を付けてください。）



問7-2で「現在よりも多くの子どもが欲しい」と回答した方に対し、理想の子どもの人数に達していない理由をたずねたところ、「経済的負担が大きいから」が40.1%と最も多く、以下、「年齢的に難しいから」(35.7%)、「結婚していないから(するつもりがないから)」(28.8%)、「子育てと仕事の両立が難しいから」(20.7%)となっています。

年代別にみると、『20代』では「結婚していないから（するつもりがないから）」が71.4%、『30代』では「経済的負担が大きいから（49.3%）」「子育てと仕事の両立が難しいから（33.8%）」、『40代』では「年齢的に難しいから（67.9%）」「健康上の理由で、妊娠・出産が難しいから（21.4%）」が他の年代と比べて多くなっています。

男女別にみると、男女ともに「経済的負担が大きいから」が4割程度と最も多くなっています。

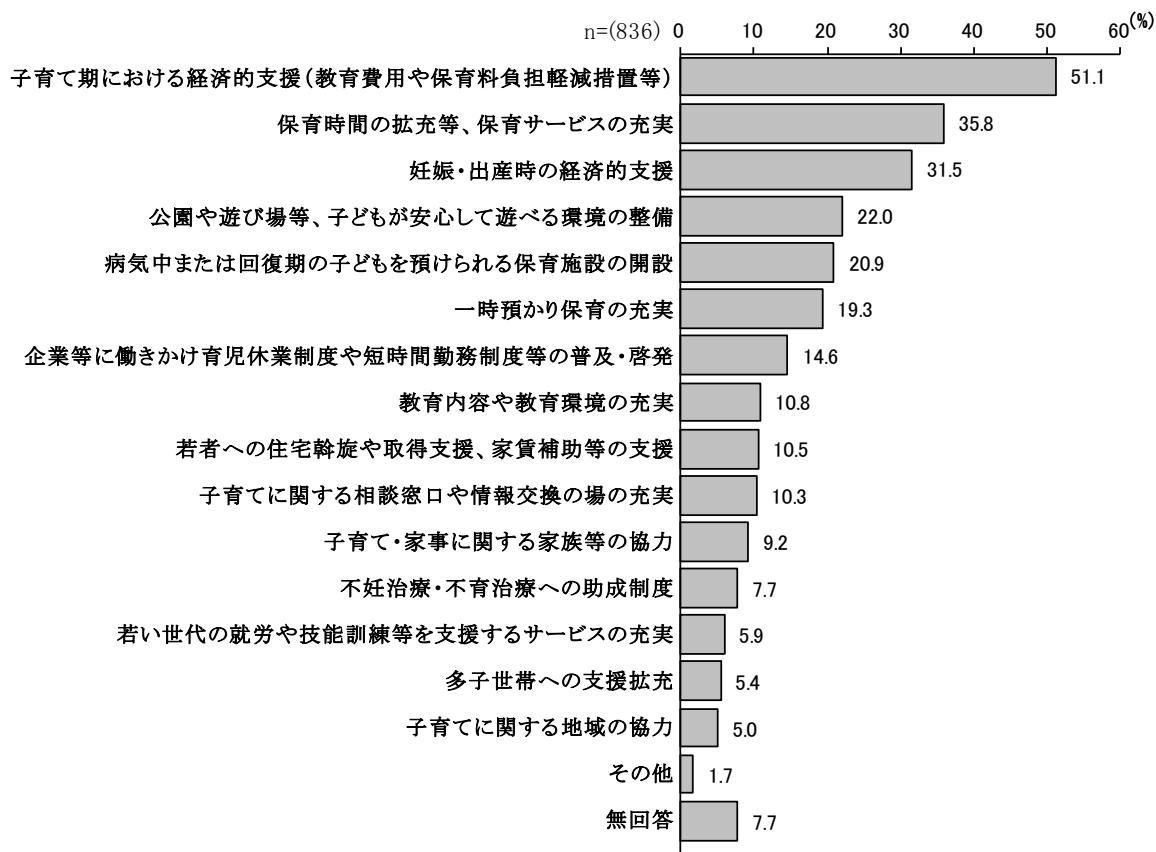
【理想の子どもの人数に達していない理由／年代別・男女別】

上段：件数、下段：%

		調査数	か（す）結婚してつもりがないから	年齢的に難しいから	か経済的負担が大きい	が子育てと仕事の両立	ら子育てに家族の協力	い精神的な負担が大きい	ら健康上の理由で、か妊	不十分で、児童保育が	育保がない等	が（家）環境が狭い、部屋か	住宅環境が狭い、部屋か	あの数に達する予定でも	その他	無回答
全 体		319 100.0	92 28.8	114 35.7	128 40.1	66 20.7	22 6.9	18 5.6	39 12.2	32 10.0	11 3.4	18 5.6	10 3.1	33 10.3		
年代別	20歳未満	3 100.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20代	49 100.0	35 71.4	2 4.1	17 34.7	10 20.4	1 2.0	6 12.2	1 2.0	8 16.3	3 6.1	9 18.4	2 4.1	2 4.1		
	30代	71 100.0	19 26.8	13 18.3	35 49.3	24 33.8	7 9.9	4 5.6	10 14.1	10 14.1	5 7.0	9 12.7	2 2.8	5 7.0		
	40代	56 100.0	20 35.7	38 67.9	23 41.1	15 26.8	6 10.7	4 7.1	12 21.4	9 16.1	1 1.8	0 0.0	2 3.6	1 1.8		
	50代	43 100.0	6 14.0	21 48.8	18 41.9	5 11.6	2 4.7	1 2.3	4 9.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.3	7 16.3		
	60代	54 100.0	7 13.0	26 48.1	17 31.5	8 14.8	5 9.3	2 3.7	9 16.7	4 7.4	0 0.0	0 0.0	2 3.7	7 13.0		
	70歳以上	43 100.0	2 4.7	13 30.2	17 39.5	4 9.3	1 2.3	1 2.3	3 7.0	1 2.3	2 4.7	0 0.0	1 2.3	11 25.6		
男女別	男性	155 100.0	42 27.1	52 33.5	60 38.7	30 19.4	6 3.9	10 6.5	22 14.2	13 8.4	5 3.2	6 3.9	3 1.9	19 12.3		
	女性	164 100.0	50 30.5	62 37.8	68 41.5	36 22.0	16 9.8	8 4.9	17 10.4	19 11.6	6 3.7	12 7.3	7 4.3	14 8.5		

(4) 行政に期待すること

問7-4 希望通りの人数の子どもを持ち、子育てをしていくために、どのような施策（取組み）を行政に期待しますか？（3つまで選んで○を付けてください。）



希望通りの人数の子どもを持ち、子育てをしていくために行政に期待することについては、「子育て期における経済的支援（教育費用や保育料負担軽減措置等）」が51.1%と最も多く、以下、「保育時間の拡充等、保育サービスの充実」（35.8%）、「妊娠・出産時の経済的支援」（31.5%）、「公園や遊び場等、子どもが安心して遊べる環境の整備」（22.0%）となっています。

男女別にみると、「子育て期における経済的支援（教育費用や保育料負担軽減措置等）」が『男性』では57.1%、『女性』では44.6%とともに最も多くなっています。

上段：件数、下段：%

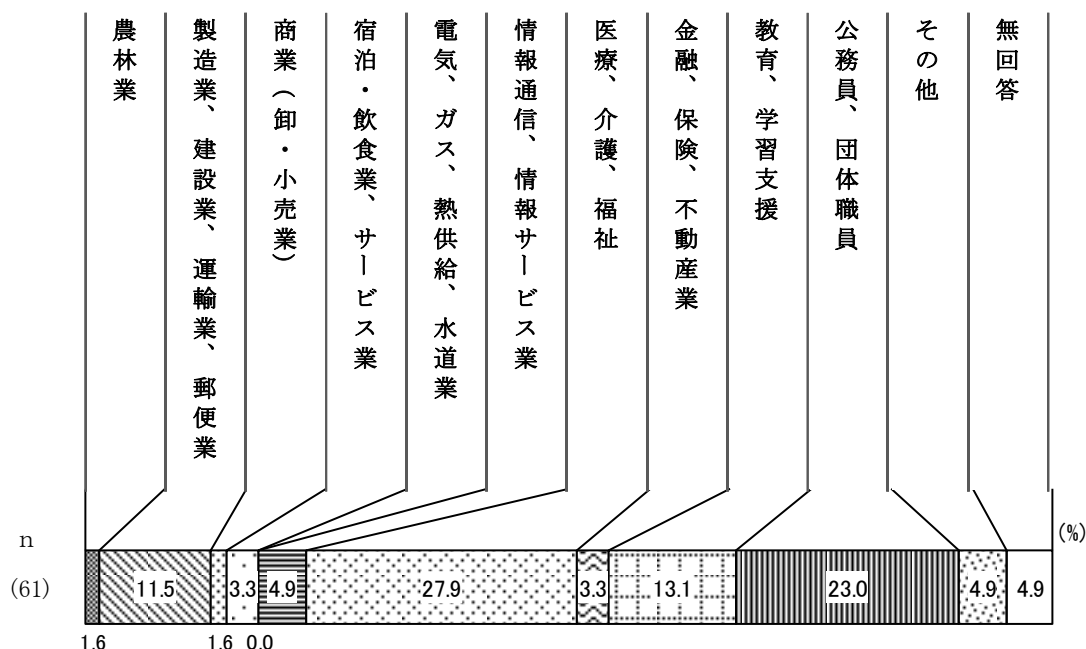
93

8. 就業・仕事について

※学生（高校生・大学生・専門学校生等）の方への設問

(1) 将来就きたい職業

問8-1 あなたが将来就きたいと思う職業は、次のうちどれですか？（1つ選んで○を付けてください。）



将来就きたい職業については、「医療、介護、福祉」が 27.9%と最も多く、以下、「公務員、団体職員」（23.0%）、「教育、学習支援」（13.1%）、「製造業、建設業、運輸業、郵便業」（11.5%）となっています。

男女別にみると、「医療、介護、福祉」が『男性』では 23.5%、『女性』では 34.6%とともに最も多くなっています。また、『男性』では「製造、建設業、運輸業、郵便業」が 14.7%と『女性』と比べて多く、『女性』では「教育、学習支援」が 19.2%と『男性』と比べて多くなっています。

居住地別にみると、『桑折地区』『半田地区』では「医療、介護、福祉」が 3 割、『睦合地区』では「公務員、団体職員」が 4 割と他の居住地と比べて多くなっています。

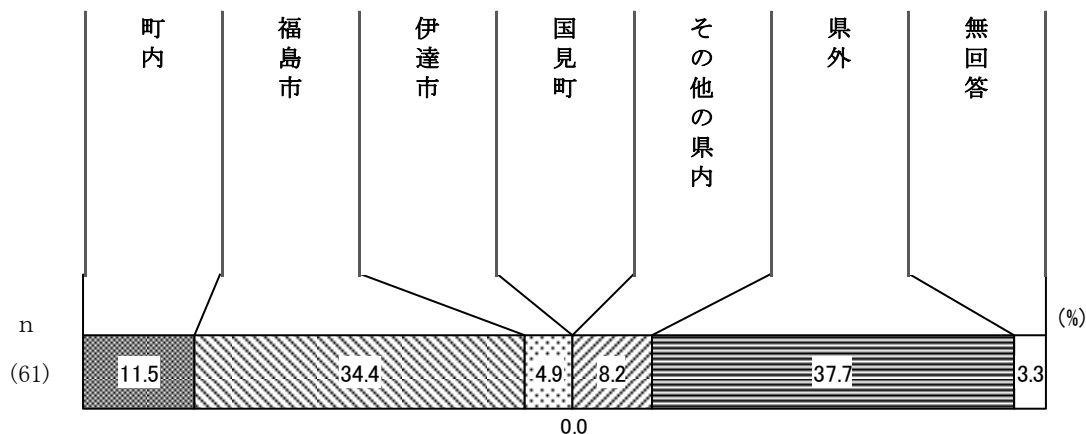
【将来就きたい職業／性別・居住地別】

上段：件数、下段：%

	調査数	農林業	製造業、建設業、運輸業、郵便業	商業（卸・小売業）	宿泊・飲食業、サービス業	電気、ガス、熱供給、水道業	情報通信、情報サービス業	医療、介護、福祉	金融、保険、不動産業	教育、学習支援	公務員、団体職員	その他	無回答
全 体	61 100.0	1 1.6	7 11.5	1 1.6	2 3.3	0 0.0	3 4.9	17 27.9	2 3.3	8 13.1	14 23.0	3 4.9	3 4.9
男女別													
男性	34 100.0	1 2.9	5 14.7	0 0.0	2 5.9	0 0.0	2 5.9	8 23.5	0 0.0	3 8.8	7 20.6	3 8.8	3 8.8
女性	26 100.0	0 0.0	2 7.7	1 3.8	0 0.0	0 0.0	1 3.8	9 34.6	2 7.7	5 19.2	6 23.1	0 0.0	0 0.0
居住地別													
桑折地区	25 100.0	0 0.0	4 16.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0	3 12.0	8 32.0	0 0.0	4 16.0	3 12.0	2 8.0	0 0.0
睦合地区	9 100.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	1 11.1	4 44.4	1 11.1	0 0.0
伊達崎地区	6 100.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
半田地区	21 100.0	0 0.0	2 9.5	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	7 33.3	2 9.5	1 4.8	5 23.8	0 0.0	3 14.3

(2) 将来働きたい地域

問8-2 あなたは将来、どの地域で働きたいですか？（1つ選んで○を付けてください。）



将来働きたい地域については、「県外」が37.7%と最も多く、以下、「福島市」(34.4%)、「町内」(11.5%)、「その他の県内」(8.2%)となっています。

男女別にみると、『男性』では「福島市」「県外」がともに35.3%、『女性』では「県外」が42.3%と最も多くなっています。

居住地別にみると、『桑折地区』では「県外」が56.0%、『伊達崎地区』では「福島市」が66.7%と他の居住地と比べて多くなっています。

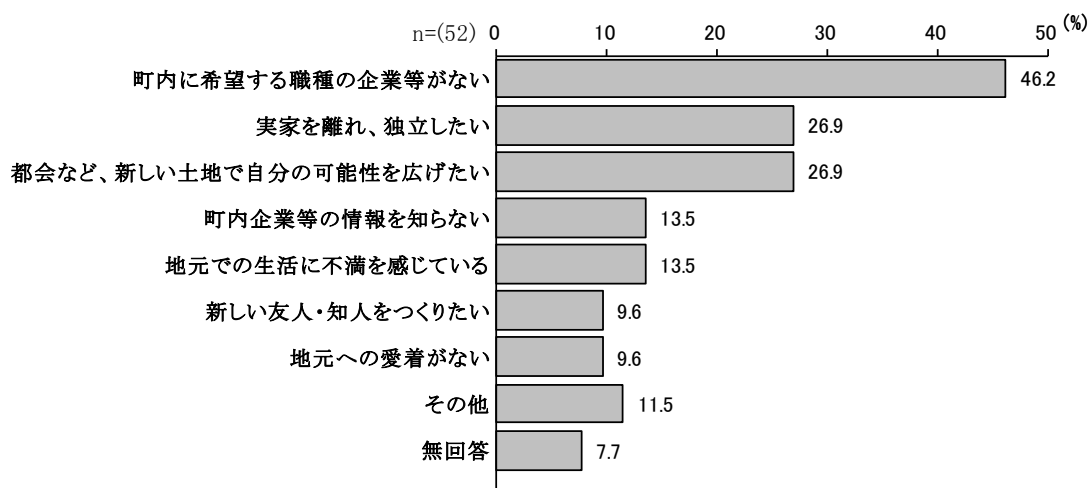
【将来働きたい地域／性別・居住地別】

上段：件数、下段：%

		調査数	町内	福島市	伊達市	国見町	その他の県内	県外	無回答
全 体		61	7	21	3	0	5	23	2
		100.0	11.5	34.4	4.9	0.0	8.2	37.7	3.3
男女別	男性	34	3	12	1	0	4	12	2
		100.0	8.8	35.3	2.9	0.0	11.8	35.3	5.9
	女性	26	4	8	2	0	1	11	0
		100.0	15.4	30.8	7.7	0.0	3.8	42.3	0.0
居住地別	桑折地区	25	1	9	0	0	1	14	0
		100.0	4.0	36.0	0.0	0.0	4.0	56.0	0.0
	睦合地区	9	0	3	2	0	0	4	0
		100.0	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0	44.4	0.0
	伊達崎地区	6	2	4	0	0	0	0	0
		100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	半田地区	21	4	5	1	0	4	5	2
		100.0	19.0	23.8	4.8	0.0	19.0	23.8	9.5

(3) 町内以外の地域で働きたい理由

問8-3 問8-2で「1. 町内」以外と回答された方に伺います。その理由は次のうちどれですか？
(あてはまるものすべてを選んで○を付けてください。)



問8-2で「町内」以外と回答した方に対し、その理由をたずねたところ、「町内に希望する職種の企業等がない」が46.2%と最も多く、以下、「実家を離れ、独立したい」「都会など、新しい土地で自分の可能性を広げたい」（ともに26.9%）、「町内企業等の情報を知らない」「地元での生活に不満を感じている」（ともに13.5%）となっています。

男女別にみると、『男性』では「町内に希望する職種の企業等がない」が48.3%と最も多くなっています。『女性』では「都会など、新しい土地で自分の可能性を広げたい」が36.4%、「地元への愛着がない」が18.2%、「地元での生活に不満を感じている」が27.3%と『男性』と比べて多くなっています。

居住地別にみると、『桑折地区』では「町内に希望する職種の企業等がない」が62.5%、「都会など、新しい土地で自分の可能性を広げたい」が37.5%など、他の居住地と比べて割合が高い項目が多くなっています。

【町内以外の地域で働きたい理由／性別・居住地別】

上段：件数、下段：%

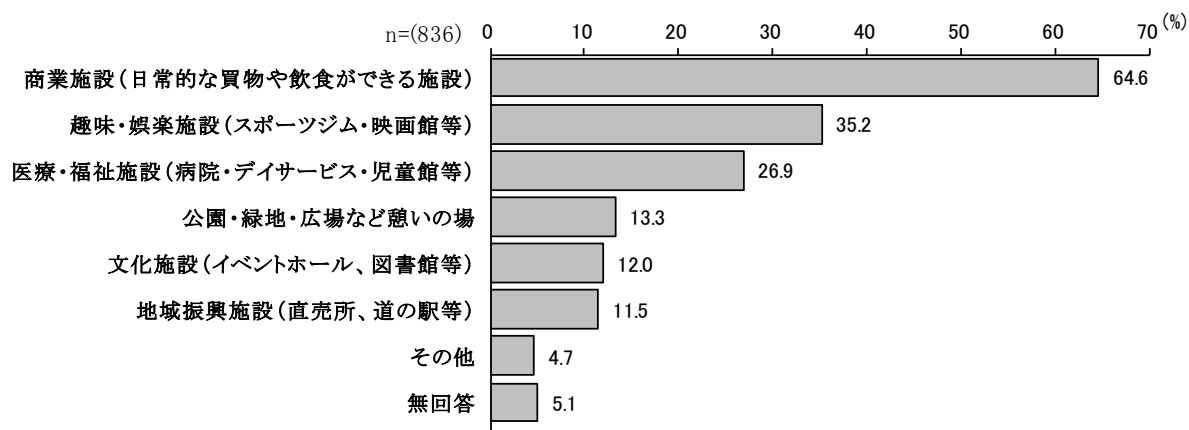
		調査数	町内企業等の情報を知らない	町内に希望する職種の企業等がない	実家を離れ、独立したい	都会など、新しい土地で自分の可能性を広げたい	新しい友人・知人をつくりたい	地元への愛着がない	地元での生活に不満を感じている	その他	無回答
全 体		52	7	24	14	14	5	5	7	6	4
		100.0	13.5	46.2	26.9	26.9	9.6	9.6	13.5	11.5	7.7
性別	男性	29	5	14	8	6	3	1	1	2	3
		100.0	17.2	48.3	27.6	20.7	10.3	3.4	3.4	6.9	10.3
性別	女性	22	2	9	6	8	2	4	6	4	1
		100.0	9.1	40.9	27.3	36.4	9.1	18.2	27.3	18.2	4.5
居住地別	桑折地区	24	3	15	7	9	4	4	6	2	0
		100.0	12.5	62.5	29.2	37.5	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0
	陸合地区	9	0	2	1	3	0	0	0	0	3
		100.0	0.0	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	伊達崎地区	4	0	1	2	0	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
居住地別	半田地区	15	4	6	4	2	1	1	1	3	1
		100.0	26.7	40.0	26.7	13.3	6.7	6.7	6.7	20.0	6.7

9. 町での暮らしについて

(1) 町になくて不便だと思う施設

問9-1 日常生活を送る中で、今、町になくて不便だと思う施設は次のうちどれですか？

(2つ選んで○を付けてください。)



町になくて不便だと思う施設については、「商業施設 (日常的な買物や飲食ができる施設)」が 64.6%と最も多く、以下、「趣味・娯楽施設 (スポーツジム・映画館等)」(35.2%)、「医療・福祉施設 (病院・デイサービス・児童館等)」(26.9%)、「公園・緑地・広場など憩いの場」(13.3%) となっています。

年代別にみると、『20歳未満』『20歳』では「趣味・娯楽施設（スポーツジム・映画館等）」が6割、『30代』では「公園・緑地・広場など憩いの場」が19.1%、『40代』では「商業施設（日常的な買物や飲食ができる施設）」が71.7%と他の年代と比べて多くなっています。

男女別にみると、男女ともに「商業施設（日常的な買物や飲食ができる施設）」が6割以上と最も多くなっています。

居住地別にみると、『桑折地区』では「商業施設（日常的な買物や飲食ができる施設）」が69.9%、『睦合地区』では「地域振興施設（直売所、道の駅等）」が16.8%と他の居住に比べて多くなっています。

【町になくて不便だと思う施設／年代別・男女別・居住地別】 上段：件数、下段：%

		調査数	公園・緑地・広場など憩いの場	文化施設（イベント・図書館等）	商業施設（飲食ができる）	児童・医療・福祉施設（児童・病児・サライビス・病院・施設等）	趣味・娯楽施設（映画・スポーツ・ジム・映画館等）	地域振興施設（直売所・道の駅等）	その他	無回答
全 体		836 100.0	111 13.3	100 12.0	540 64.6	225 26.9	294 35.2	96 11.5	39 4.7	43 5.1
年代別	20歳未満	47 100.0	2 4.3	4 8.5	31 66.0	8 17.0	29 61.7	2 4.3	1 2.1	1 2.1
	20代	106 100.0	9 8.5	11 10.4	63 59.4	22 20.8	61 57.5	13 12.3	5 4.7	3 2.8
	30代	141 100.0	27 19.1	14 9.9	96 68.1	43 30.5	48 34.0	9 6.4	6 4.3	4 2.8
	40代	159 100.0	26 16.4	16 10.1	114 71.7	49 30.8	52 32.7	9 5.7	12 7.5	6 3.8
	50代	109 100.0	13 11.9	12 11.0	74 67.9	24 22.0	38 34.9	18 16.5	9 8.3	5 4.6
	60代	140 100.0	17 12.1	25 17.9	89 63.6	41 29.3	35 25.0	23 16.4	4 2.9	8 5.7
	70歳以上	133 100.0	17 12.8	17 12.8	73 54.9	38 28.6	30 22.6	22 16.5	2 1.5	16 12.0
男女別	男性	422 100.0	49 11.6	51 12.1	266 63.0	110 26.1	154 36.5	52 12.3	22 5.2	21 5.0
	女性	410 100.0	61 14.9	48 11.7	272 66.3	115 28.0	138 33.7	44 10.7	17 4.1	22 5.4
居住地別	桑折地区	365 100.0	48 13.2	44 12.1	255 69.9	100 27.4	134 36.7	33 9.0	9 2.5	19 5.2
	睦合地区	137 100.0	15 10.9	14 10.2	93 67.9	31 22.6	49 35.8	23 16.8	6 4.4	4 2.9
	伊達崎地区	126 100.0	14 11.1	13 10.3	81 64.3	40 31.7	40 31.7	14 11.1	12 9.5	7 5.6
	半田地区	206 100.0	34 16.5	28 13.6	111 53.9	54 26.2	70 34.0	26 12.6	12 5.8	12 5.8

Ⅲ. 自由記述

問10. 最後に、桑折町のまちづくりについて、ご意見やご提言等がありましたらお書きください。

順位	内容	件数
1	生活基盤・生活環境について	150
2	産業について	101
3	まちづくりについて	98
4	行政全般について	88
5	イベント・PRについて	54
6	医療・地域福祉について	46
7	子育て・少子化対策について	41
8	教育・文化・スポーツについて	29
9	定住・移住について	19
10	その他	5
合 計		631

※複数回答を含むため、件数は回答者数より多くなっています。

本町のまちづくりについて、312人の方からご意見を頂戴しました。

記載内容をテーマごとに分類したところ、最も多かったのは「生活基盤・生活環境について」で150件、以下、「産業について」(101件)、「まちづくりについて」(98件)、「行政全般について」(88件)、「イベント・PRについて」(54件)などと続いています。

以下にテーマごとの主な意見を抜粋しました。

◆生活基盤・生活環境について

【道路・交通】

- ・冬場が大変な桑折町、除雪等の管理などを充実させて頂きたいと願います。冬は多忙になることが多いとは思いますが、よろしくお願い致します。(男性・20代)
- ・路上駐車が多くて危ないのでなくしてほしい。取り締まりが一切されていない。他の市町村はもっと厳しい。ある程度、最低限は取り締まりをしてほしいです。(女性・30代)
- ・自動車免許自主返納者へのバックアップ。(男性・60代)
- ・交通の便がわるい。伊達市の町中タクシーなどを参考にし、桑折町にも導入してほしいです。安い料金で利用したい。(女性・60代)
- ・福祉バスの増車を願う。(男性・70歳以上)
- ・桑折駅の駐車場が有料になったので、無料に戻してほしい。下水道のふたがないので、ない所は設置した方がよいと思います。(女性・40代)

【防災・防犯】

- ・防災無線の新設・発信局は役場に置く。全戸に無線の受信機（電池・電気両用）を無償配布する。役場で情報収集し、大雨・洪水・強風・河川の増水・有害鳥獣・道路の渋滞・火災・町主催の行事・事業等、これらの情報を各家庭に随時提供する。（男性・70歳以上）
- ・旧桑折町の街灯は多いが、半田、睦合、伊達崎の街灯が少なく、非常に危険地帯になっている。公園など増やさなくても良いので、安全で生活できる環境を整えてほしい。とにかく、半田、睦合、伊達崎の街灯の数を増やしてほしい。（男性・50代）
- ・今回の台風で感じたことです。1人住まいの心細さ、避難所まで行かなくても同じ仲間で過ごせる、しっかりした公民館などあったらいいと思いました。避難所までは遠すぎます。（女性・70歳以上）
- ・ハザードマップの充実をお願いしたいと思います。町の端の方が写っていない地図がありました。（女性・60代）
- ・私の住んでいる所は、イノシシ他、動物が沢山いてこわいです。田、畑を荒らされて困っています。どうかして下さい。（女性・30代）

【環境衛生】

- ・ごみ集積所についてですが、歩道上にネットを設け置いてある箇所が見受けられます。防犯、衛生上、あまり好ましくありません。予算に余裕があるのであれば、ボックス型の容器を設置する等、対策を考慮して頂けると安心します。また、高齢者の方々が遠方の集積所まで運んでいる姿も目にしますので、収集に負担をかけますが、増設も考慮して頂きたいです。（男性・30代）
- ・今後も町のイベント時に蚕糸公園を利用するのであればトイレがあるとよい。（男性・70歳以上）

【居住環境・住宅】

- ・自然豊かな桑折町に住みたい若者はまわりにたくさんいるのに、調整区域や農業振興区域などの制限が多く、宅地にできず、家を建てられない。使っていない土地が多いのもったいない。自分も実家の土地なのに建てられなく、桑折に住むのをやめようかとも思った。（男性・30代）
- ・子どもの数が少なくなってきました。宅地造成をして、若い方々に住んでもらえる地域にしていきたいと思います。（女性・50代）
- ・今の伊達崎地区は調整区域のため、なかなか家を探せずに困っている人がたくさんいます。そのせいで小学校の人数も少なくなってきました。もっと住居の発展と、空き家などの情報を明確にするなどの対応をしてほしいです。住む所がなくなってしまう、引越をしなくてはならない状況の方もいます。調整区域ではなくできないのでしょうか？ 高速道路もでき、人の出入りが増えるのに、もったいないです！！ よろしくをお願いします！！（女性・30代）
- ・若い人達が安く長く住める住宅を作って欲しい。子どもから大人まで楽しめるスポット作り。（男性・20代）
- ・町内会単位で公園、緑地、広場等、子ども、老人が話し合い散歩できる所がほしい。土地は空き地、耕作していない所を利用すると良い。管理は町内会とする！（男性・70歳以上）
- ・大型遊具のある公園が欲しい。屋外プールが欲しい。災害公営住宅の空き家が目立つ。町民の入居も可能にすべき。桑折町の土地なのに町民が借りられないのはおかしい。震災後8年経って、今さら桑折町に避難する人はいるのだろうか？（女性・30代）
- ・桑折町には空き家が多いと思います。見た目も悪く、古い家が多いため、解体などの計画をしていただきたいです。（女性・30代）

◆産業について

【農業】

- ・桑折町の農産物はとてもおいしいので、作り手が途切れないよう農家の後継者の育成に力を入れてほしいです。(女性・50代)
- ・農業は農業でも有機栽培など、桑折に行けば変わった物が手に入ると思われるようなものを作るとか、桃の加工品も変わっているよね、と思われる物の方がインパクトがあり、町に来る人の人数が増えるのでは？(女性・40代)

【工業】

- ・桑折町に大きな会社を誘致し、市に負けない工場地帯を作り、若い人達が働ける場所を作り出す事が大事。そしてその若い人達が桑折町に住居をかまえて桑折町の町民となってもらい、長く町民として定住してもらう。(男性・70歳以上)

【雇用】

- ・働く場（企業誘致等）がないと人は地元に残らない。人が住むためには、他市町村へ働きに出たとしても、大胆な土地開発と集客のための施設。(男性・70歳以上)
- ・高校生からお年寄りまで、町内での働ける場所（短期アルバイトなど）の案内所などがあると良いと思う。(男性・40代)
- ・障害のある人でも働ける場所がほしい。(女性・50代)
- ・町内に若い人達が働く場所と住宅が大切だと思います。(女性・70歳以上)

【商業】

- ・桑折町の土産物を郡役所の近くもしくは敷地内で購入できるところがあると良い。観光案内所のような御蔵は今はもうないし、レガレーは遠い。やはり郡役所に一番観光客が来るので、買い物や簡単な飲食ができる場所があると、お客さんも喜ぶと思います。例えば、美術館を改装して、飲食や買い物をしながら、芸術鑑賞もできるミュージアムなどになるといいのでは。(女性・40代)
- ・成夏期、JAや伊達果の直売所によそから来て並ぶ人を見ると、暑い中狭い中ありがたいが、一町民としては大変心苦しい思いである。せっかく「献上桃の郷」というブランドがあるのだから、IC付近か福島蚕糸跡地に町の情報発信基地として「ももの駅」なる施設を作り、よそからの人がもっと流入してくれるようにした方がよい。(男性・60代)
- ・福島蚕糸跡地で、なぜモモ（あかつき）の販売をしないのか、車も止めやすいのでは？ JAは、いつも人が列を作り、なかなか買うのに時間がかかり困っています。友人とコーヒーを飲んだり、ランチをする、ゆったり過ごせる場所を必ず作ってほしいです。直売所の定期開催を願います。(男性・60代)
- ・桑折町の歴史などのPRを多くし、人が集まって来ても農家の人たちが作った野菜米などを売る直売所や食事ができるレストランなどがなく、人の足を止める場所がない。今の桑折町は通り道のような。国見町のように道の駅のような施設があり、人の足を止め、お金を落としてくれる（使ってくれる）所があれば良いと思う。(女性・50代)
- ・桑折町のメインストリートを古い町並を生かして、にぎわう商店街にしてほしい。(女性・20代)
- ・自然と人の集まるような、商業施設や娯楽施設が、極端に少ない町のような感じを受けます。(男性・60代)
- ・普段生活するには良いまちだと思います。商店街がさびしいため、買い物は市内に行ってしまいます。商店街の復活を希望します。(男性・40代)

◆まちづくりについて

- ・桑折町の中心部だけではなく、半田、伊達崎、睦合の町内すべての地区が、それぞれの特性を活かし、活気ある町になって欲しいです。(女性・40代)
- ・子育て世代、働き手の世代の人たちが町に定住、又は移住してもらえる政策や高齢者等が安心して住めるまちづくりを考えていただきたい。人口減少、特に若者や子どもたちが少なくなっており、町の財政も厳しくなり、歳入にあった街づくりも考えていかなければなりません。職員も特別職はじめ、町外に住んでいる方が多くなって、税収が入らない。(男性・60代)
- ・財政状況は大丈夫ですか？ 今後人口が減っていく中で、子どもたちのことを考えて無理のないまちづくりをお願いしたいです。町のPRもいいのですが、今、桑折町に住んでいる方々のための、住みつづけたと思えるまちづくりになってほしいです。(女性・20代)
- ・細かいことでもHPや、SNSに情報をあげていったほうが良い。おそらく、終わったことをあげてと思うが、実験的にでも、どんどん計画予定の情報をあげたほうが良い。まちづくりを専門としている人との連携と、これから町を支えていく若者と、今の桑折町をつくってきた高齢者と有識者の会話をする機会を増やすこと。こういうまちづくりに関するアンケートはうるさいと思われるくらいやったほうがいい。自分がまちづくり関わっている人だという意識を植えつけることができる。特に若者には、やったほうがいい。(男性・20代)
- ・子どもからお年寄りまで「桑折町に住んで良かった」と思えるような町づくりをしていって欲しい。特に高齢者に対しての支援や助成等の仕組みづくりが、まったくないと感じています。(男性・20代)

◆行政全般について

【行政運営全般】

- ・桑折町、国見町、伊達市、福島市といった広域での連携が必要になってくると思う。(男性・40代)
- ・桑折町は“献上桃の里”として、良質な桃を生産する町としてPRできていると思います。また、施設面では、レガレーこおりやイコーゼ！など、有効に活用されていて、行政面も良く運営されていると思います。これからも、桑折町の自然環境を守りながら、住み良い町であってほしいです。(女性・60代)
- ・町会議員選挙が終わったばかりであるが、議員の平均年齢を見ると、この人達で本当に活動ができるか疑問が残る。議員定数を現在の半分にし、議員報酬をアップし、もう少し魅力ある職業にし、責任ある活動のできる人材の確保を望む。(男性・70歳以上)
- ・議会、議員の高齢化により、若者、子育て世代の意見が、あまり反映されない。(男性・30代)
- ・町内会組織に町が期待しすぎるような気がしている。高齢者の多い班は大変。町内美化、クリーン作戦といえは出欠席があり、なかば強制的に参加を強いられる。町内美化に公的な力を投入したらいかがですか？(女性・70歳以上)
- ・近隣市町村に比べると、遅れている制度やシステムがあると思います。良いことは、どんどんマネして取り入れてやってほしいです。(女性・40代)
- ・会社勤めしている人のために、土、日、祝日でも利用できる各種手続きサービスがあれば助かると思う。4地区に支所があっても良いかも。(女性・40代)

- ・桑折町ホームページについて。構成が分かりにくく情報を探しにくい。そのため、まず町ホームページを見るというよりは、検索サイトにて検索結果に町ホームページが含まれていた場合に、町ホームページを見るという利用が主になっている。町ホームページで町内の桜や桃の開花状況、産ヶ沢川の蛍の様子等を数日毎に、こまめに更新できると、町外への情報発信の一助になると思う。ハザードマップも町ホームページでは古いままなので、新しい版に更新してほしい。(男性・40代)
- ・子ども向け、高齢者向けに、きめ細かく各種施策が考えられていてありがたいです。これからも、それぞれの人のニーズに応じた施策を推進して欲しいです。(女性・60代)

【アンケートについて】

- ・アンケートに答えたことが、どの程度、何に反映されるのか。役に立つのかが気になります。(女性・30代)
- ・こうしたアンケートをする場合、質問項目が多すぎる。多すぎて飽きてしまう。(男性・60代)
- ・町民アンケート調査の結果が今後の町政に活かされることを希望します。(女性・60代)

◆イベント・PRについて

【イベント】

- ・若者から高齢者まで、どなたでも楽しめるイベント等やってほしい。(女性・20代)
- ・もっと桑折町に行事、祭り、イベントをやってほしい。他の町に負けないぐらい盛大にイベントをやってほしい。役場が新しくなるので明るい町づくりを作ってほしい。(男性・40代)
- ・イルミネーションの行事は、なかなかよいと思っています。(男性・60代)

【PR】

- ・町のキャラクター”ホタピー”をもっと活用したPRを進めてみてはどうでしょうか。(男性・50代)
- ・半田銀山のことも観光PRに使っていったほうが良いかと思う。桑折町にしかないものなので、ぜひ使ってほしい。(男性・20歳未満)
- ・私が若い頃と比べると、PR活動などがより活発になっていて、とても良いなと思っています。これからも活動を促進し、若者の活気溢れる桑折町にしてください。(女性・20歳未満)
- ・TwitterやInstagramでの情報発信は、若者向けで良いと思う。(女性・20歳未満)
- ・自然は素晴らしいので、これを生かして国内外にアピールしてほしい。(男性・50代)

◆医療・地域福祉について

【医療】

- ・小児科など子どもに関する医療をもう少し充実させて欲しいです。町外に行かなくてはいけないので、少し手間です。(女性・30代)

【地域福祉】

- ・高齢化が進んでいる現状で、高齢者が働き続けられる環境、高齢者の経験を生かせる環境、また、お互いに助け合いながら社会、地域に参加できる社会、地域作りを行ってほしいです。(女性・40代)
- ・安く利用できる福祉施設があれば良い。(男性・50代)

◆子育て・少子化対策について

- ・少子化への対策強化をお願いします。(男性・50代)
- ・桑折町は、他の市町村と比べ、子育てのしやすい町だと思います。でも、働きながら育てるのに保育所、幼稚園へ朝預けるための時間が7時30分からとなっているため、仕事が早い時間から働けず、そうなる桑折町の近くの仕事場となってしまいます。預けられる時間を7時からにしてほしいと思いました。他の市町村は7時からと聞いています。お願いします。(女性・40代)
- ・出会いの場があまりないので、もっと増やしてほしい。保育所にも一時預かり保育をやってほしい。小児科や耳鼻科といった子どもがよく行く病院をつくってほしい。本屋さんやレストランといった施設をつくってほしい。(女性・20代)
- ・現在、子育てしている身として、町に“小児科専門医”がいないことが、とても不便に感じています。子育て支援の充実には、かなり重要なことだと思います。(女性・30代)
- ・歩道で危険な箇所が多いと思われるので、整備してほしいです。子育て世帯への支援施策での幼小中の制服の贈呈ですが、兄弟のいる場合など必ずしも必要でない世帯も多いと思います。制服に限るのではなく、体操着などの購入に使える衣料品店の商品券などにした方が、より充実した支援につながるのではないかと思います。(男性・40代)
- ・私の家の近くは独身者がいっぱい。ぜひ町で出会いの場を多く作ってほしい。(女性・60代)
- ・子育てについては、福島市と比較し、かなり充実していると思うが、町民も他市町の人にも気付いていないと思うのでPRが不足しているのではと思う。(男性・40代)

◆教育・文化・スポーツについて

【学校教育】

- ・現在小学校が4地区に分かれているが、子どもの数が少ないため、1校に統合しても良いのではないかと考える。(女性・30代)
- ・小、中学校で高いレベル、質の教育を行い、難関中高一貫校等に進学させ、大学、大学院等を出て、日本、世界で活躍するような人材を生み出して、最終的には桑折に何か還元してもらい、発展してほしい。(男性・20代)
- ・子ども達の学力アップのため、講演会も大切ですが、働いている人はいつも行けない時間帯に行うのはなぜでしょうか？残念です。行けない人のためにDVDをレンタルするなど行ってほしい。そして、中、高校生が勉強する(夜まで)施設をすぐにでもおいてほしいです。自宅外の方が集中でき、勉強がはかどります。(女性・40代)

【文化・スポーツ施設】

- ・外で遊ぶところがない。学校の校庭に行くしかない。イコーゼ！はよい施設だが、子どもだけでは遠くて行けない。(女性・30代)
- ・桑折町では遊べるところが公園など自然なところはたくさんあるが、雨が降ったときに遊べるところが少ない。映画館はたいへんなので、体育館などにスクリーン投影などを定期的に開いたりすると、住民が顔を合わせやすくなると思います。SNSで拡散されるような文化的で歴史ある図書館や施設が欲しいです。(女性・20代)

◆定住・移住について

- ・若い人が安心して定住できる町づくりをしてほしいです。(女性・40代)
- ・若者の定住促進のためには、商業施設の充実が大事だと思います。福島市、伊達市と比べると日常的な買物や飲食ができる施設が少なく感じます。また、今回の議会議員選挙もそうでしたが、議員の平均年齢も高く、若い世代の意見が少ない（反映しづらい）ような気がします。子育て支援に対しての町の取り組みには日頃から感謝しております。その若い世代が定住できるよう周辺環境の整備に期待しております。(男性・20代)
- ・若者の町外流出防止策を、さらに充実してください。(男性・40代)
- ・若者の移住支援をしているが、若者以外の人々の移住についても何か支援があればいいと思う。町外から買物や飲食をしに来られるような場所があればいいと思う。(女性・40代)
- ・都会にはなれないのだから、福島市などのベッドタウン的存在を目指すべき。そこに特化してれば住みたくなるはず。(女性・20代)
- ・人口増加が一番の課題。税収があつての町政です。空き家を活用して定住をうながす施策が必要だと思います。(男性・40代)

第3章 資料（調査票）

第3章 資料（調査票）

**新しい桑折町総合計画策定のための
町民アンケート調査報告書**

令和２年２月

調査実施主体：桑折町総合政策課

〒969-1611 福島県伊達郡桑折町字東大隅 18 番地

TEL：024-582-2115

FAX：024-582-1028

編集：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2-4-1

TEL：022-225-3871